



令和 2 年 7 月 10 日
九州地方整備局

令和 2 年 7 月豪雨における出水について（第 2 報）

【球磨川水系、筑後川水系、遠賀川水系、川内川水系、矢部川水系、
本明川水系、大淀川水系、肝属川水系、山国川水系、菊池川水系、大分川水系】

○球磨川水系球磨川で発生した左岸 55k000 付近における堤防決壊の
緊急復旧工事が完了しました。

○各水系の雨量、水位情報、被害の情報等を取りまとめました。

令和 2 年 7 月 3 日からの大雨により、氾濫危険水位を超過した球磨川水系、筑後川水系、川内川水系、矢部川水系、本明川水系、大淀川水系、肝属川水系、山国川水系、菊池川水系、大分川水系、遠賀川水系の雨量や水位の情報、被害の状況等についてとりまとめました。

今回及び今後の出水に対して、引き続き全力で取り組んで参ります。

【問い合わせ先】国土交通省 九州地方整備局 河川部

河川計画課長 やまがみ なおと 山上 直人 （内線：3611）

建設専門官 こが みつる 古賀 満 （内線：3616）

電話：092-471-6331（代表）

※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります

令和2年7月豪雨の概要と対応(第2報)

※令和2年7月10日16時時点

※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります

1. 出水状況

- ・球磨川、遠賀川、筑後川、大分川の 4 水系で氾濫発生。
- ・球磨川、筑後川、川内川、矢部川、本明川、大淀川、肝属川、山国川、菊池川、大分川の 10 水系で氾濫危険水位を超過。

○ 氾濫発生 4 水系 4 河川

球磨川水系: 球磨川

遠賀川水系: 彦山川

筑後川水系: 筑後川

大分川水系: 大分川

○ 氾濫危険水位超過 10 水系 16 河川 24 地点

球磨川水系: 球磨川(多良木)(人吉)(大野)(萩原)(渡)(一武)

筑後川水系: 筑後川(杖立)(荒瀬)(片ノ瀬)(小淵)、巨瀬川(中央橋)

川内川水系: 羽月川(花北)

矢部川水系: 飯江川(安手橋)

本明川水系: 本明川(裏山)

大淀川水系: 大淀川(岳下)

肝属川水系: 肝属川(王子橋)、串良川(豊栄)

山国川水系: 山国川(柿坂)

菊池川水系: 菊池川(玉名)、繁根木川(岩崎)、木葉川(津留)、
上内田川(袋田)、迫間川(隈府)

大分川水系: 大分川(同尻)

2. ホットラインの実施

12水系に関して25市16町5村にホットラインを実施。

遠賀川水系3市4町
筑後川水系7市
球磨川水系2市5町5村
川内川水系2市1町
菊池川水系3市
大分川水系2市
山国川水系1市2町
大淀川水系1市
肝属川水系1市1町
六角川水系1市3町
松浦川水系1市
本明川水系1市

【ホットライン】河川事務所長から市町村長に対して河川の情報を直接提供する仕組み

3. 緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信

8水系で計32回の洪水情報のプッシュ型配信を実施。

球磨川水系 : 12回	大淀川水系 : 1回
肝属川水系 : 2回	山国川水系 : 3回
本明川水系 : 1回	菊池川水系 : 2回
筑後川水系 : 8回	大分川水系 : 3回

【洪水情報】指定河川洪水予報の氾濫危険情報(警戒レベル4相当)及び氾濫発生情報(警戒レベル5相当)の発表を契機として、住民の主体的な避難を促進するために配信する情報
【プッシュ型配信】受信者側が要求しなくても発信者側から情報が配信される仕組み

4. 主な施設被害

- ・球磨川水系球磨川 右岸 56k400 付近 堤防決壊
(7月6日24時00分、緊急復旧工事完了)
- ・球磨川水系球磨川 左岸 55k000 堤防決壊
(7月9日9時30分、緊急復旧工事完了)

- ・球磨川水系球磨川 左岸 56k000 天狗橋取付部の一部欠損
(7月7日16時30分、応急復旧工事完了)
- ・球磨川水系球磨川 右岸 58k800 法崩れ
(7月8日24時00分、応急復旧工事完了)
- ・筑後川水系筑後川 右岸 39k600 川裏法尻 パイピング
(7月7日21時00分、応急復旧工事完了)

令和2年7月豪雨の概要と対応 (第2報)

【球磨川水系、筑後川水系、遠賀川水系、川内川水系、矢部川水系、本明川水系、
大淀川水系、肝属川水系、山国川水系、菊池川水系、大分川水系】

九州地方整備局
令和2年7月10日

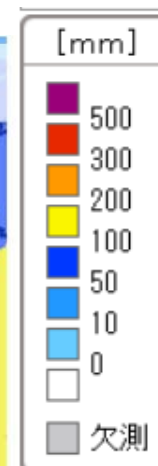
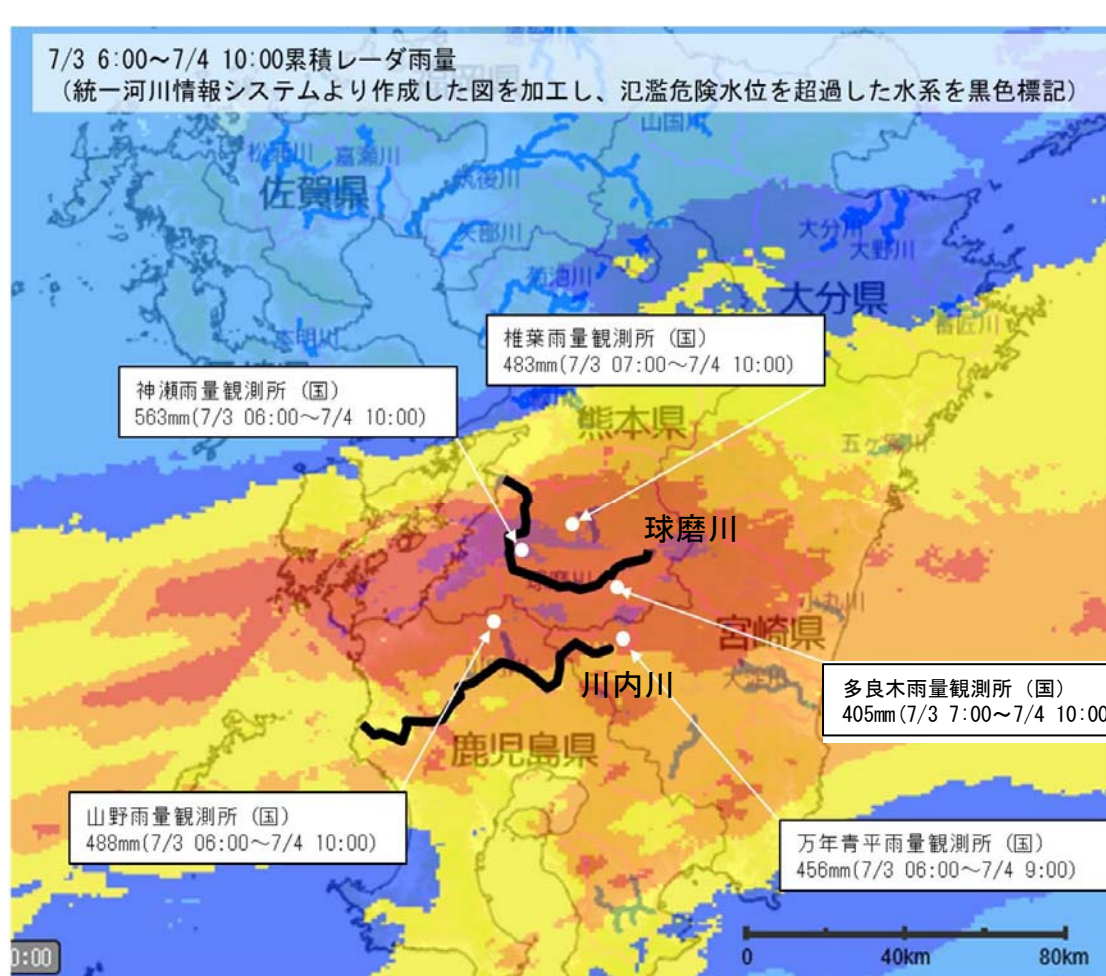
※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります

目次

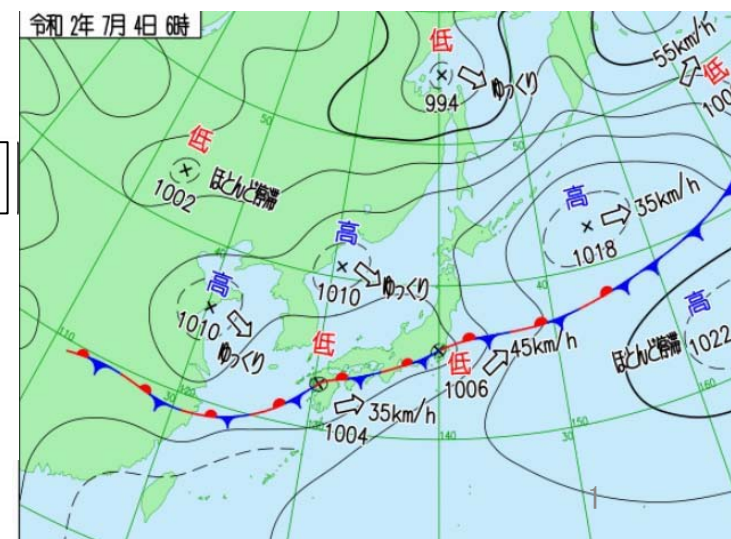
1. 気象・降雨の概要	1
2. 九州地方整備局管内の直轄管理河川の状況	3
3. 水位の全体概要	4
4. 雨量、水位の状況	5
5. 浸水の状況	4 9
6. 被災の状況	5 3
7. 緊急復旧状況等	5 5
8. ホットライン実施状況	6 0
9. 合同記者会見	6 1
10. 治水事業の効果	6 2

1. 気象・降雨の概要

○7月3日（金）から4日（土）にかけて、梅雨前線の活発な活動により九州南部の広範囲に強い雨域がかかり、多くの雨量観測所で観測史上最多の日雨量を観測する記録的な大雨となりました。



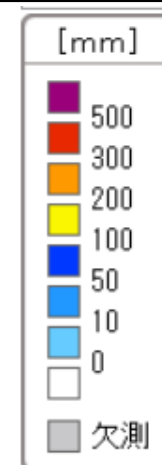
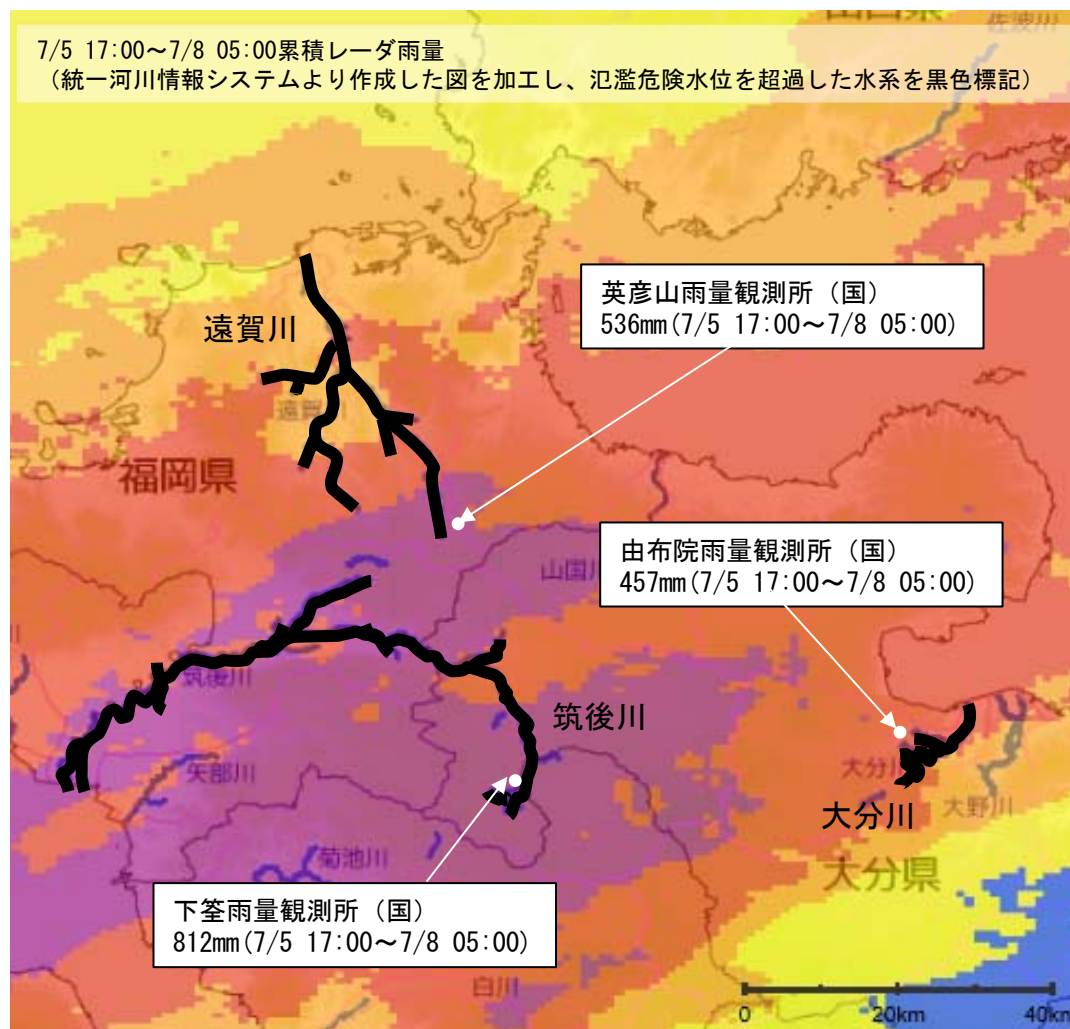
天気図 (7月4日 6時頃 気象庁HPより)



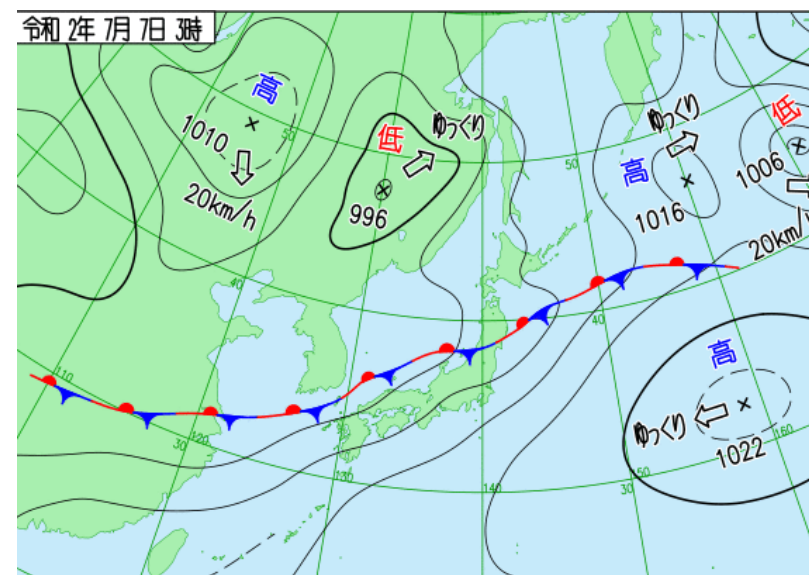
※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

1. 気象・降雨の概要

○ 7月5日（日）から8日（水）にかけて、梅雨前線の活発な活動により九州北部の広範囲に強い雨域がかかり、多くの雨量観測所で観測史上最多の日雨量を観測する記録的な大雨となりました。



天気図（7月7日 3時頃 気象庁HPより）



※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

2. 九州地方整備局管内の直轄管理河川の状況

令和2年7月10日10時00分時点

○広範囲にわたる大雨の結果、九州内20の一級水系のうち、
10水系で氾濫危険水位を超過。

1. 河川出水状況（直轄河川）

○氾濫の発生（レベル5）＜4水系＞

- ・球磨川、遠賀川、筑後川、大分川

○氾濫危険水位超過（レベル4）＜7水系＞

- ・川内川、矢部川、本明川、大淀川、肝属川、
山国川、菊池川

※現在水位は、避難判断水位以下まで降下

2. 一般被害

○球磨川水系

- ・決壊：2箇所、越水：3箇所、溢水：8箇所

○遠賀川水系

- ・溢水：1箇所

○筑後川水系

- ・溢水：1箇所

○大分川水系

- ・越水：1箇所

3. 氾濫発生情報

○球磨川氾濫発生情報

- ・発表時刻 令和2年7月4日5時55分

○彦山川氾濫発生情報

- ・発表時刻 令和2年7月6日15時50分

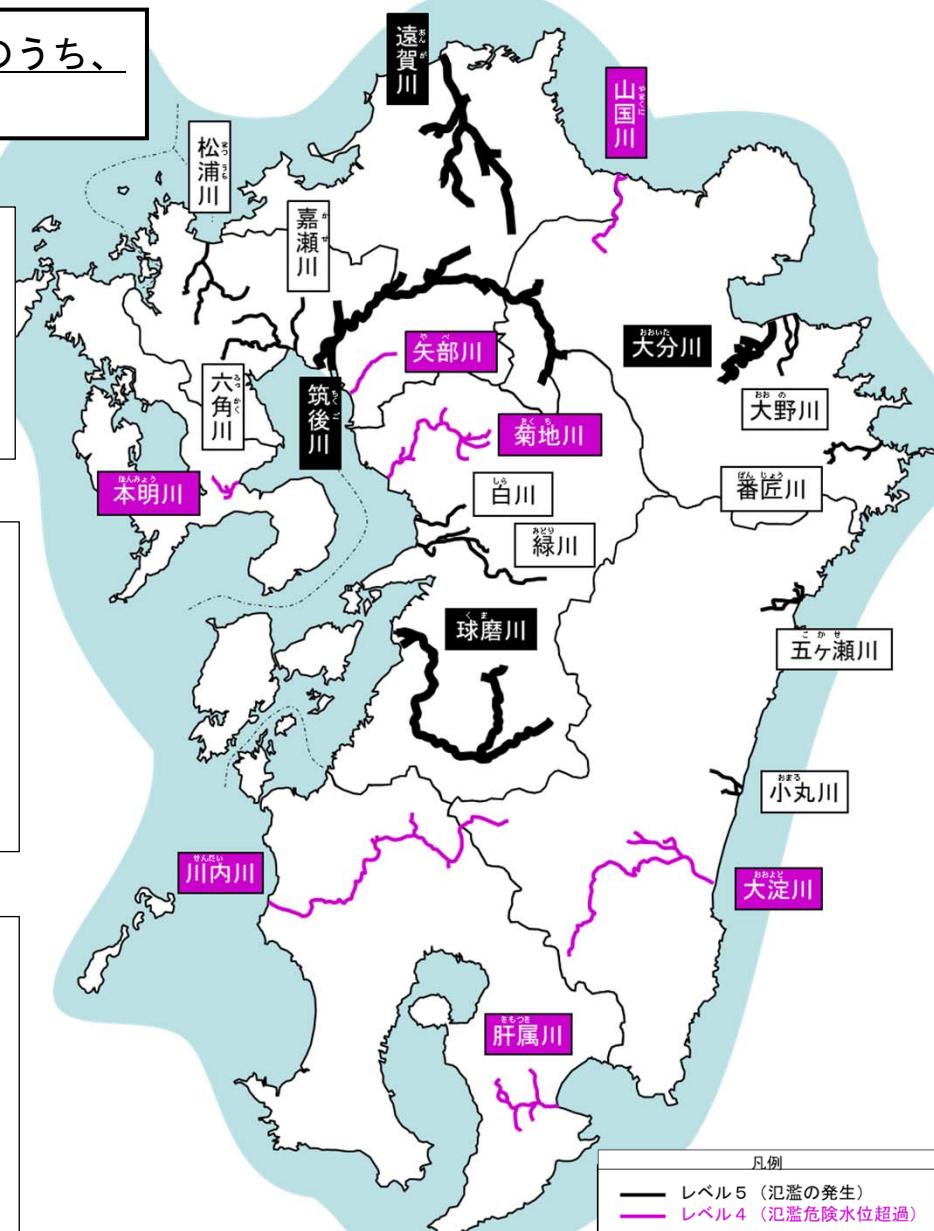
○筑後川上中流部氾濫発生情報

- ・発表時刻 令和2年7月7日8時35分

- ・発表時刻 令和2年7月8日1時00分

○大分川氾濫発生情報

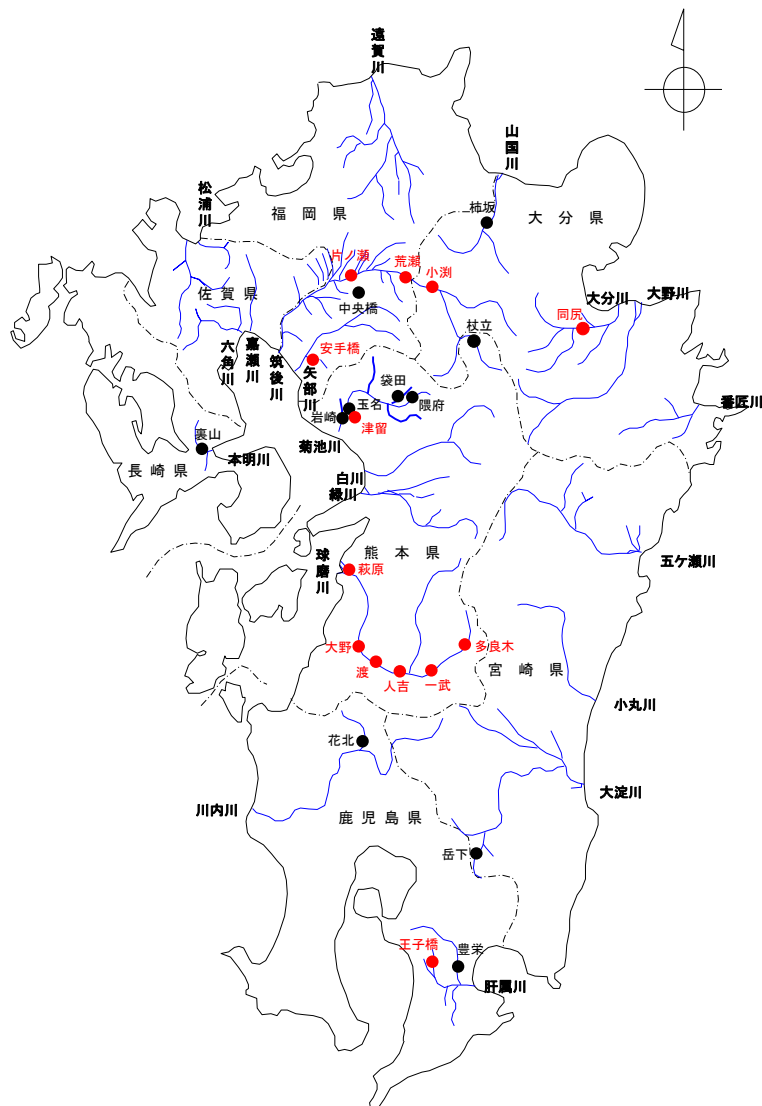
- ・発表時刻 令和2年7月8日0時40分



※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、
今後の調査で変わる可能性があります。

3. 水位の全体概要

10水系（球磨川、筑後川、大分川、山国川、大淀川、肝属川、川内川、矢部川、菊池川、本明川）において氾濫危険水位を超える洪水が発生しました。そのうち、13観測所において観測史上最高水位を記録しました。



水系名	河川名	観測所名	今回最高水位(m)			観測史上最高水位(m)
球磨川	球磨川	萩原(はぎわら)	5.28	7月4日 12:20		4.70 (S40.7.3)
		大野(おおの)	15.99	7月4日 14:30 ※2		14.73 (S57.7.25)
		渡(わたり)	12.88	7月4日 7:30 ※2		11.00 (S57.7.25)
		人吉(ひとよし)	5.07	7月4日 7:30 ※2		5.05 (S40.7.3)
		大橋(おおはし)	7.25	7月4日 9:50 ※3		—
		一武(いちぶ)	6.17	7月4日 7:30 ※2		4.32 (S57.7.25)
		多良木(たらぎ)	4.04	7月4日 7:00 ※2		3.53 (H5.9.3)
		同尻				
筑後川	筑後川	片ノ瀬(かたのせ)	10.52	7月7日 11:00		10.30 (H29.7.5)
		荒瀬(あらせ)	7.90	7月7日 9:10		7.35 (H24.7.14)
		小淵(こぶち)	5.39	7月7日 8:30		4.61 (H30.7.7)
		杖立(つえたて)	9.92	7月8日 0:00		8.50 (H17.7.10)
	巨瀬川	中央橋(ちゅうおうばし)	3.08	7月6日 15:10		3.30 (R1.8.28)
大分川	大分川	同尻(どうじり)	6.40	7月8日 0:50		5.50 (H5.9.3)
山国川	山国川	柿坂(かきさか)	5.77	7月6日 16:00		8.41 (H24.7.14)
大淀川	大淀川	岳下(たけした)	5.04	7月6日 6:40		5.28 (H9.9.16)
肝属川	肝属川	王子橋(おうじばし)	4.31	7月6日 9:30		4.29 (H10.6.13)
	串良川	豊栄(ほうえい)	5.44	7月6日 10:00		5.54 (H28.9.20)
川内川	羽月川	花北(はなきた)	7.76	7月4日 10:00		8.17 (H23.7.6)
矢部川	飯江川	安手橋(やすでばし)	6.15	7月6日 17:00		6.01 (H24.7.14)
菊池川	菊池川	玉名(たまな)	6.80	7月6日 23:40		6.85 (H2.7.2)
	繁根木川	岩崎(いわさき)	1.98	7月6日 21:10		2.62 (S47.7.12)
	木葉川	津留(つる)	5.73	7月6日 22:30		5.32 (H2.7.2)
	上内田川	袋田(ふくろだ)	4.18	7月7日 6:30		5.10 (H2.7.2)
	迫間川	隈府(わいふ)	2.15	7月8日 0:00		2.40 (H2.7.2)
本明川	本明川	裏山(うらやま)	3.79	7月6日 16:10		4.25 (S37.7.8)

※1 赤字は今次出水により観測史上最高水位を超過したものの。

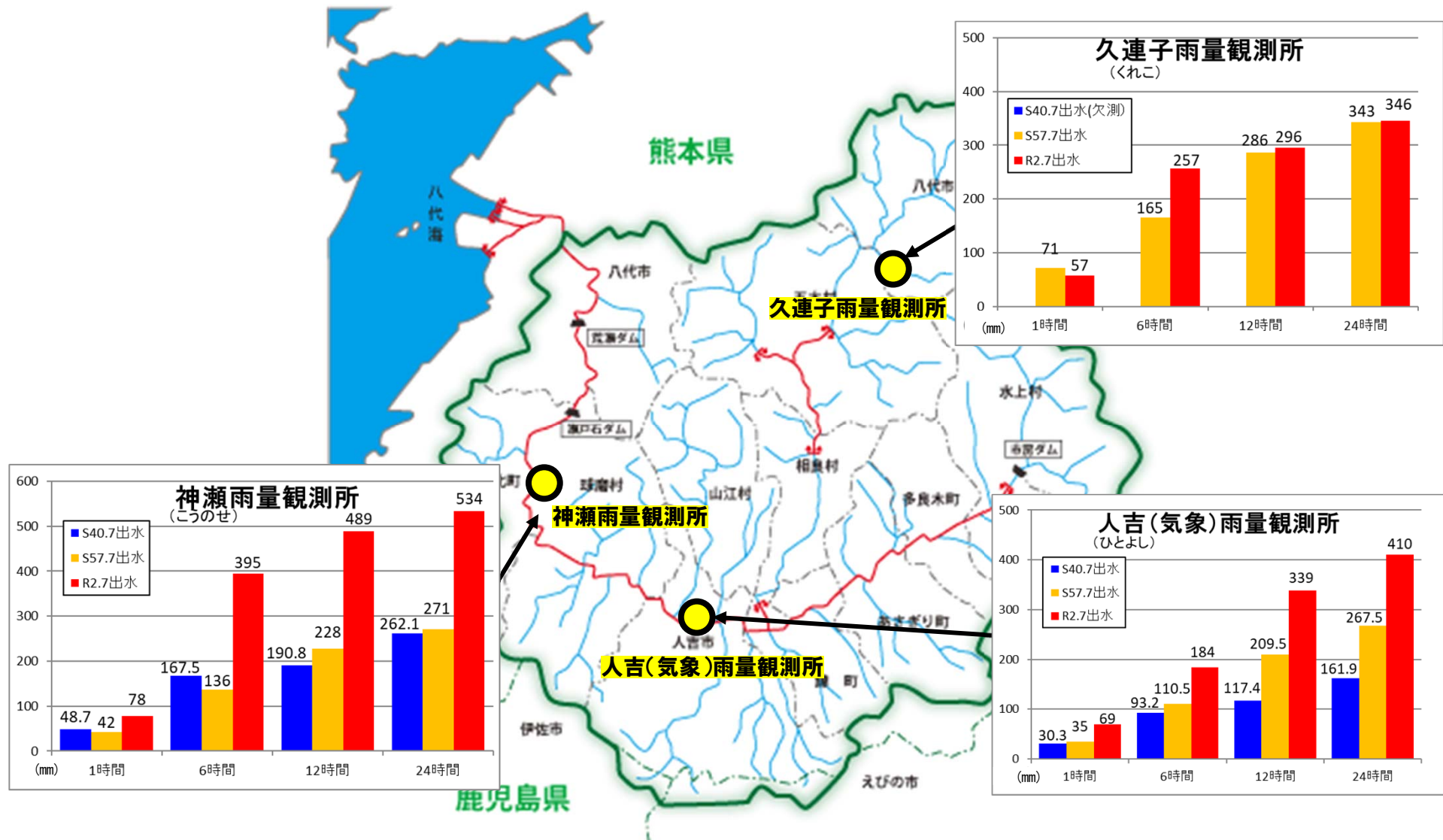
※2 この時刻以降、以前にて欠測あり。

※3 危機管理水位計。人吉観測所の水位(読み値)に換算。

※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

4. 雨量の状況（球磨川流域）

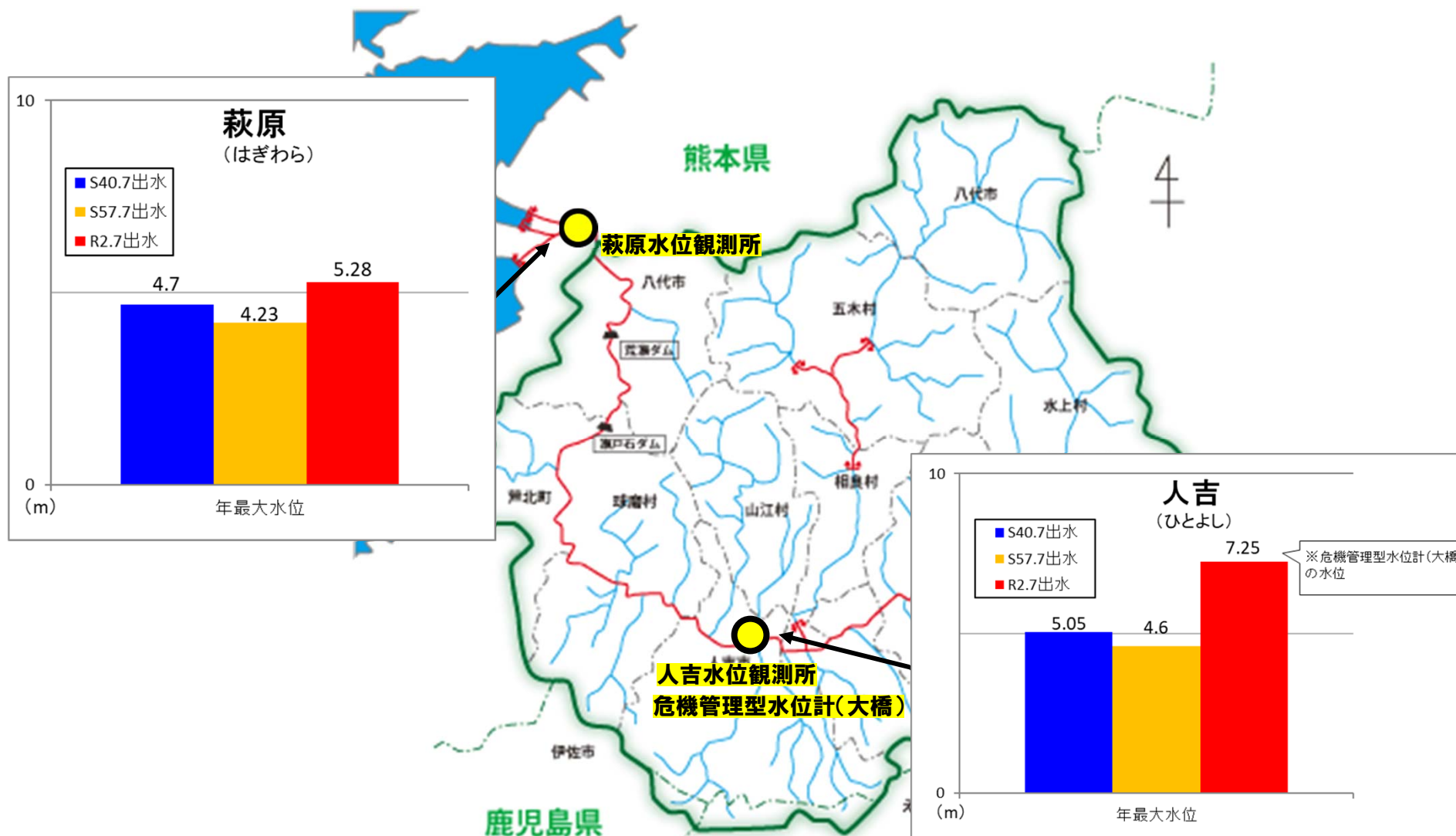
○球磨川流域では、多くの雨量観測所において、戦後最大の洪水被害をもたらしたS40.7洪水やS57.7洪水を上回る雨量を観測し、複数の雨量観測所において、観測史上最多雨量を観測しています。



※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

4. 水位の状況（球磨川流域）

○球磨川流域では、人吉等において、観測史上最高水位になったと推定されます。

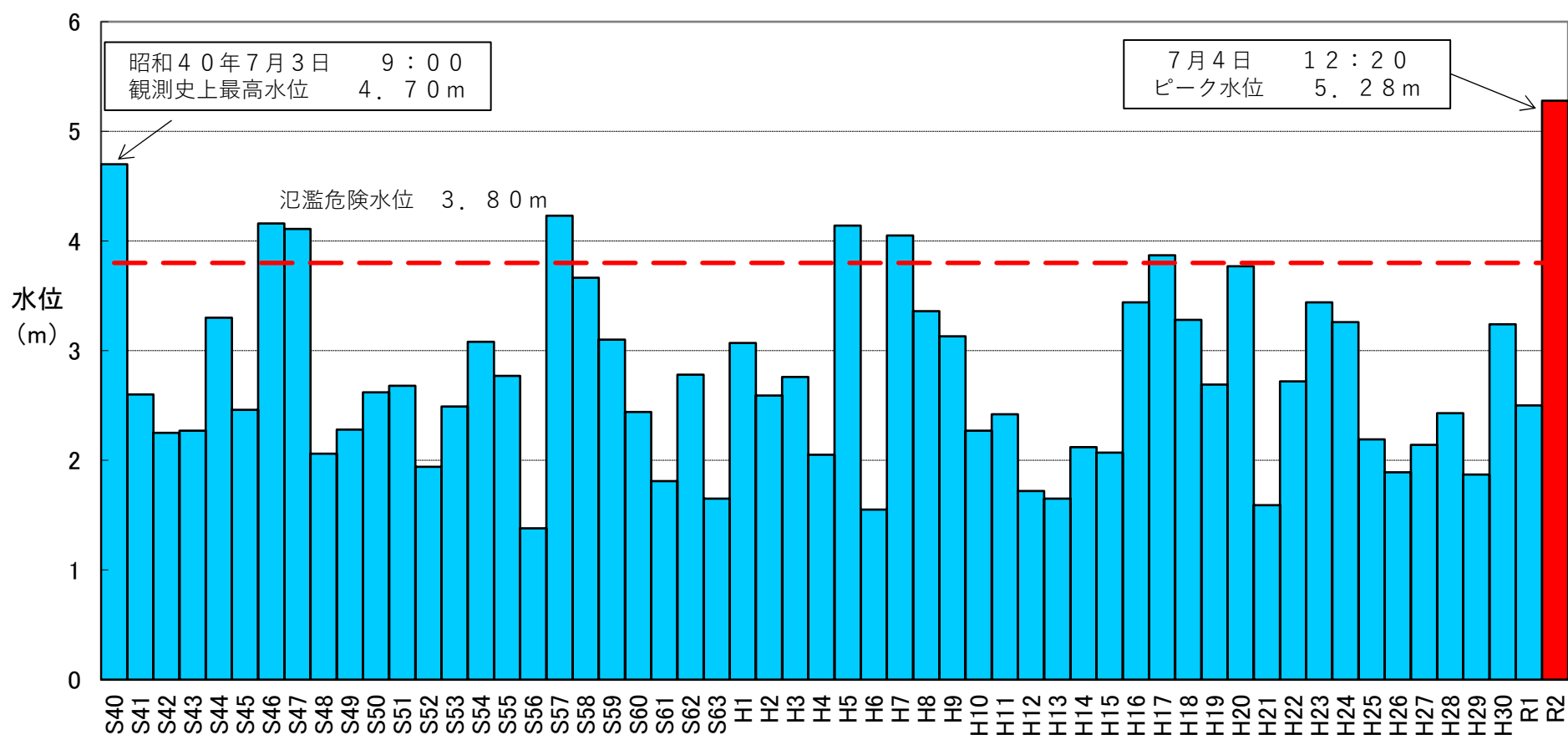


※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

4. 水位の状況（萩原）

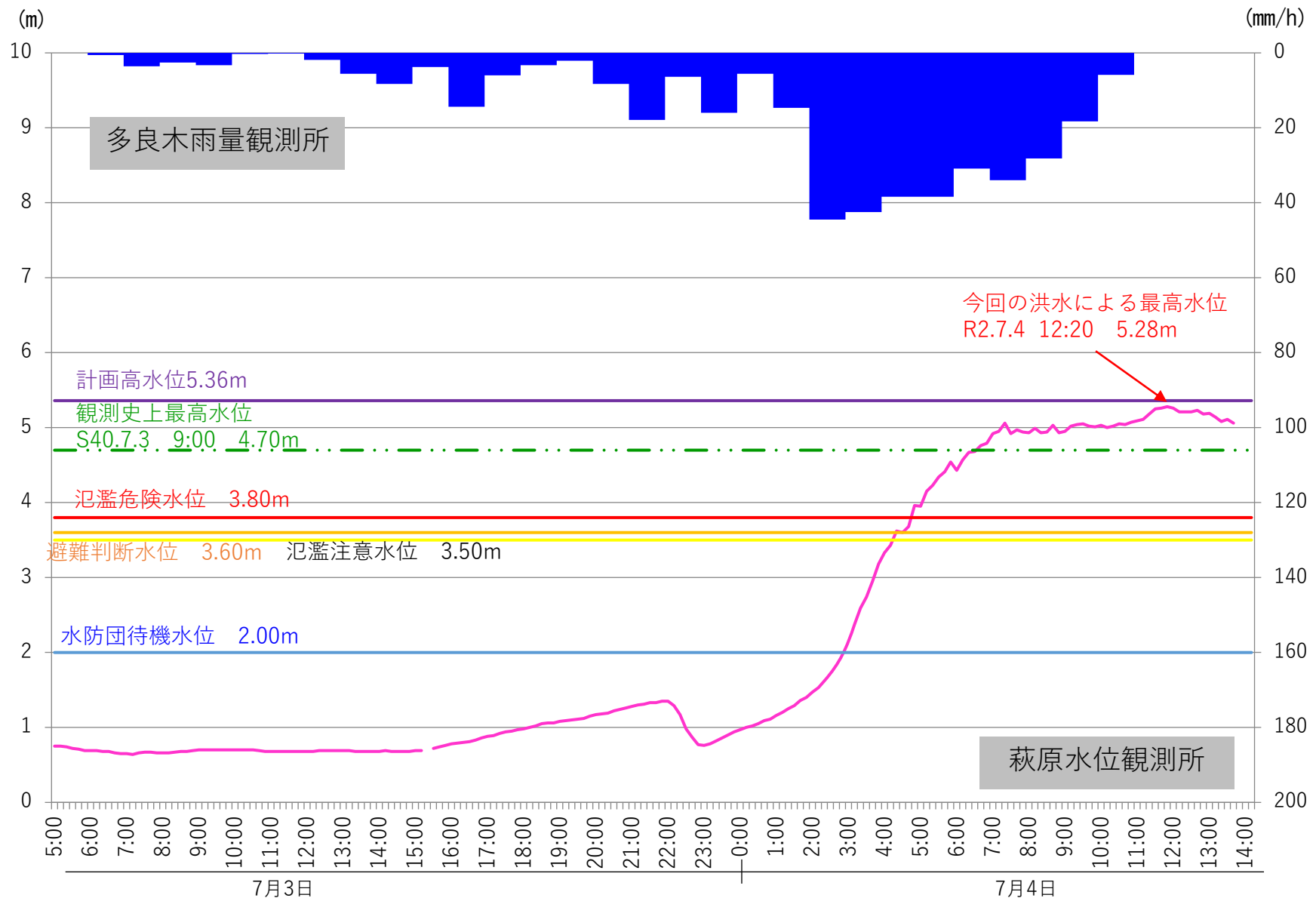
- 梅雨前線の影響により球磨川水系球磨川萩原水位観測所において、これまで観測史上最高水位を記録したS40.7出水、S57.7出水を大きく超える5.28mを記録。

球磨川（萩原水位観測所の年最高水位比較図）



※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

4. 水位の状況（萩原）

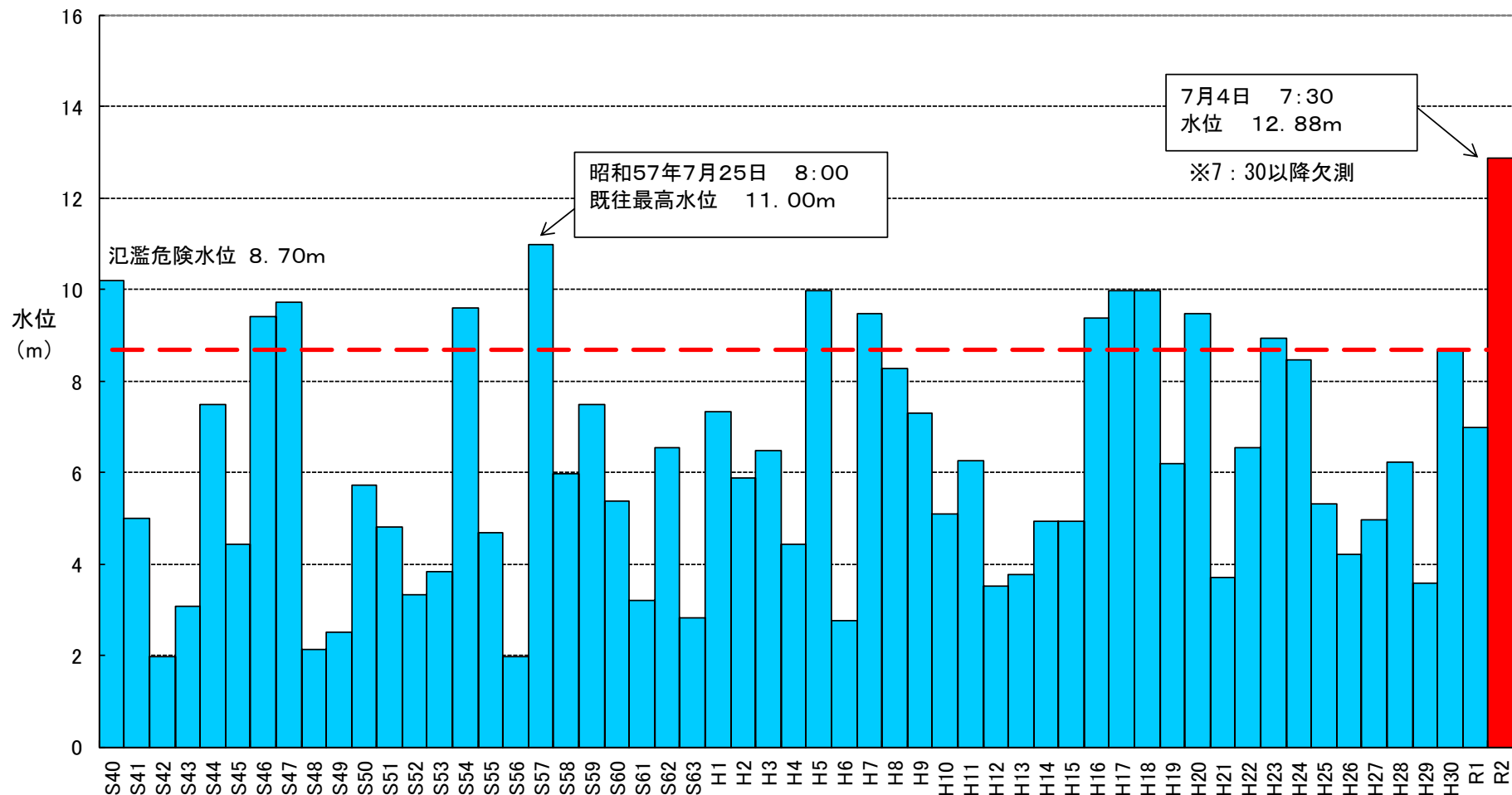


※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

4. 水位の状況（渡）

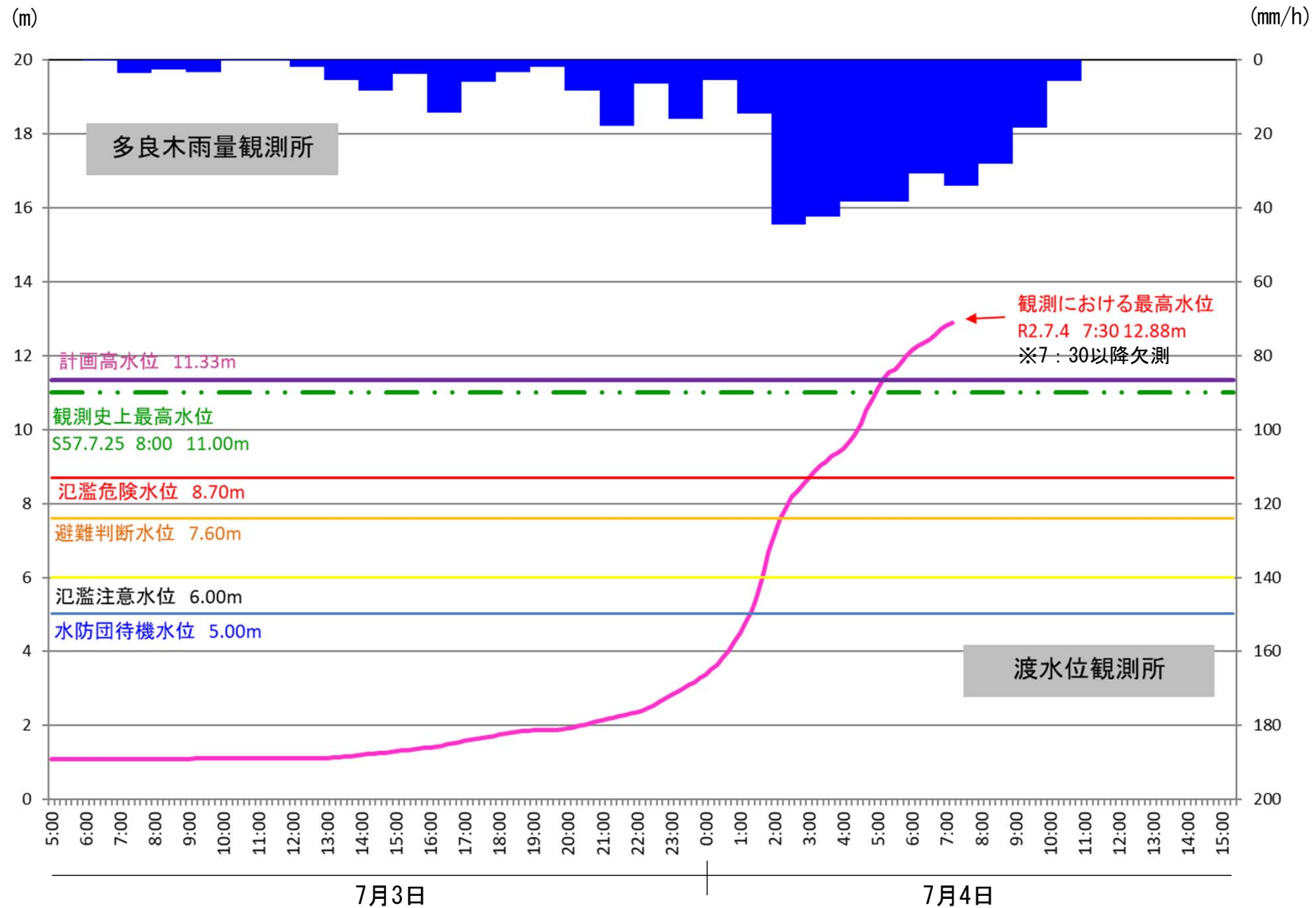
- 梅雨前線の影響により球磨川水系球磨川渡水位観測所において、これまで観測史上最高水位を記録したS40.7出水、S57.7出水を大きく超えたと考えられる。

球磨川（渡水位観測所の年最高水位比較図）



※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

4. 水位の状況（渡）

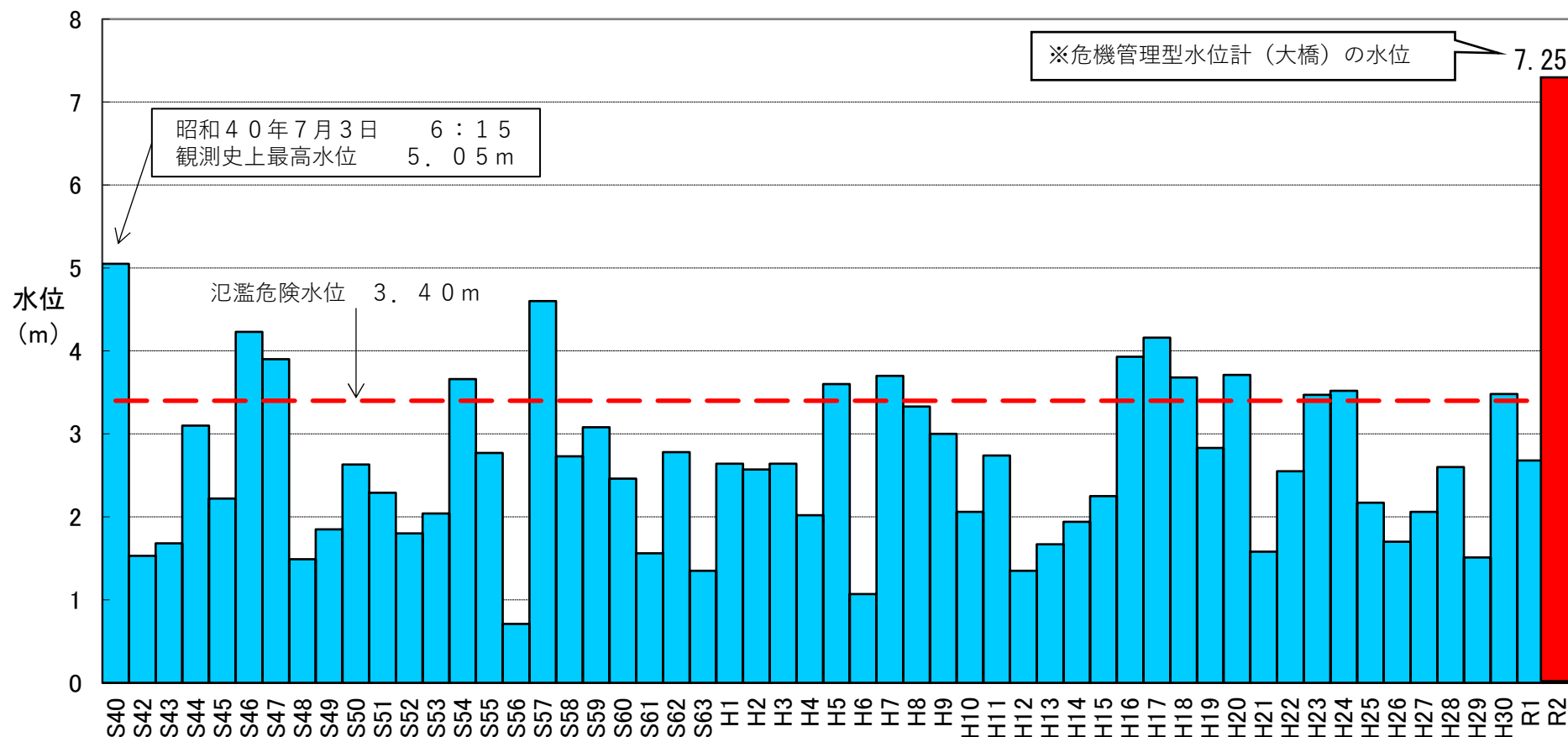


※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

4. 水位の状況（人吉）

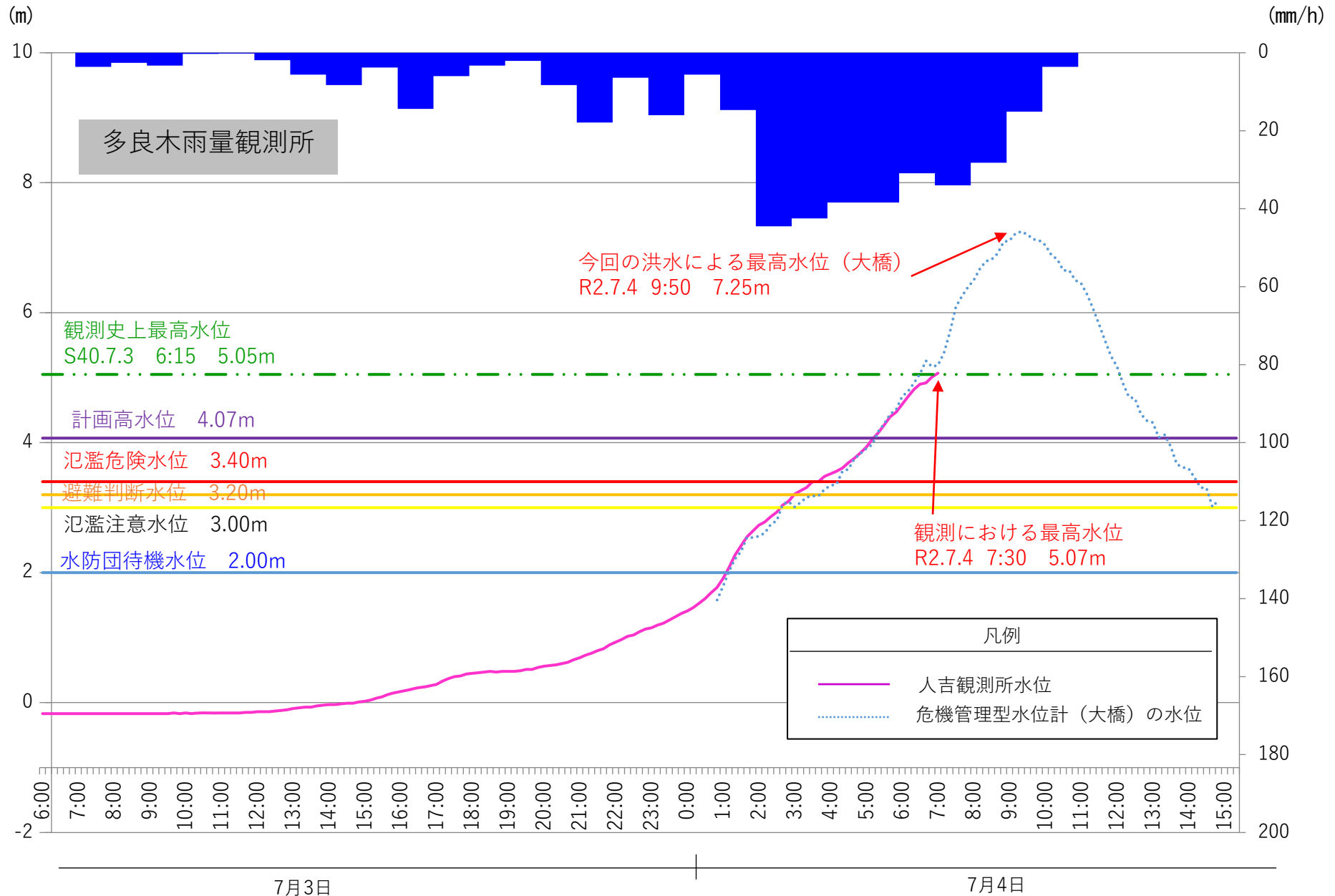
- 球磨川水系球磨川人吉（ひとよし）において、これまで観測史上最高水位を記録した S40.7出水、S57.7出水を大きく超えたと考えられる。

球磨川（人吉の年最高水位比較図）



※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

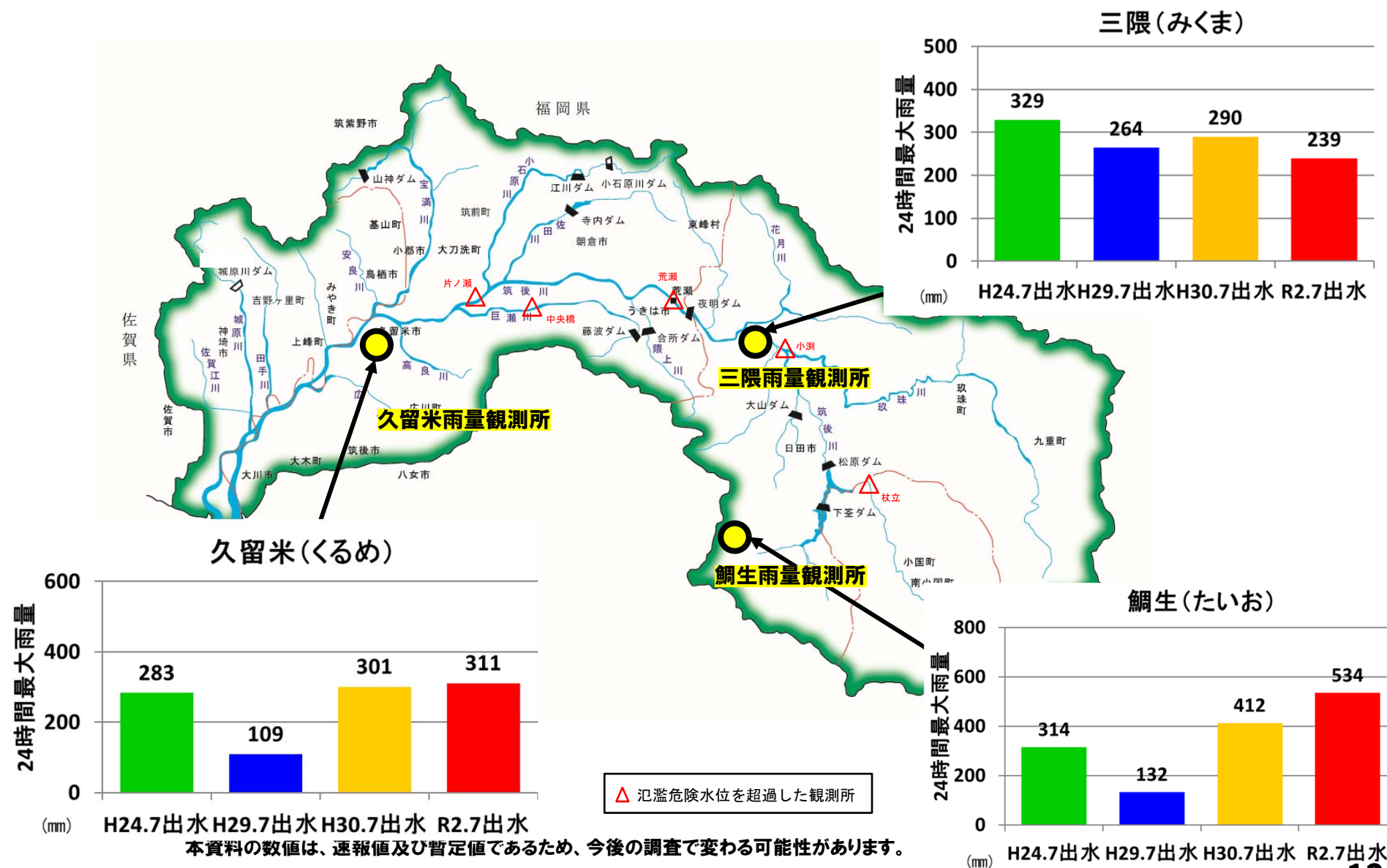
4. 水位の状況（人吉）



※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

4. 雨量の状況（筑後川流域）

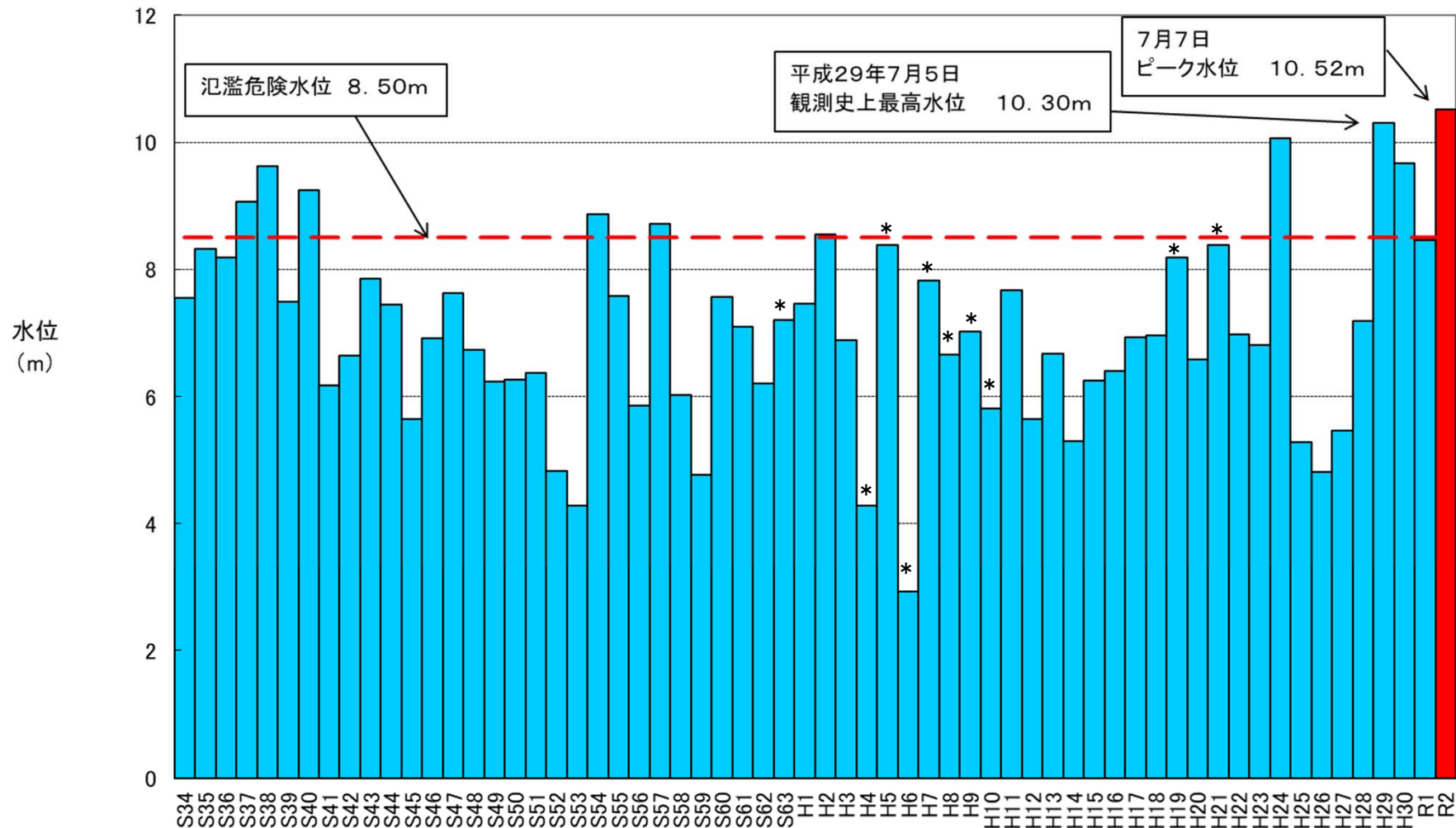
○筑後川流域では、鯛生（たいお）、三隈（みくま）、久留米（くるめ）雨量観測所において、近年の主な出水と同等若しくは上回る24時間雨量を観測しました。



4. 水位の状況（片ノ瀬）

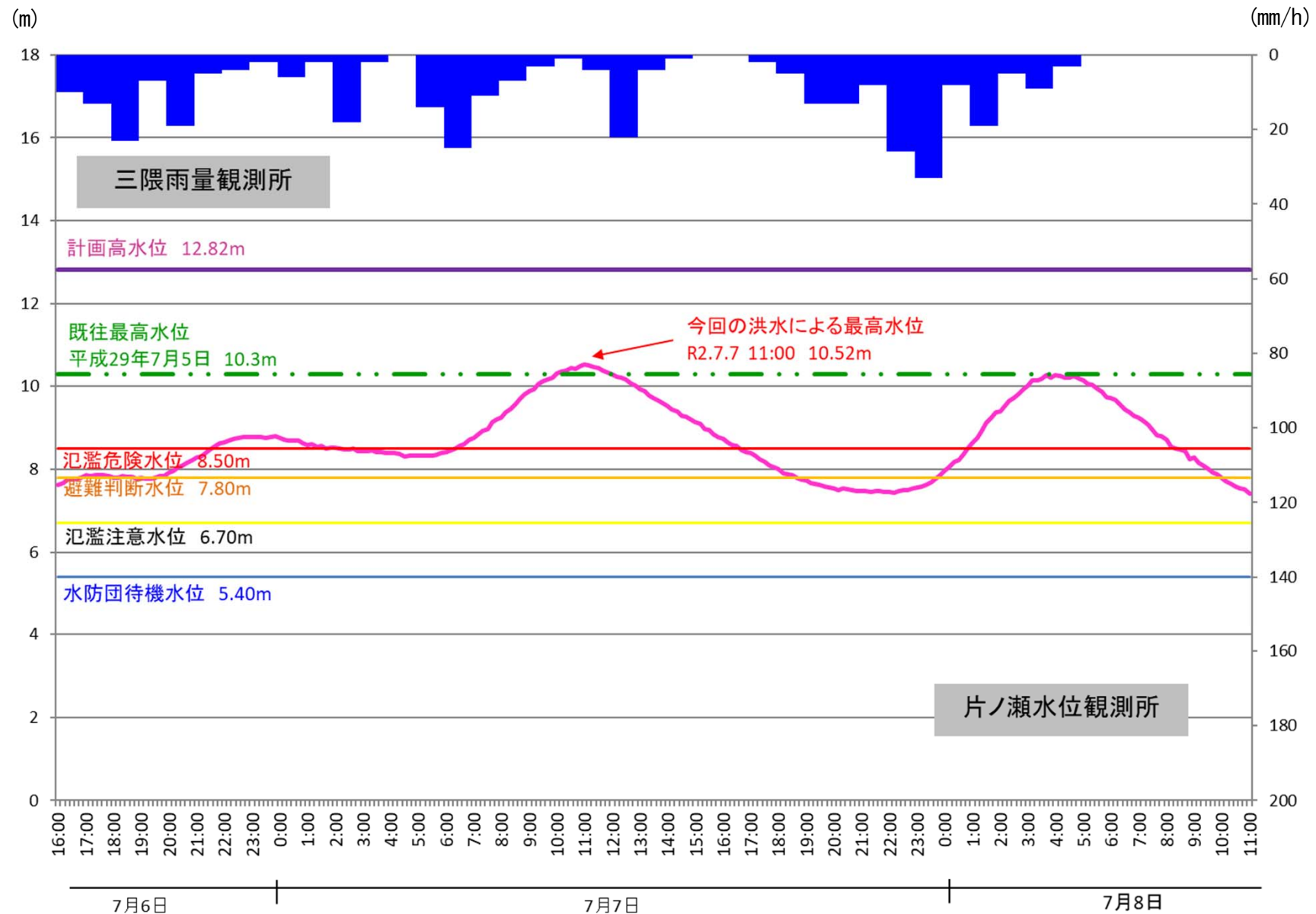
- 梅雨前線の影響により筑後川水系筑後川片ノ瀬水位観測所において、これまで観測史上最高水位を記録したH29.7出水を超える10.52mを記録。

筑後川（片ノ瀬水位観測所の年最高水位比較図）



* : 水文観測データ統計処理要領より統計データでは欠測であるが、比較が可能なようにデータを補填
※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

4. 水位の状況（片ノ瀬）

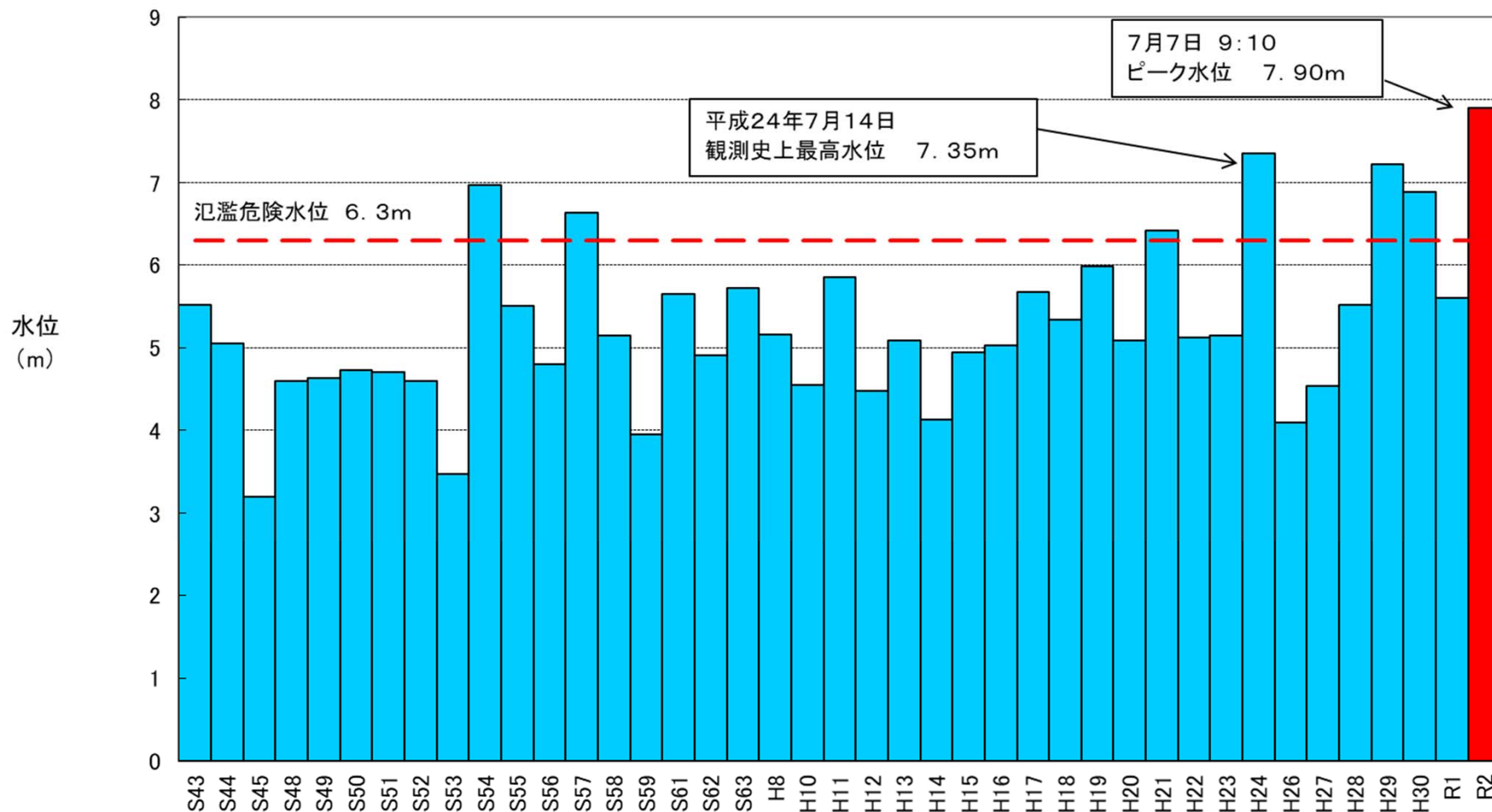


※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

4. 水位の状況（荒瀬）

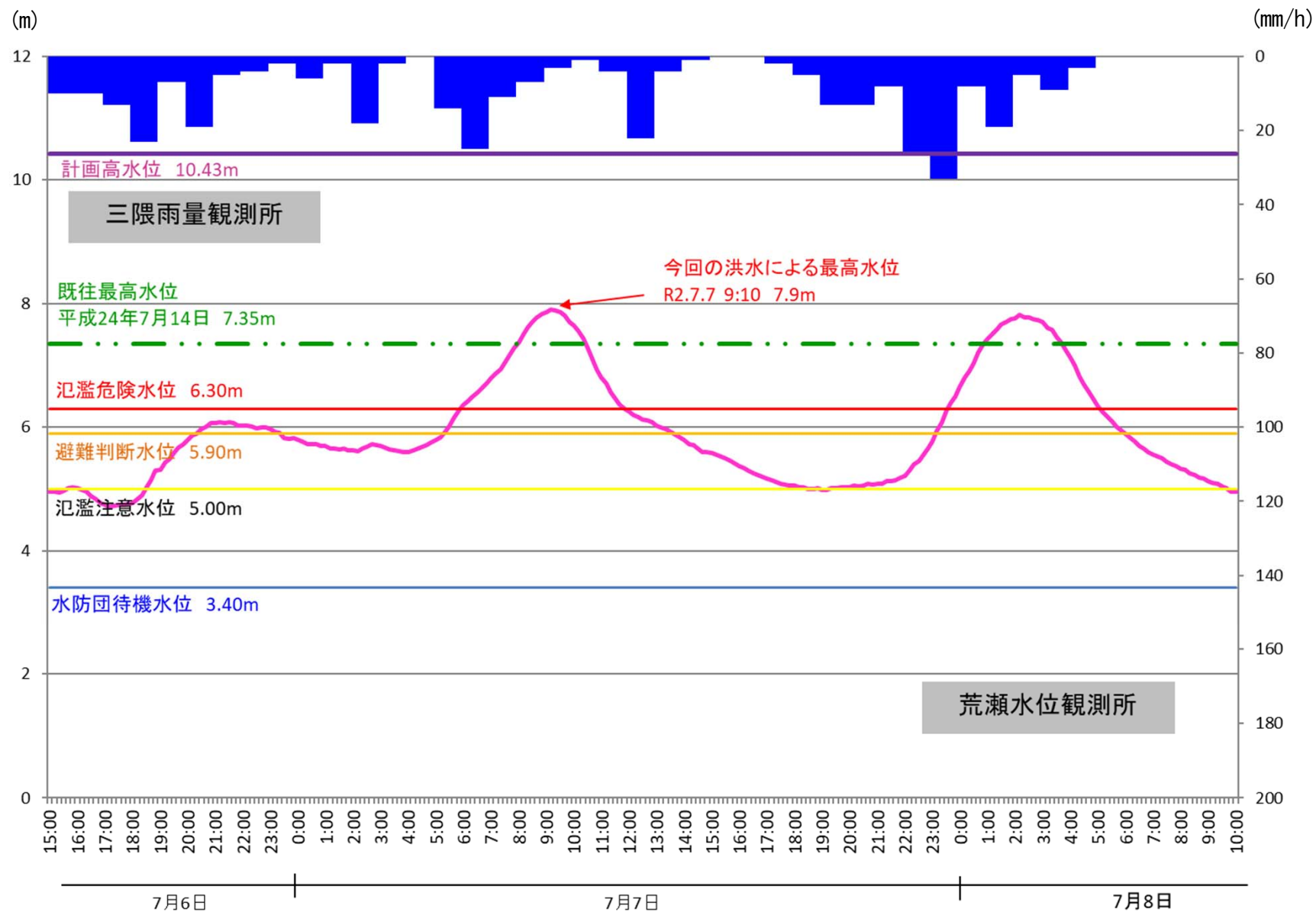
- 梅雨前線の影響により筑後川水系筑後川荒瀬水位観測所において、これまで観測史上最高水位を記録したH24.7出水を大きく超える7.90mを記録。

筑後川（荒瀬水位観測所の年最高水位比較図）



※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

4. 水位の状況（荒瀬）

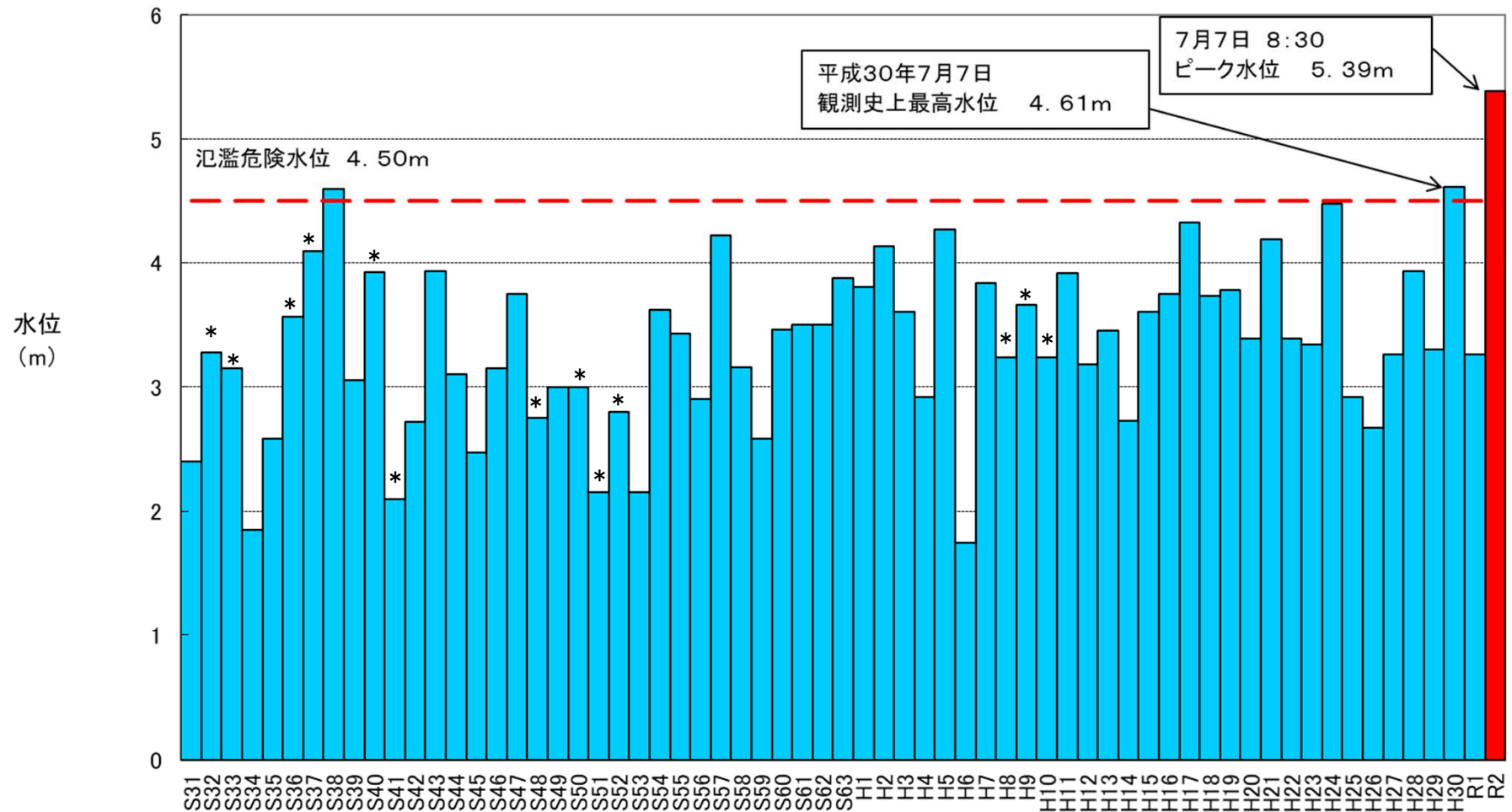


※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

4. 水位の状況（小渕）

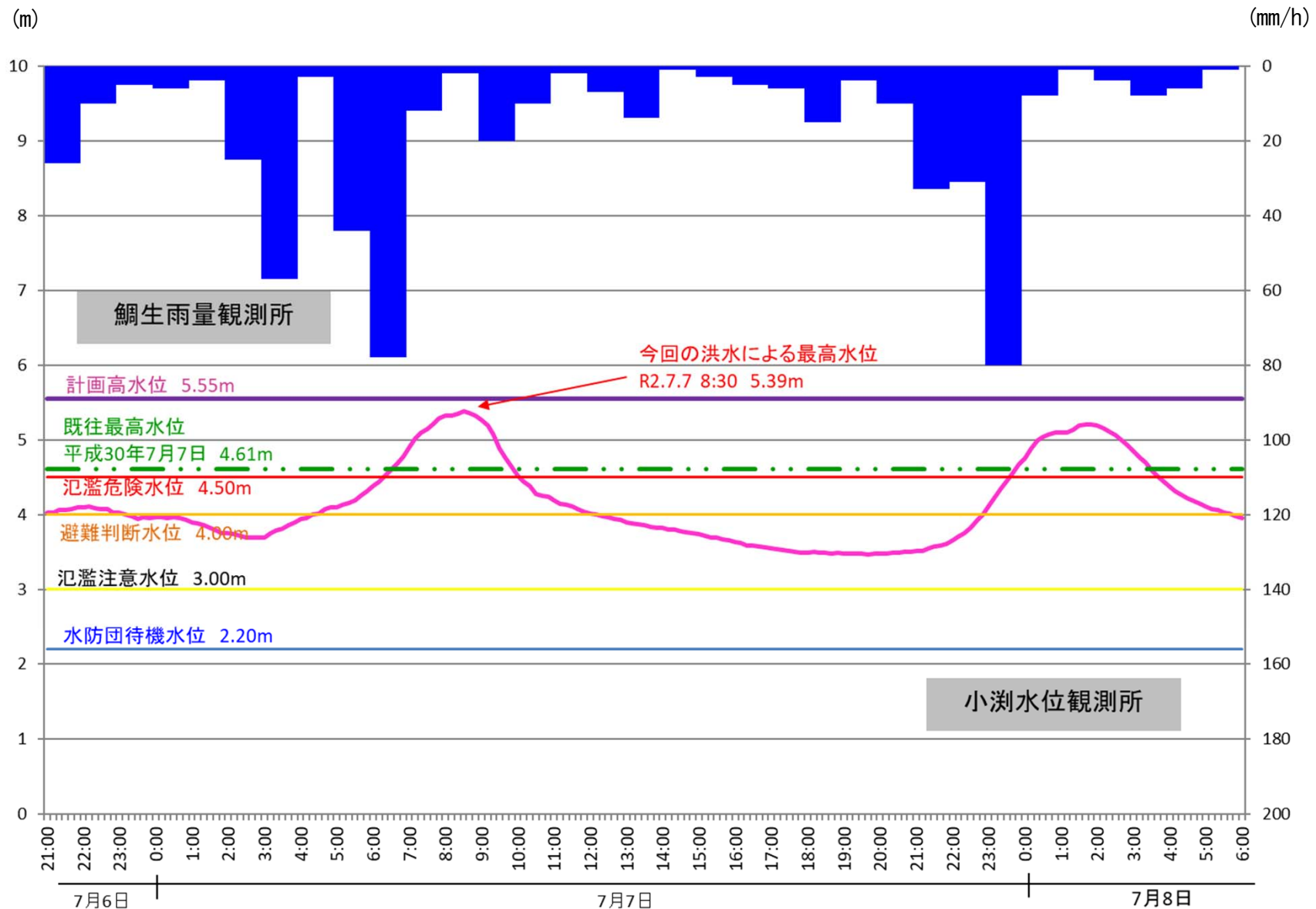
- 梅雨前線の影響により筑後川水系筑後川小渕水位観測所において、これまで観測史上最高水位を記録したH30.7出水を大きく超える5.39mを記録。

筑後川（小渕水位観測所の年最高水位比較図）



* : 水文観測データ統計処理要領より統計データでは欠測であるが、比較が可能なようにデータを補填
※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

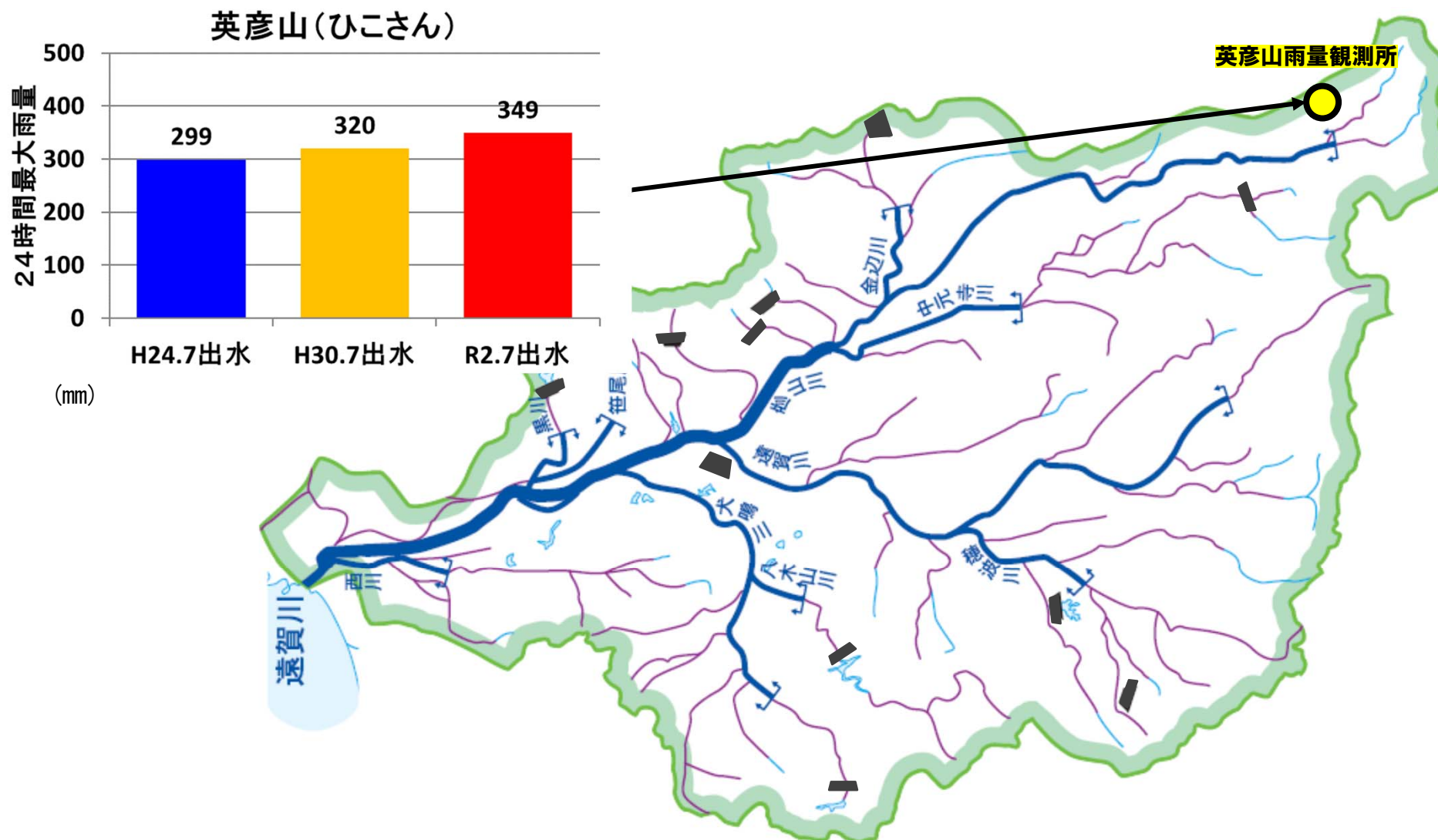
4. 水位の状況（小湊）



※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

4. 雨量の状況（遠賀川流域）

○遠賀川流域では、英彦山（ひこさん）雨量観測所において、近年の主な出水を上回る24時間雨量を観測しました。

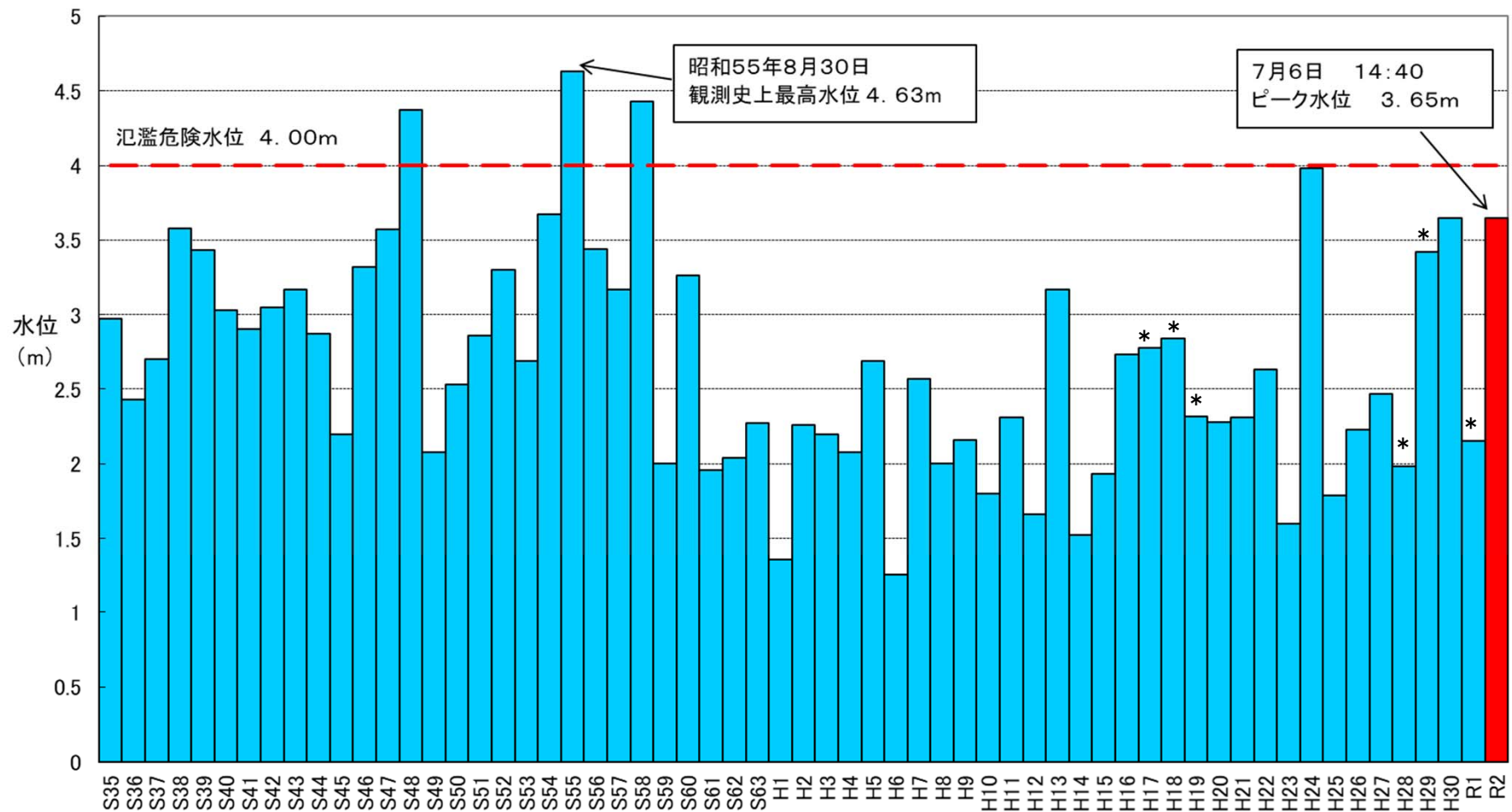


本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

4. 水位の状況（伊田）

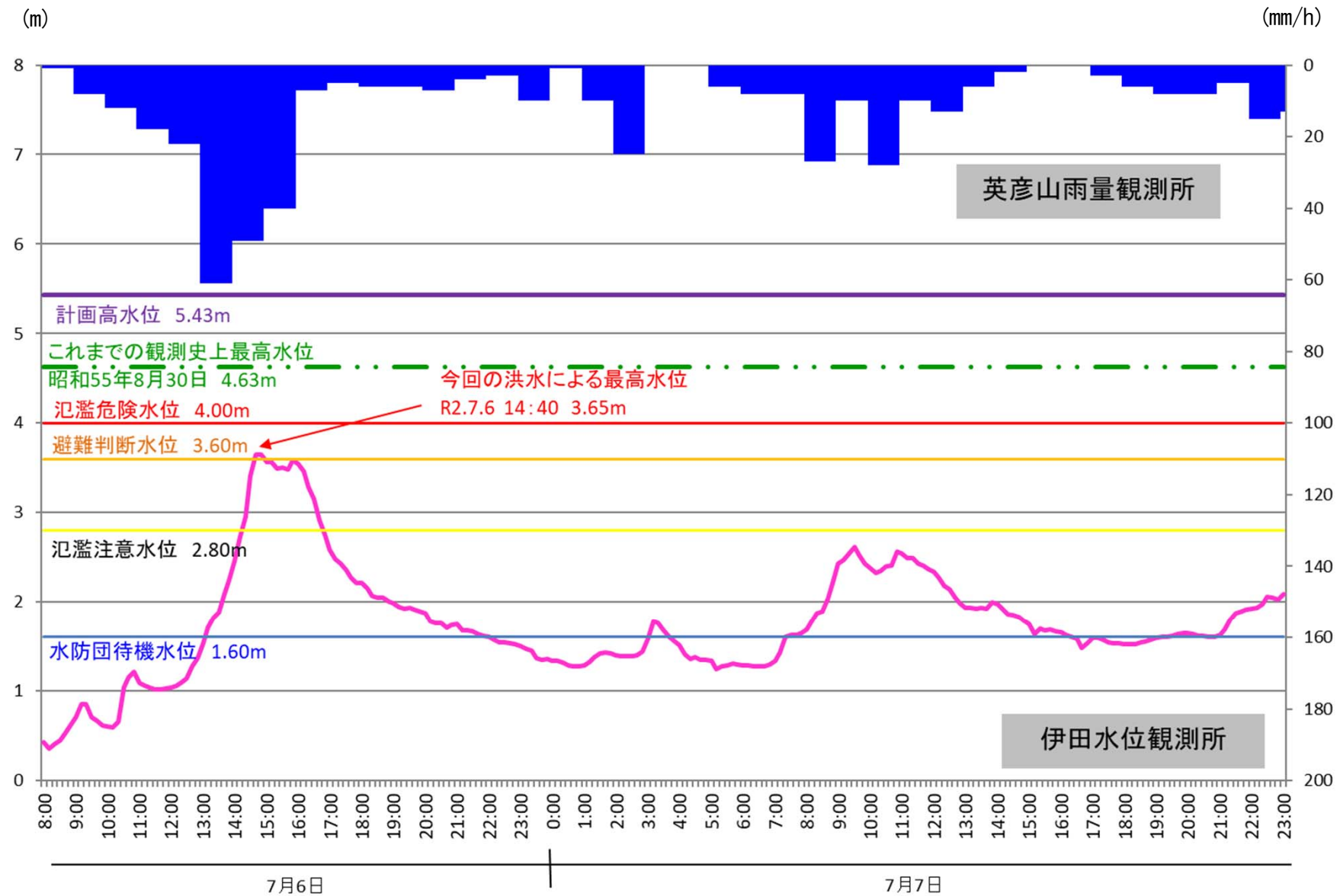
○ 梅雨前線の影響により遠賀川水系彦山川伊田水位観測所において、ピーク水位3.65mを記録。

遠賀川（伊田水位観測所の年最高水位比較図）



* : 水文観測データ統計処理要領より統計データでは欠測であるが、比較が可能なようにデータを補填
※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

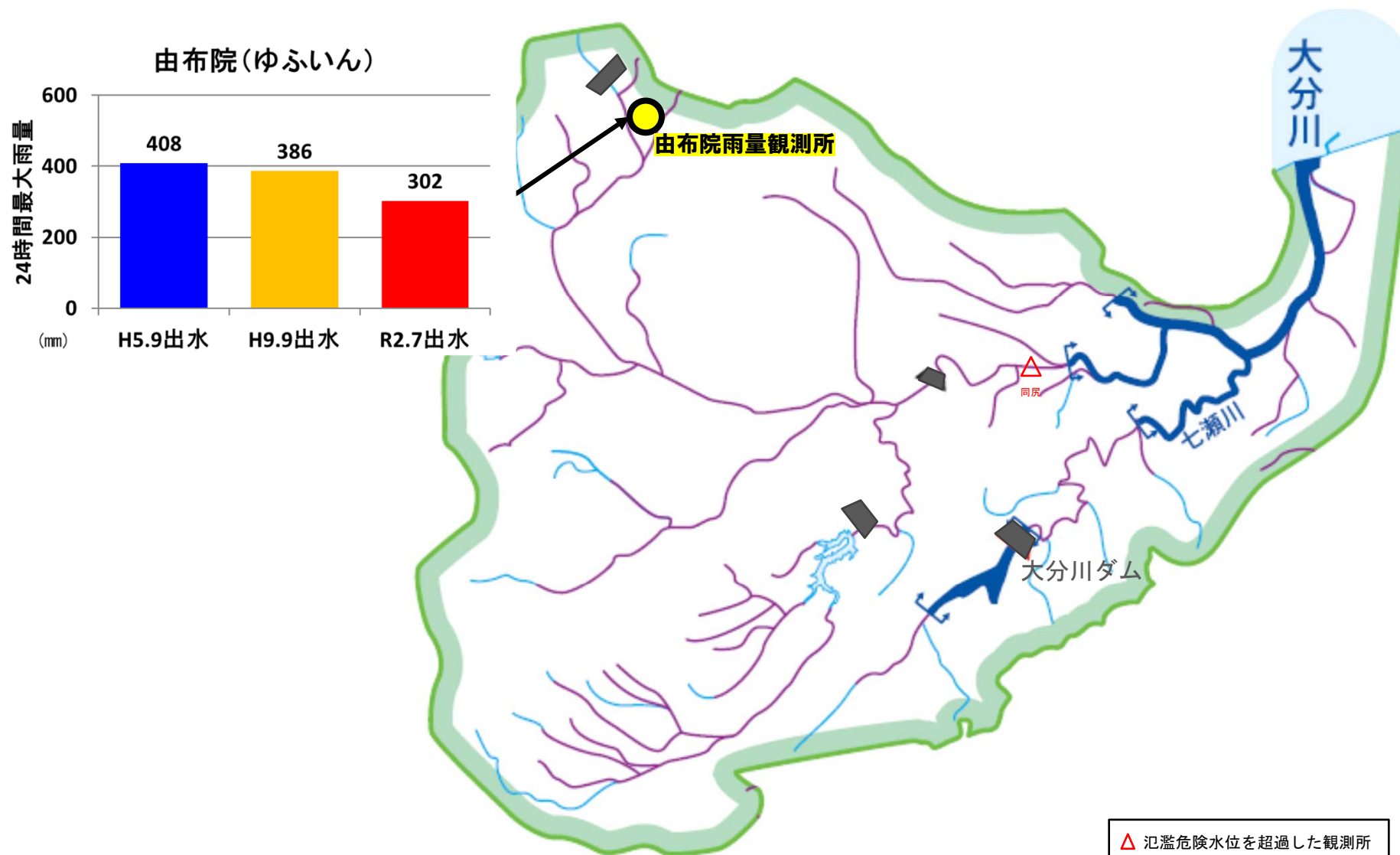
4. 水位の状況（伊田）



※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

4. 雨量の状況（大分川流域）

○大分川流域では、由布院（ゆふいん）雨量観測所において、近年の主な出水と同規模の24時間雨量を観測しました。

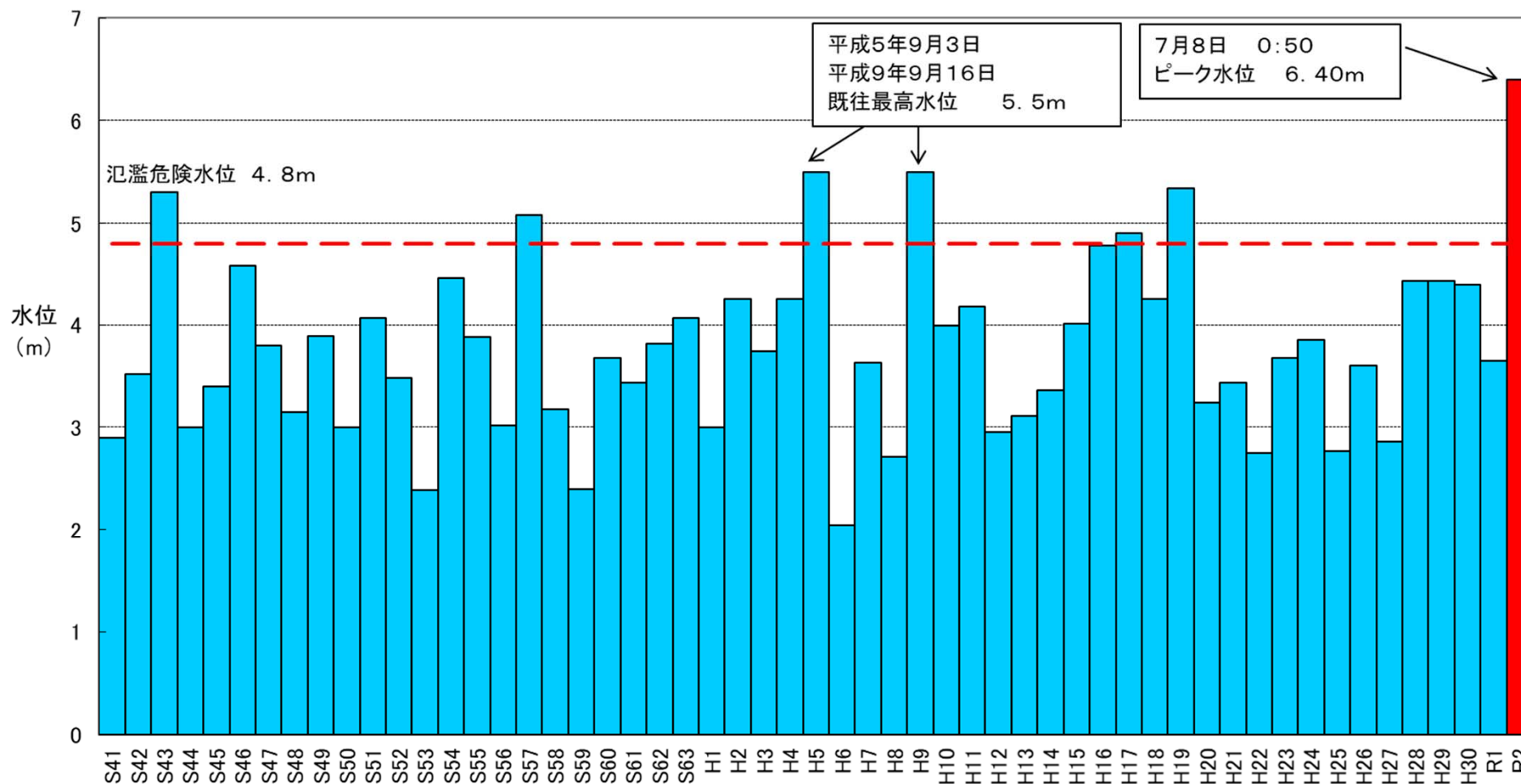


本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

4. 水位の状況（同尻）

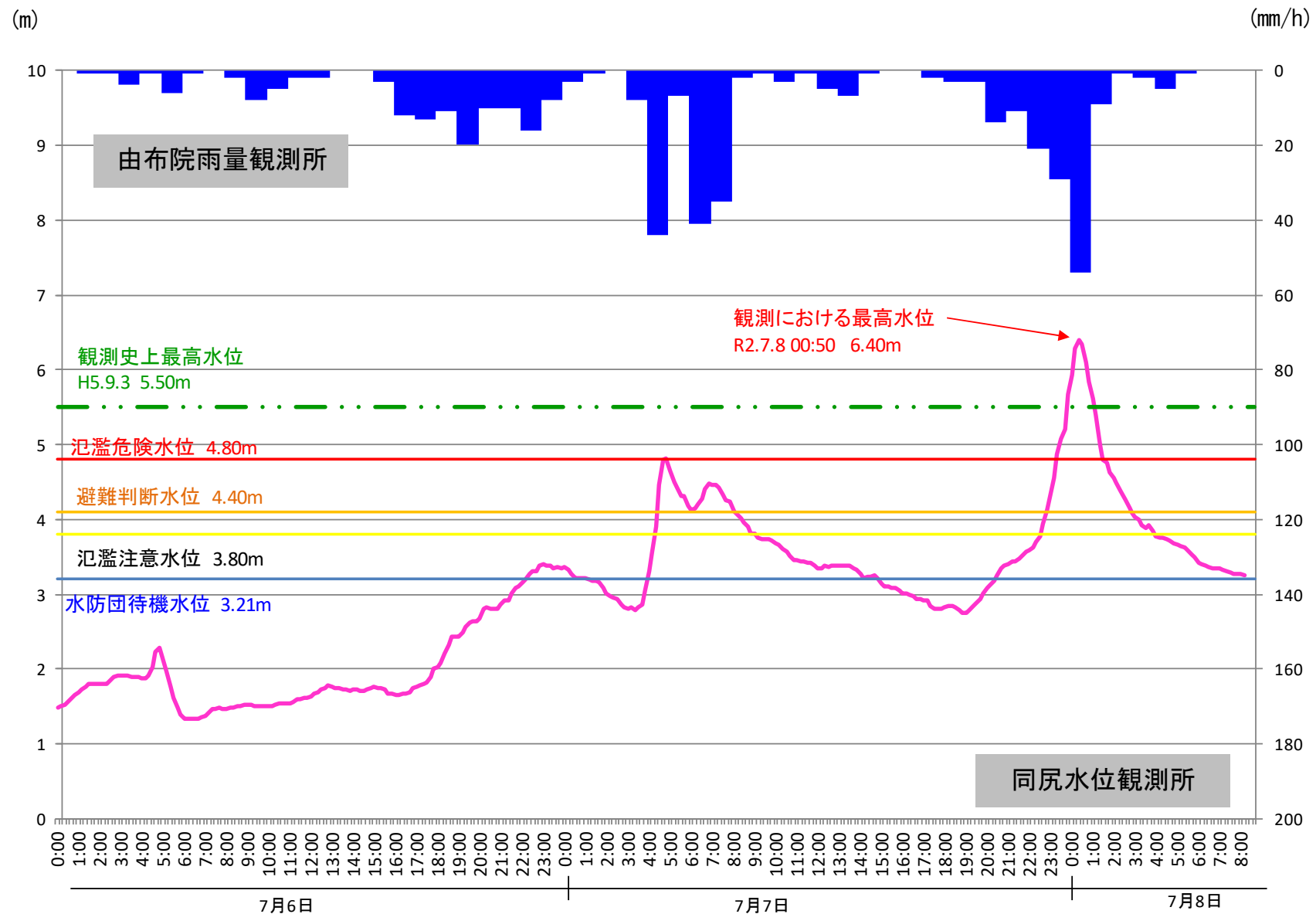
- 梅雨前線の影響により大分川水系大分川同尻水位観測所において、これまで観測史上最高水位を記録したH5.9出水、H9.9出水を大きく超える6.40mを記録。

大分川（同尻水位観測所の年最高水位比較図）



※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

4. 水位の状況（同尻）

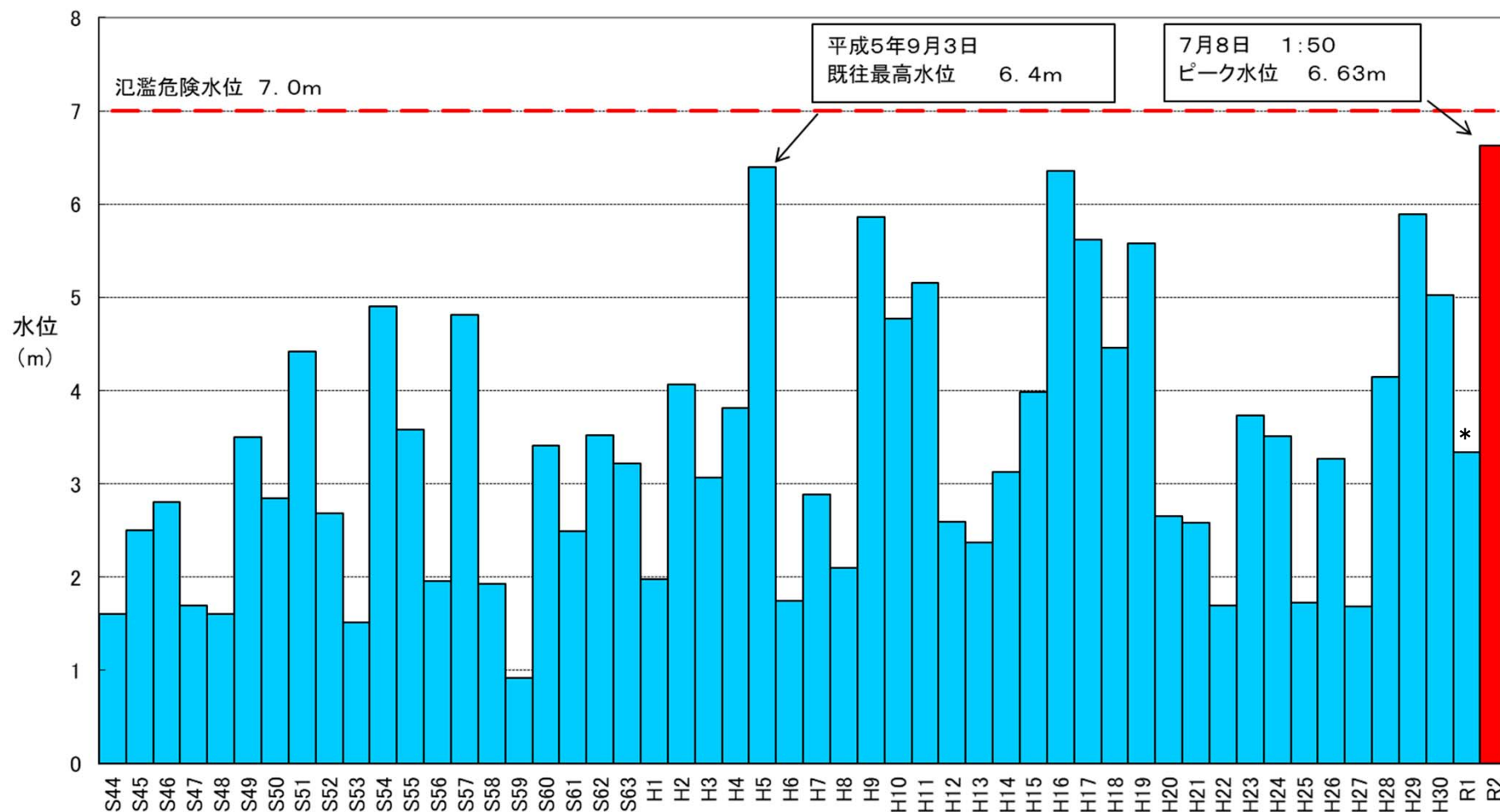


※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

4. 水位の状況（府内大橋）

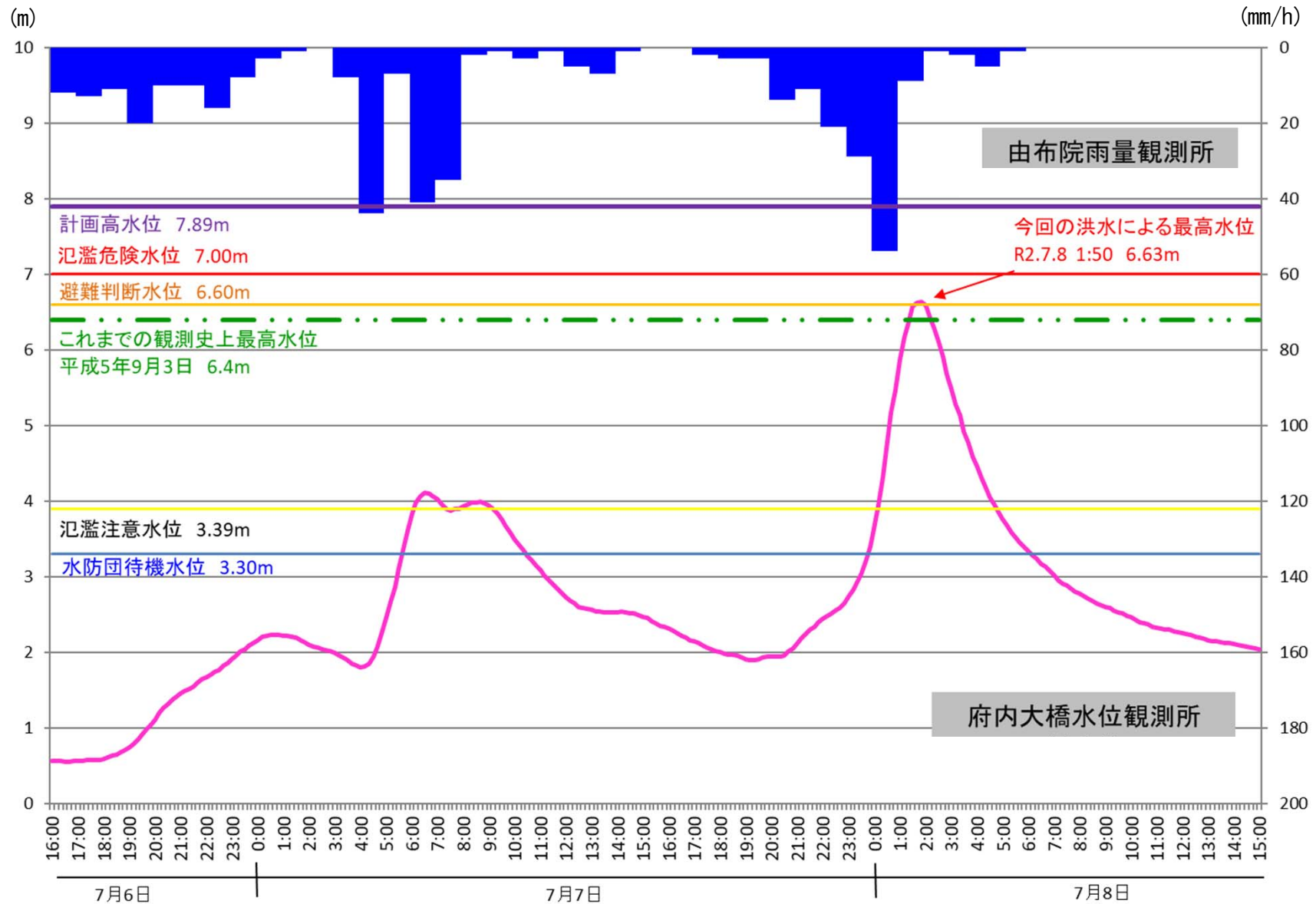
○ 梅雨前線の影響により大分川水系大分川府内大橋水位観測所において、これまで観測史上最高水位を記録したH5.9出水を大きく超える6.63mを記録。

大分川（府内大橋水位観測所の年最高水位比較図）



* : 水文観測データ統計処理要領より統計データでは欠測であるが、比較が可能なようにデータを補填
※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

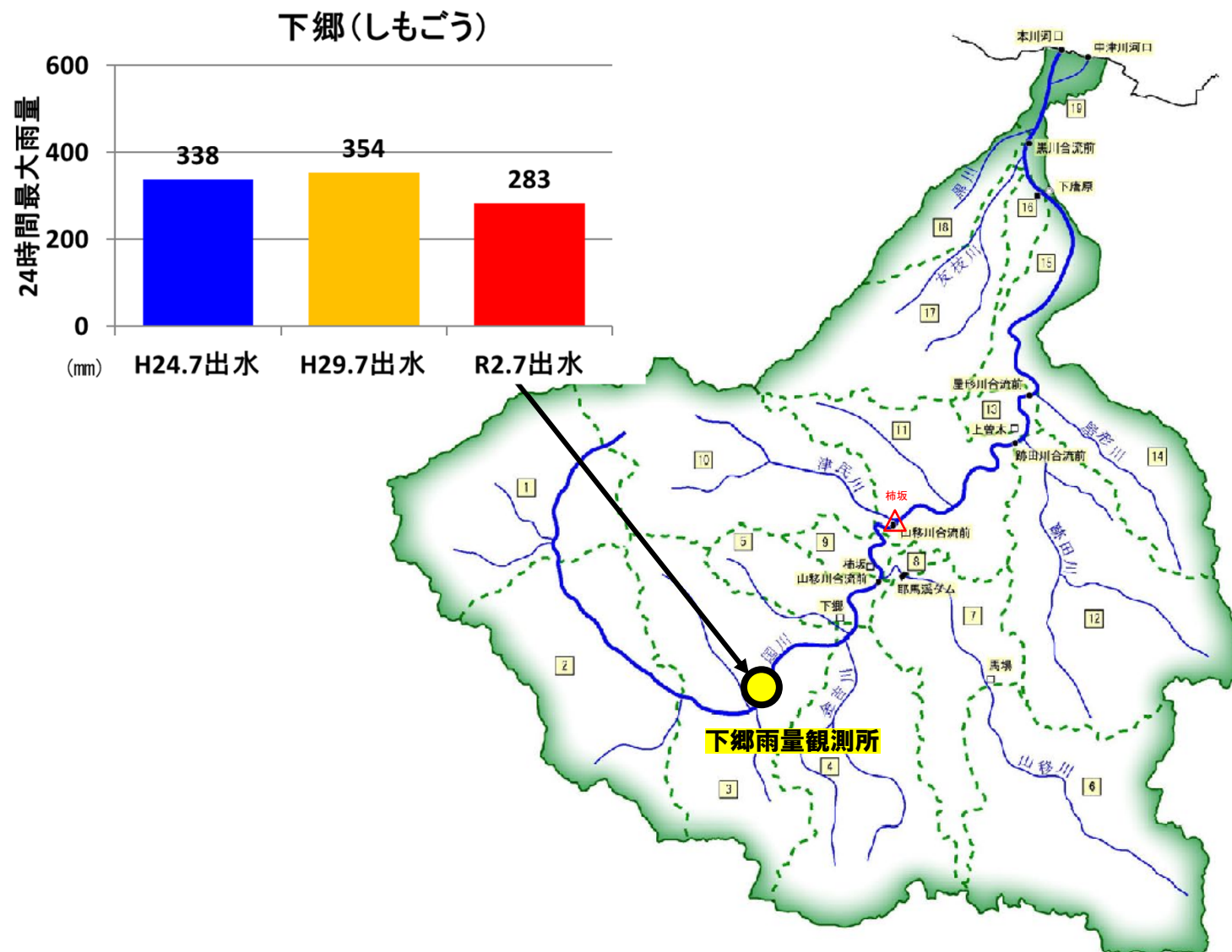
4. 水位の状況（府内大橋）



※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

4. 雨量の状況（山国川流域）

○山国川流域では、下郷（しもごう）雨量観測所において、近年の主な出水と同規模の24時間雨量を観測しました。

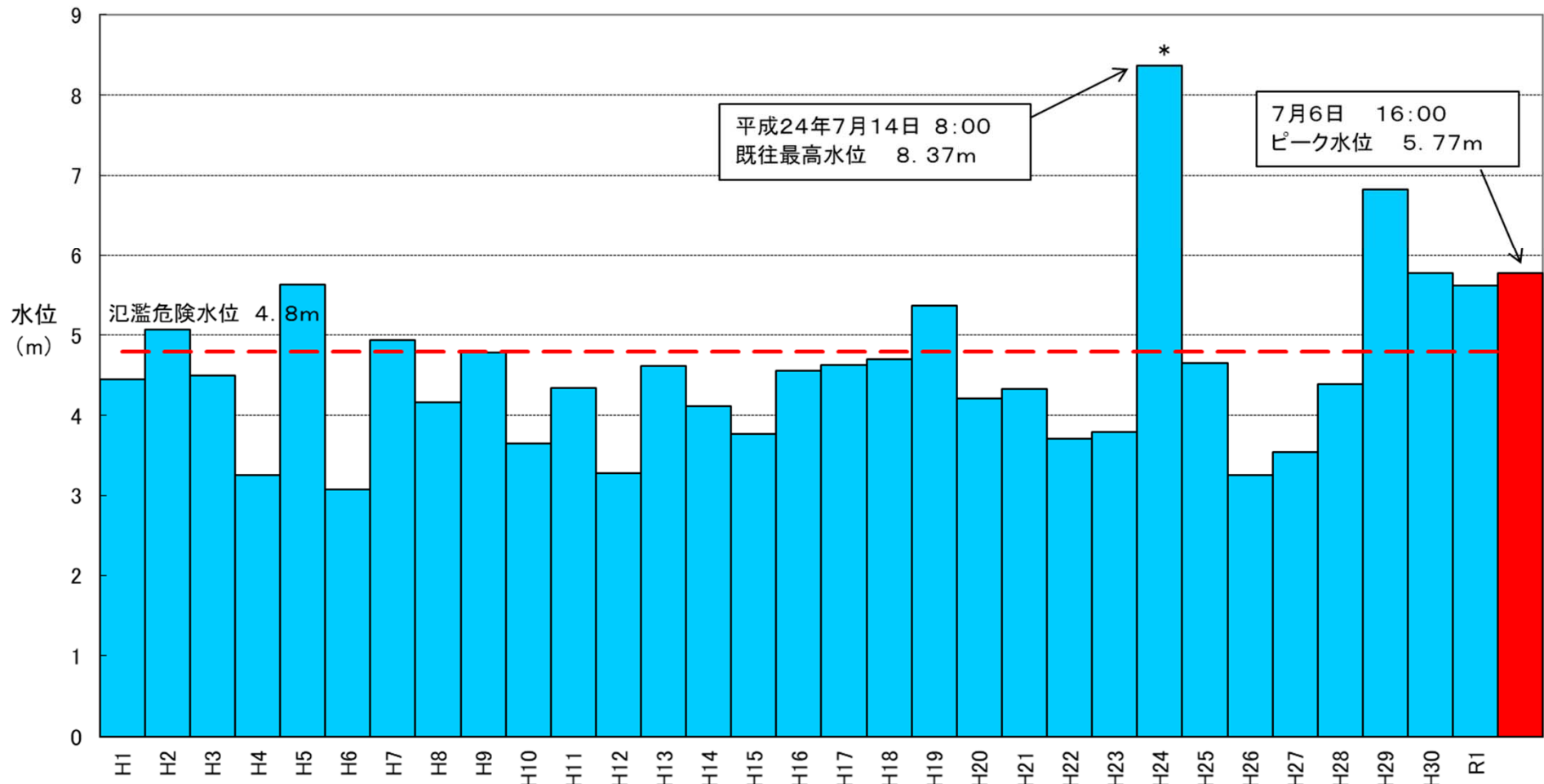


本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

4. 水位の状況（柿坂）

○ 梅雨前線の影響により山国川水系山国川柿坂水位観測所において、ピーク水位5.77mを記録。

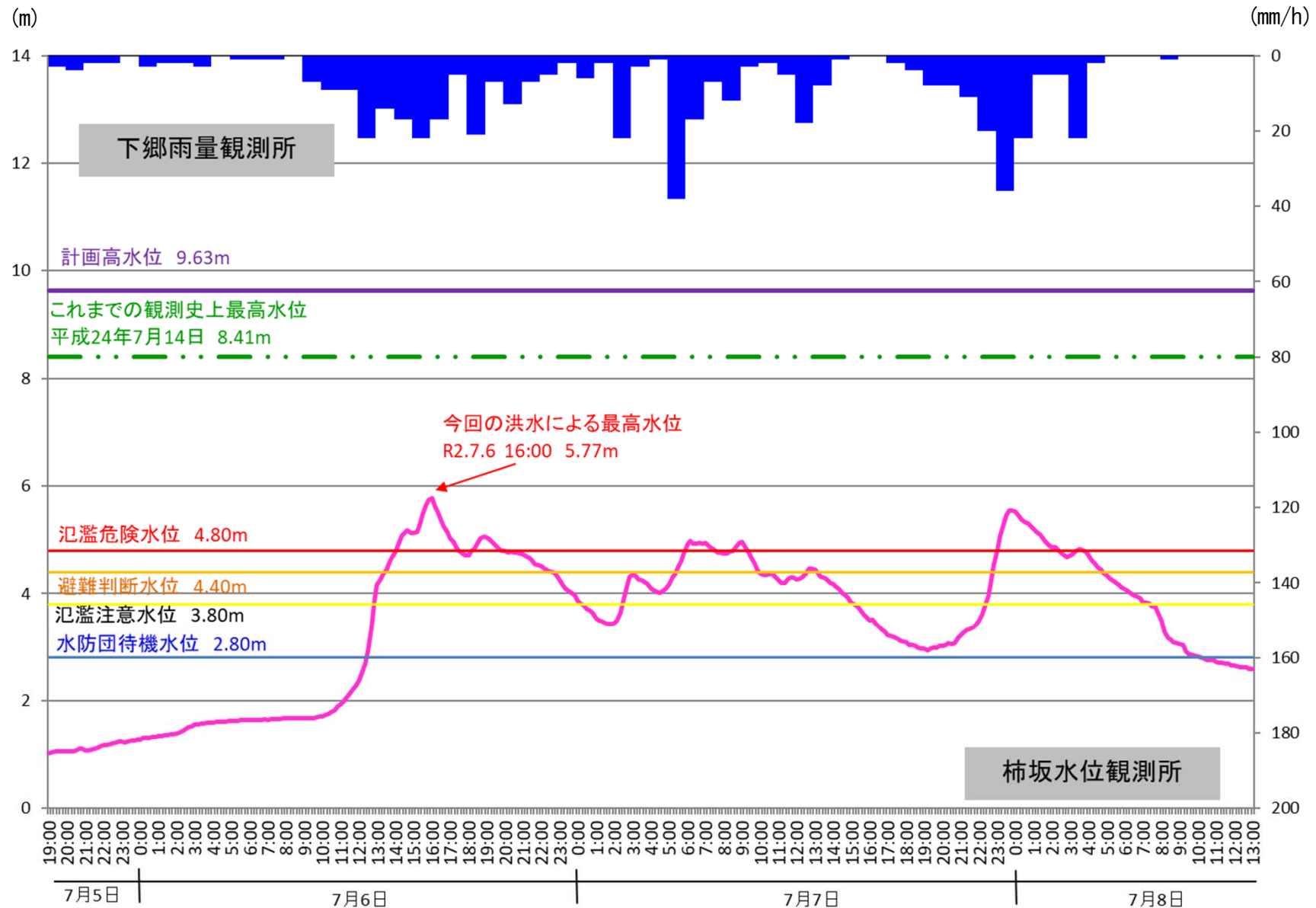
山国川（柿坂水位観測所の年最高水位比較図）



* : 水文観測データ統計処理要領より統計データでは欠測であるが、比較が可能なようにデータを補填

※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

4. 水位の状況（柿坂）

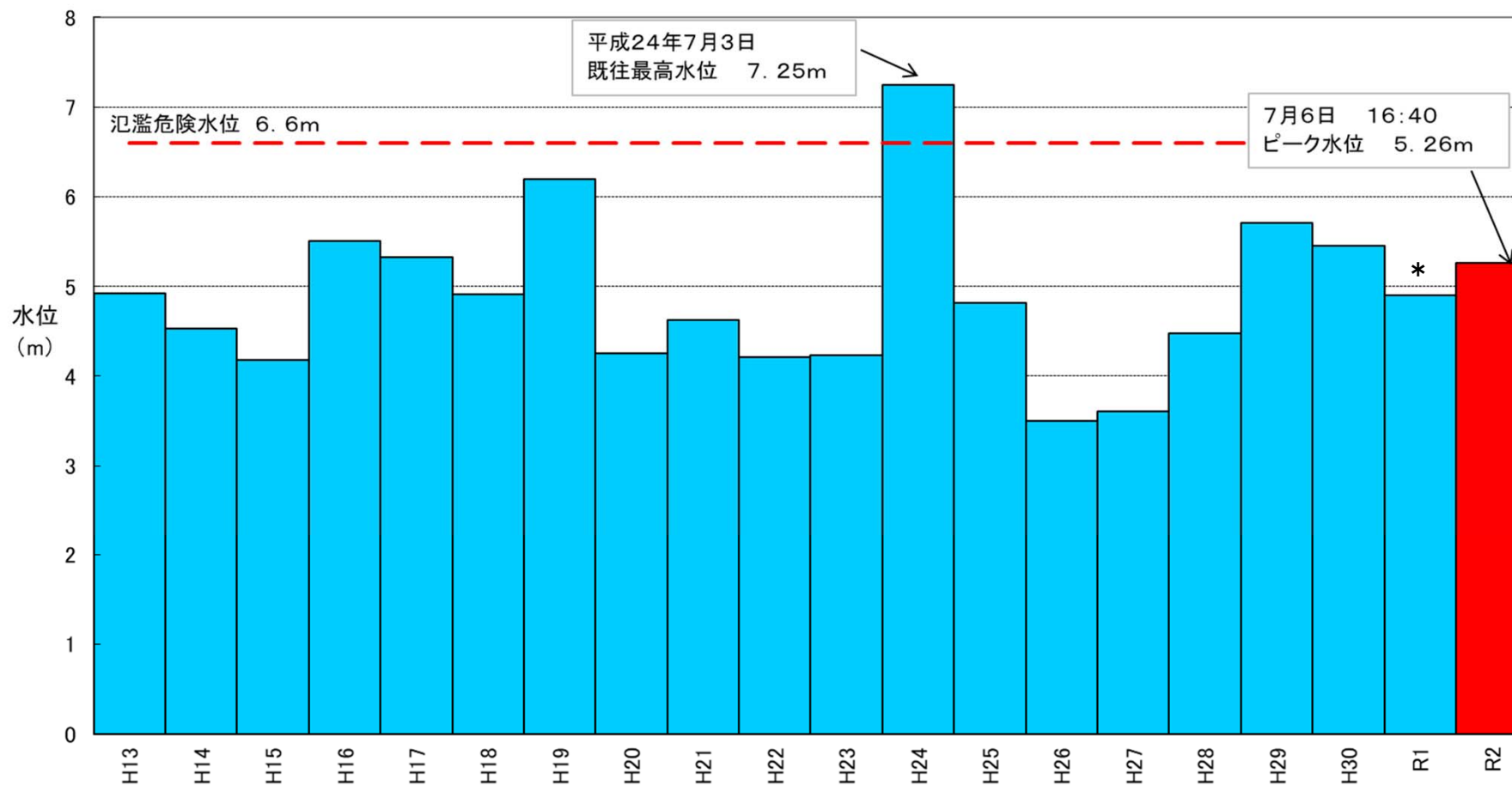


※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

4. 水位の状況（下唐原）

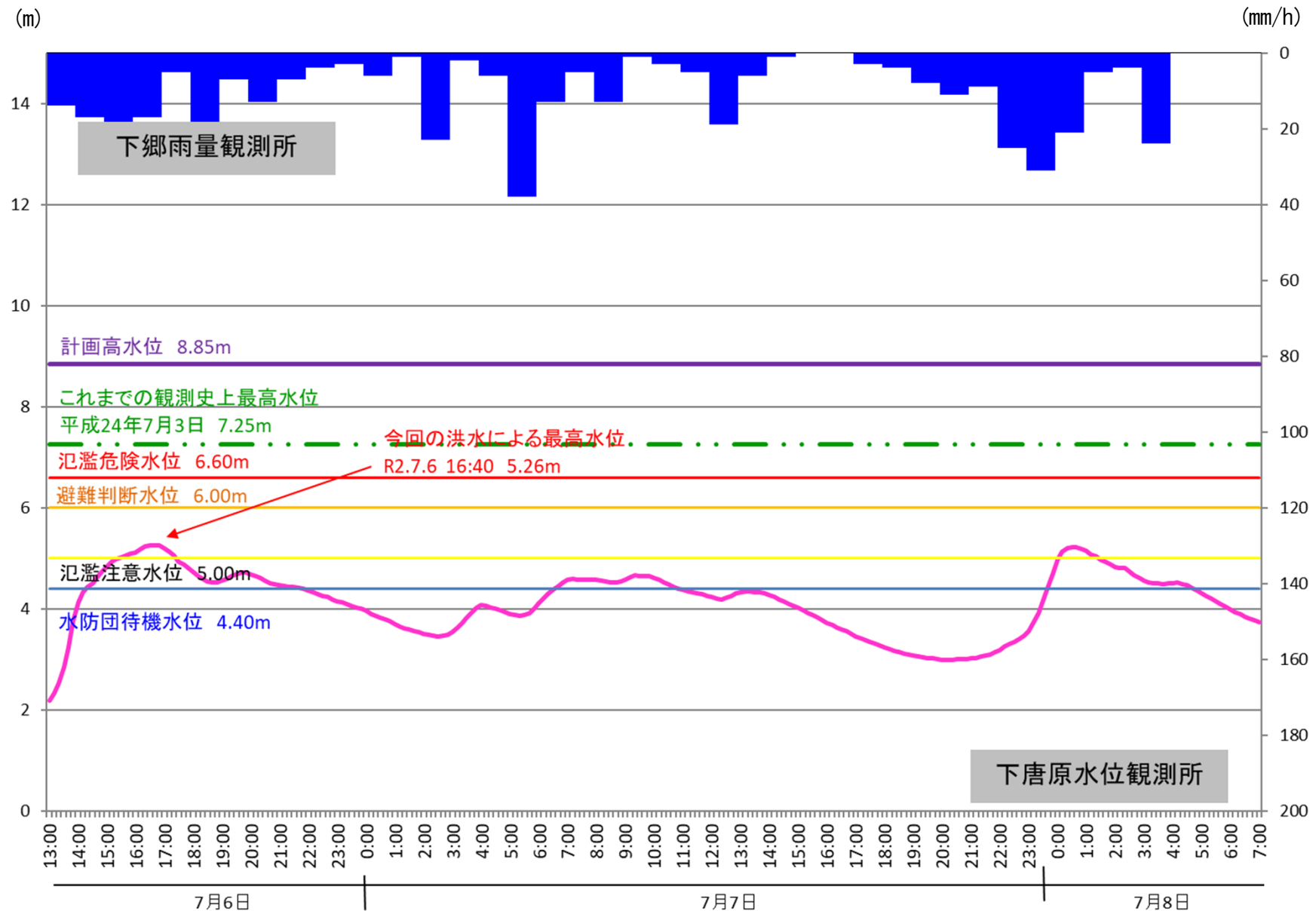
○ 梅雨前線の影響により山国川水系山国川下唐原水位観測所において、ピーク水位5.26mを記録。

山国川（下唐原水位観測所の年最高水位比較図）



* : 水文観測データ統計処理要領より統計データでは欠測であるが、比較が可能なようにデータを補填
※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

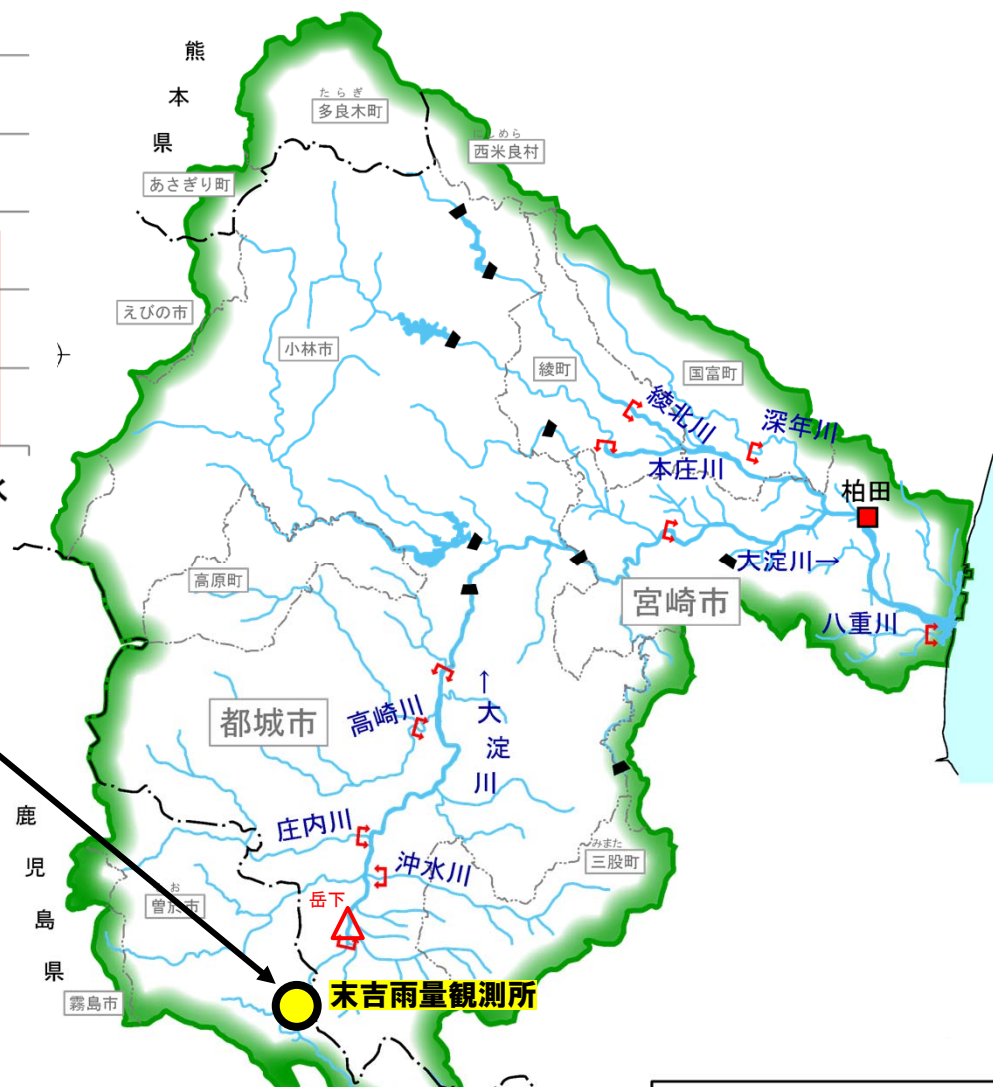
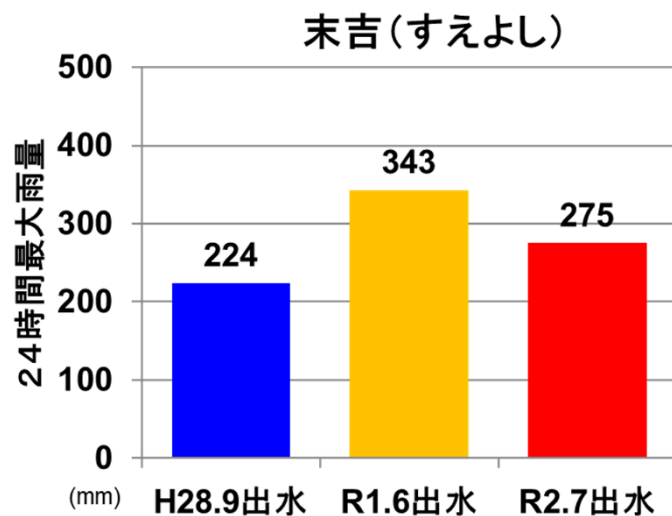
4. 水位の状況（下唐原）



※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

4. 雨量の状況（大淀川流域）

○大淀川流域では、末吉（すえよし）雨量観測所において、近年の主な出水と同規模の24時間雨量を観測しました。



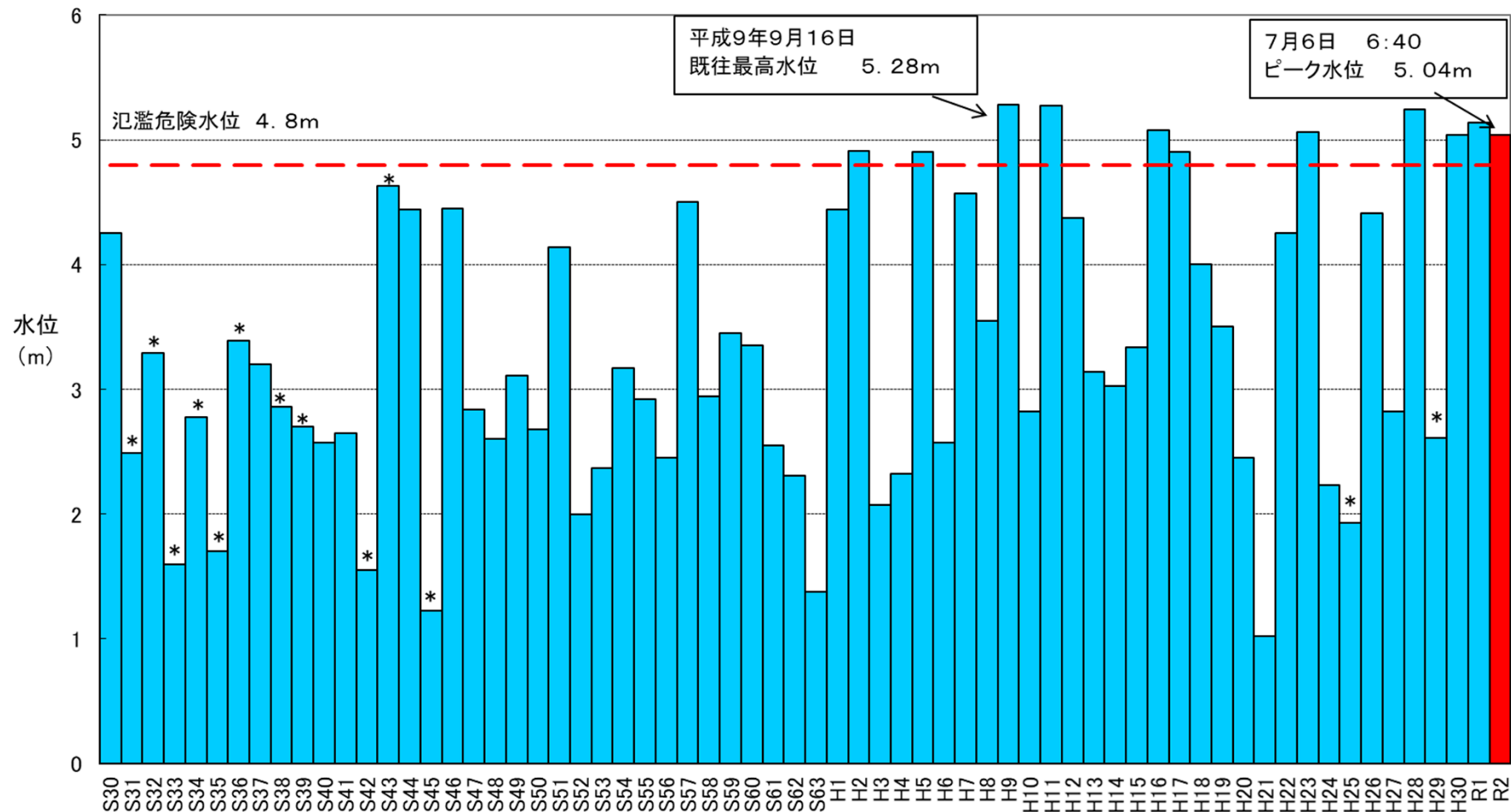
本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

△ 氾濫危険水位を超過した観測所

4. 水位の状況（岳下）

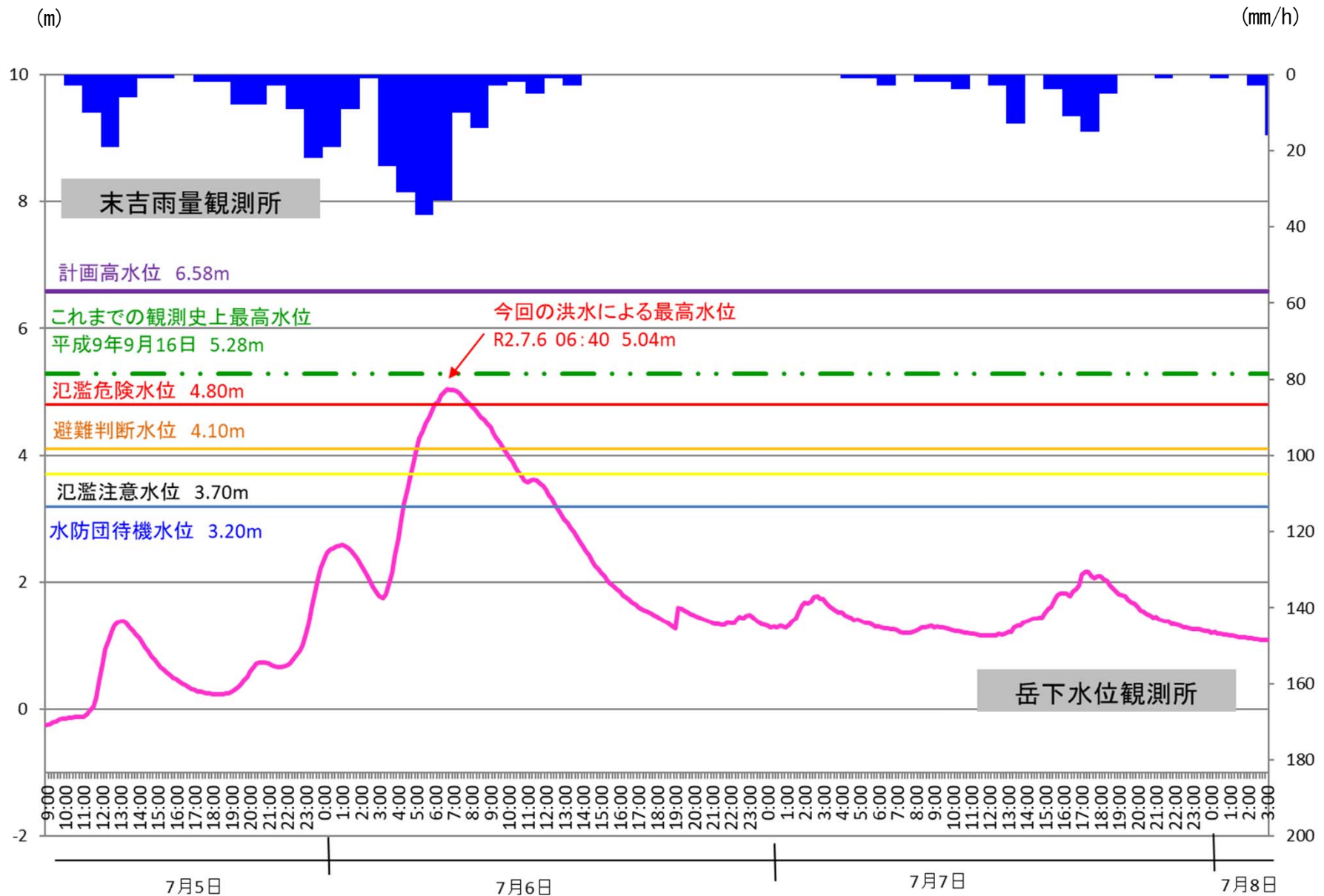
- 梅雨前線の影響により大淀川水系大淀川岳下水位観測所において、これまで観測史上最高水位を記録したH9.9出水と同等の水位5.04mを記録。

大淀川（岳下水位観測所の年最高水位比較図）



* : 水文観測データ統計処理要領より統計データでは欠測であるが、比較が可能なようにデータを補填
※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

4. 水位の状況（岳下）

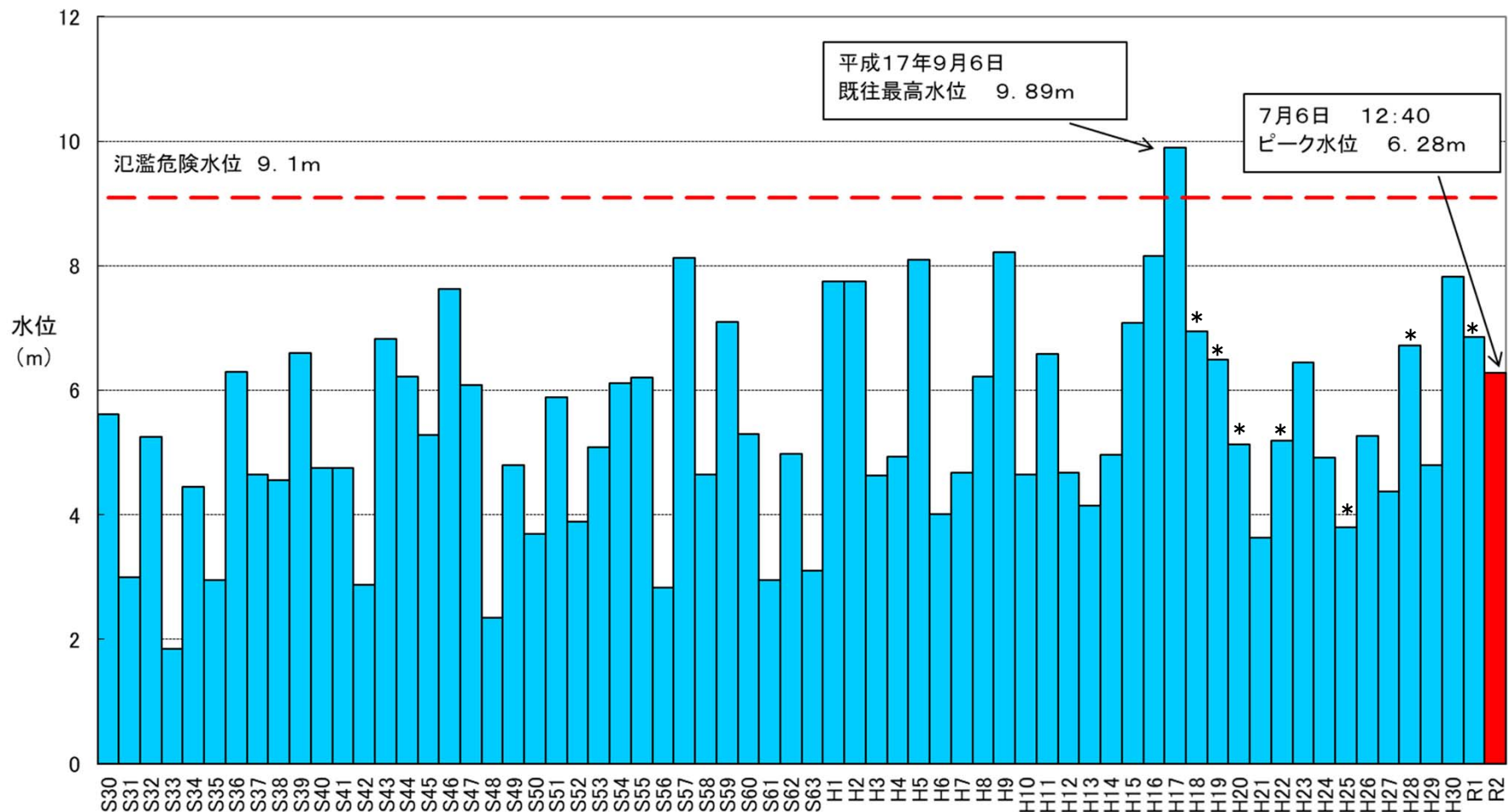


※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

4. 水位の状況（柏田）

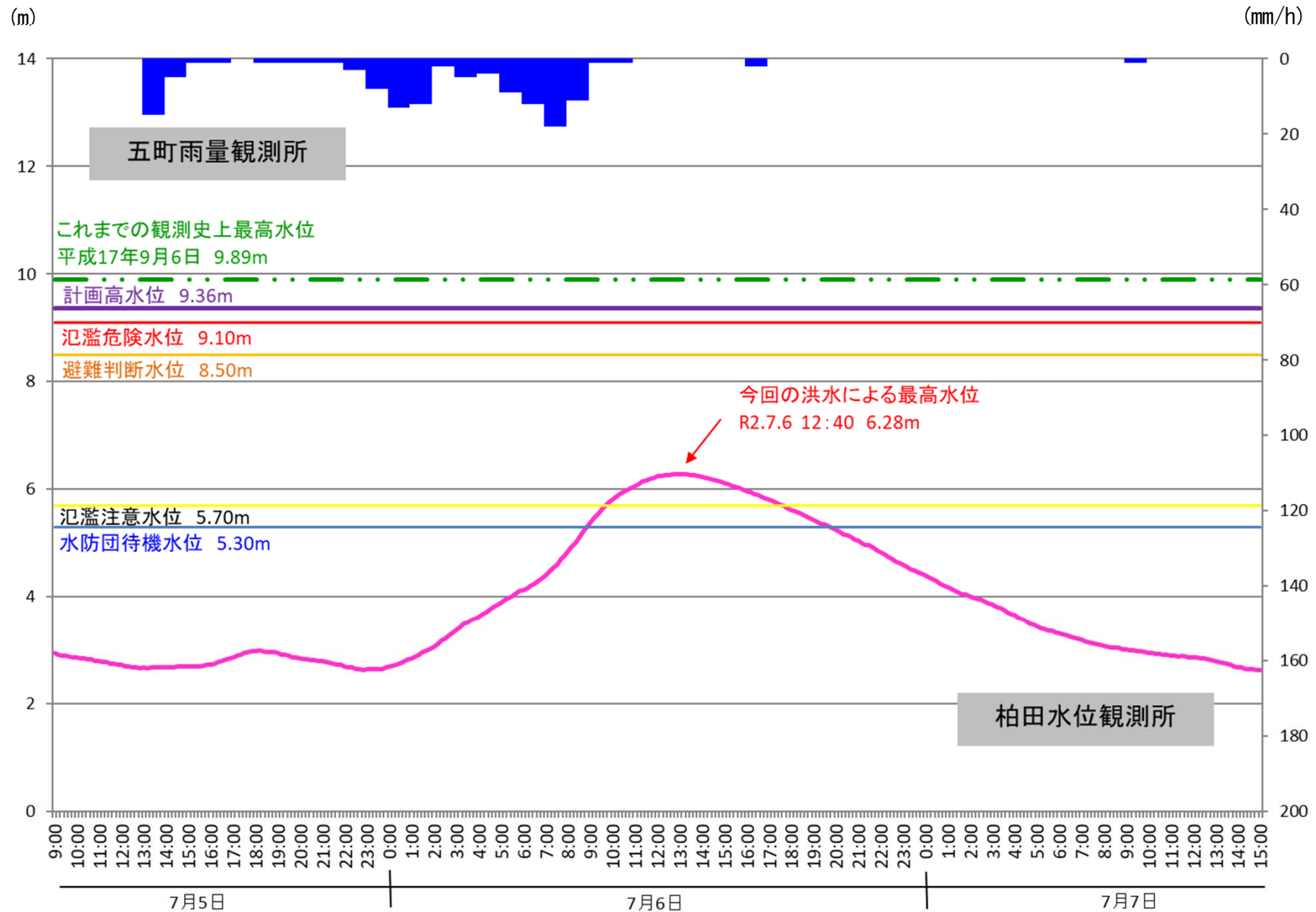
○ 梅雨前線の影響により大淀川水系大淀川柏田水位観測所において、ピーク水位6.28mを記録。

大淀川（柏田水位観測所の年最高水位比較図）



* : 水文観測データ統計処理要領より統計データでは欠測であるが、比較が可能なようにデータを補填
※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

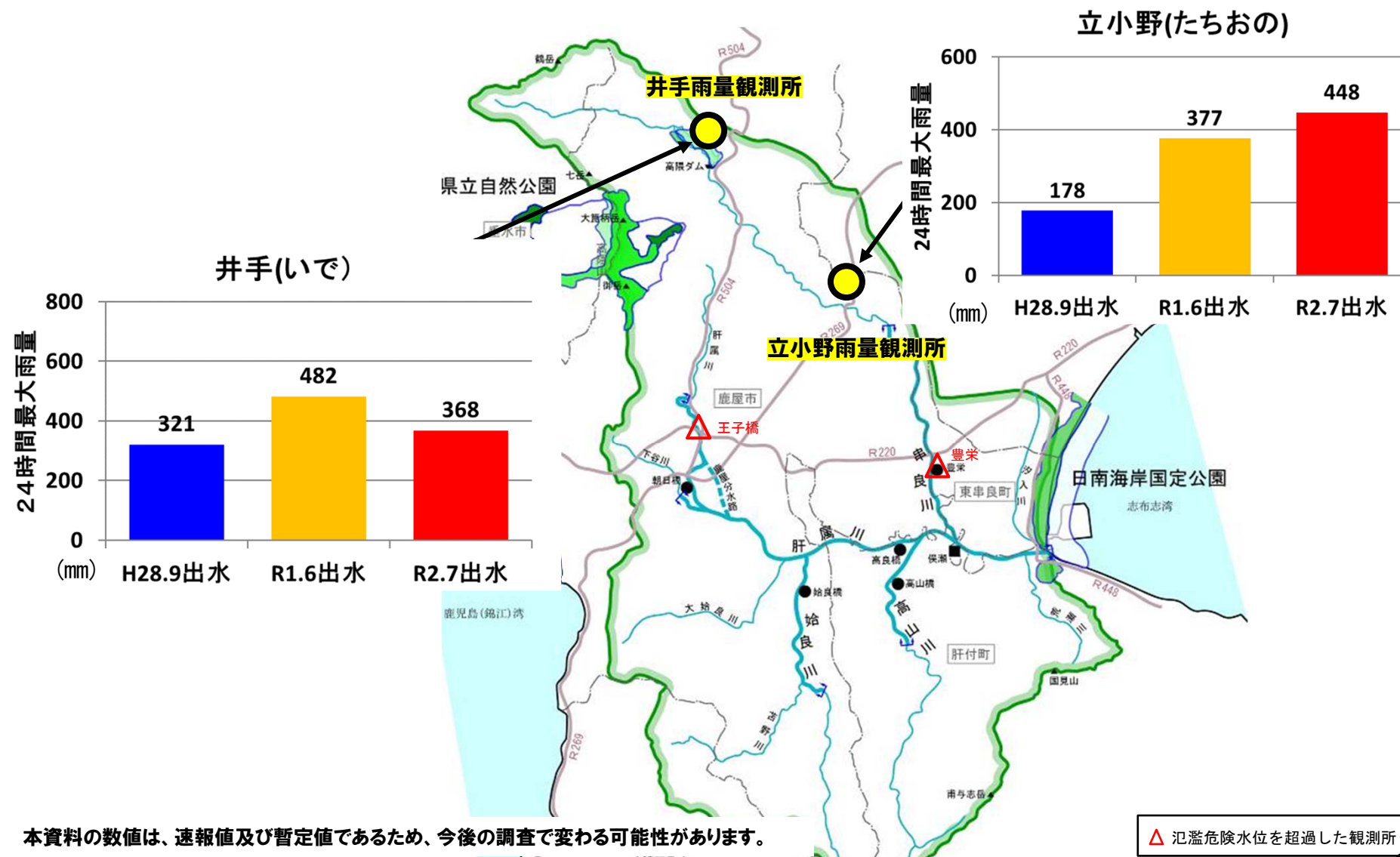
4. 水位の状況（柏田）



※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

4. 雨量の状況（肝属川流域）

○肝属川流域では、井手（いで）、立小野（たちおの）雨量観測所において、近年の主な出水と同等若しくは上回る24時間雨量を観測しました。



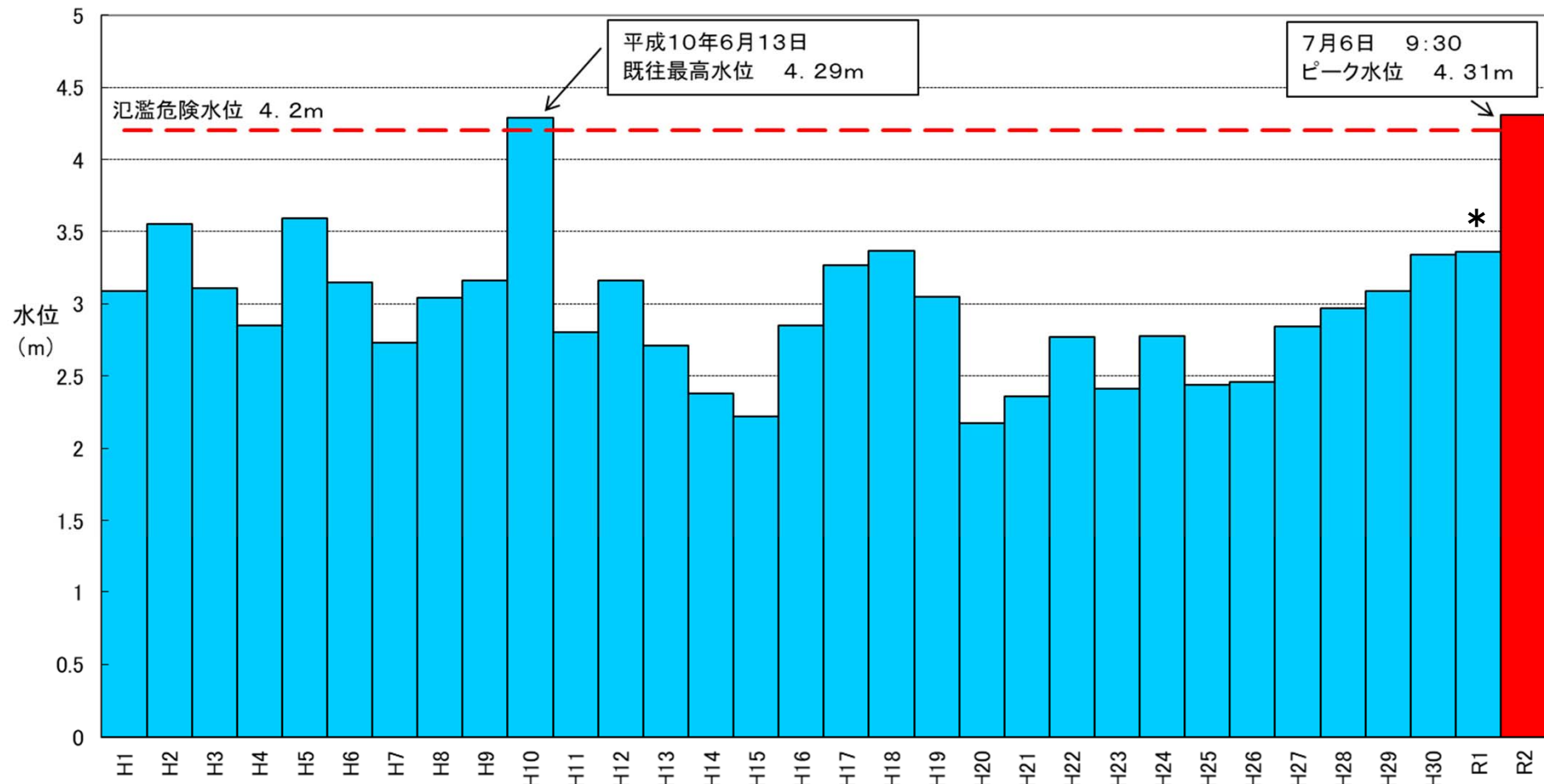
本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

△ 氾濫危険水位を超過した観測所

4. 水位の状況（王子橋）

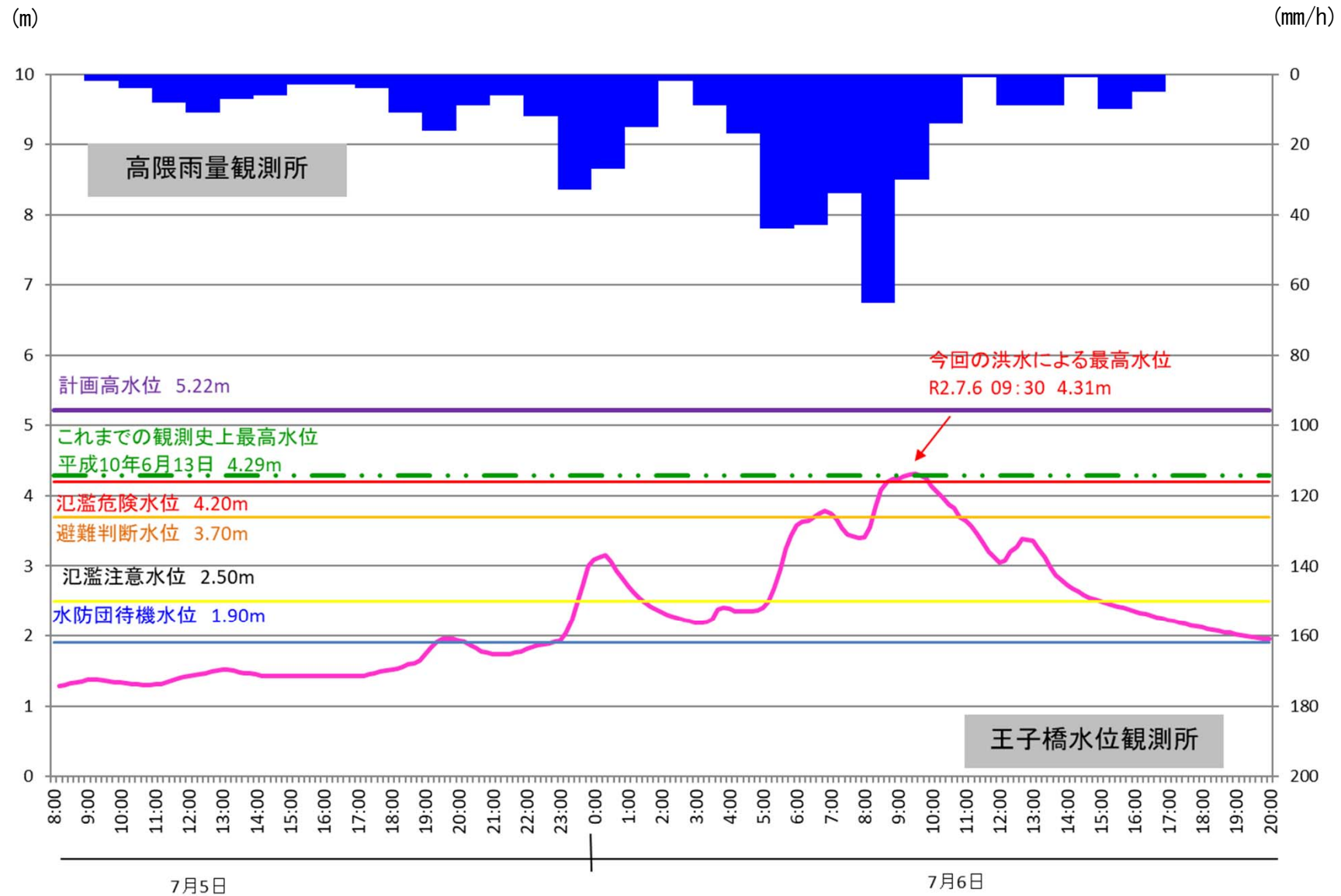
○ 梅雨前線の影響により肝属川水系肝属川王子橋水位観測所において、これまで観測史上最高水位を記録したH10.6出水を超える4.31mを記録。

肝属川（王子橋水位観測所の年最高水位比較図）



* : 水文観測データ統計処理要領より統計データでは欠測であるが、比較が可能なようにデータを補填
※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

4. 水位の状況（王子橋）

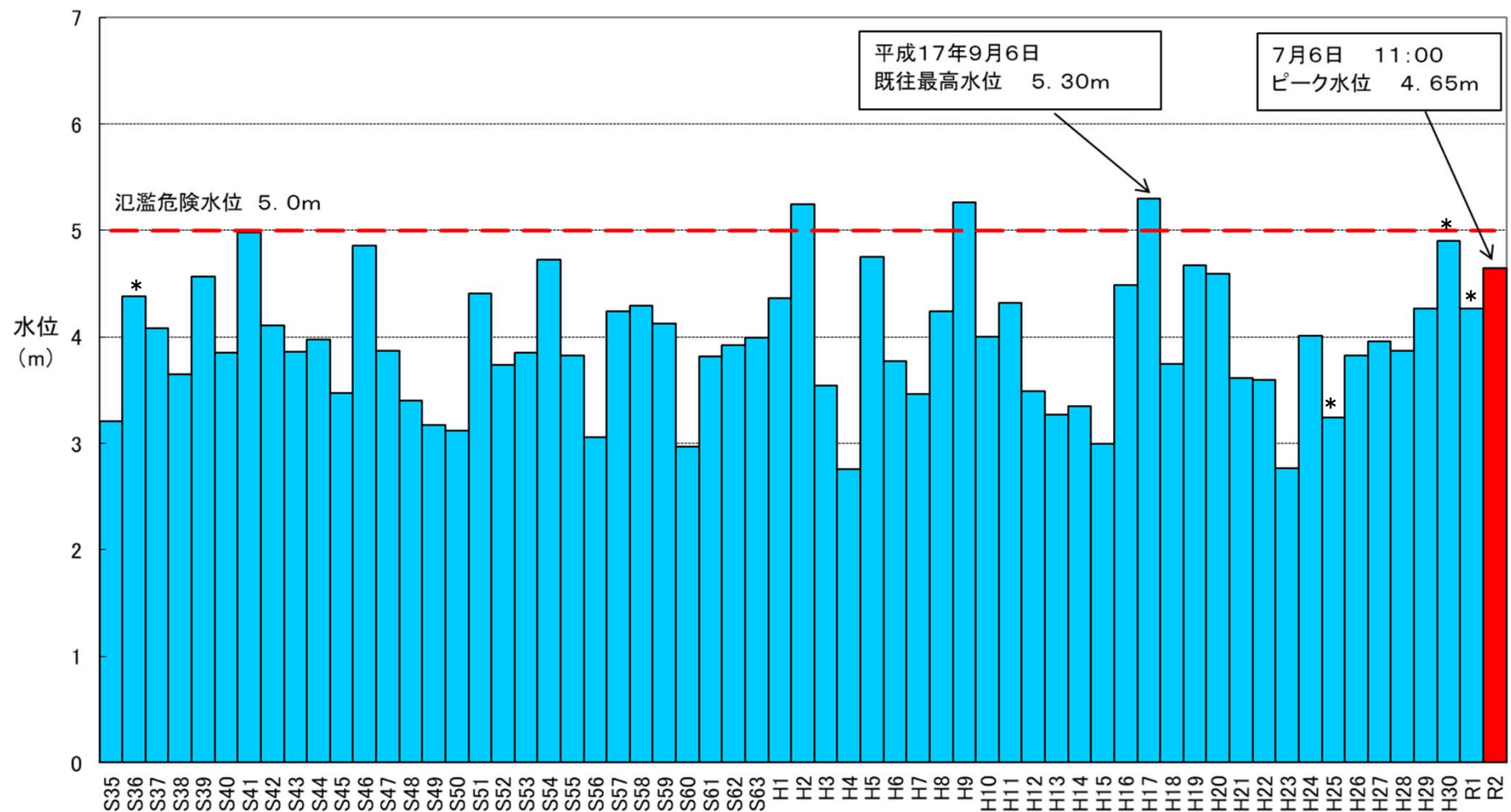


※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

4. 水位の状況（俣瀬）

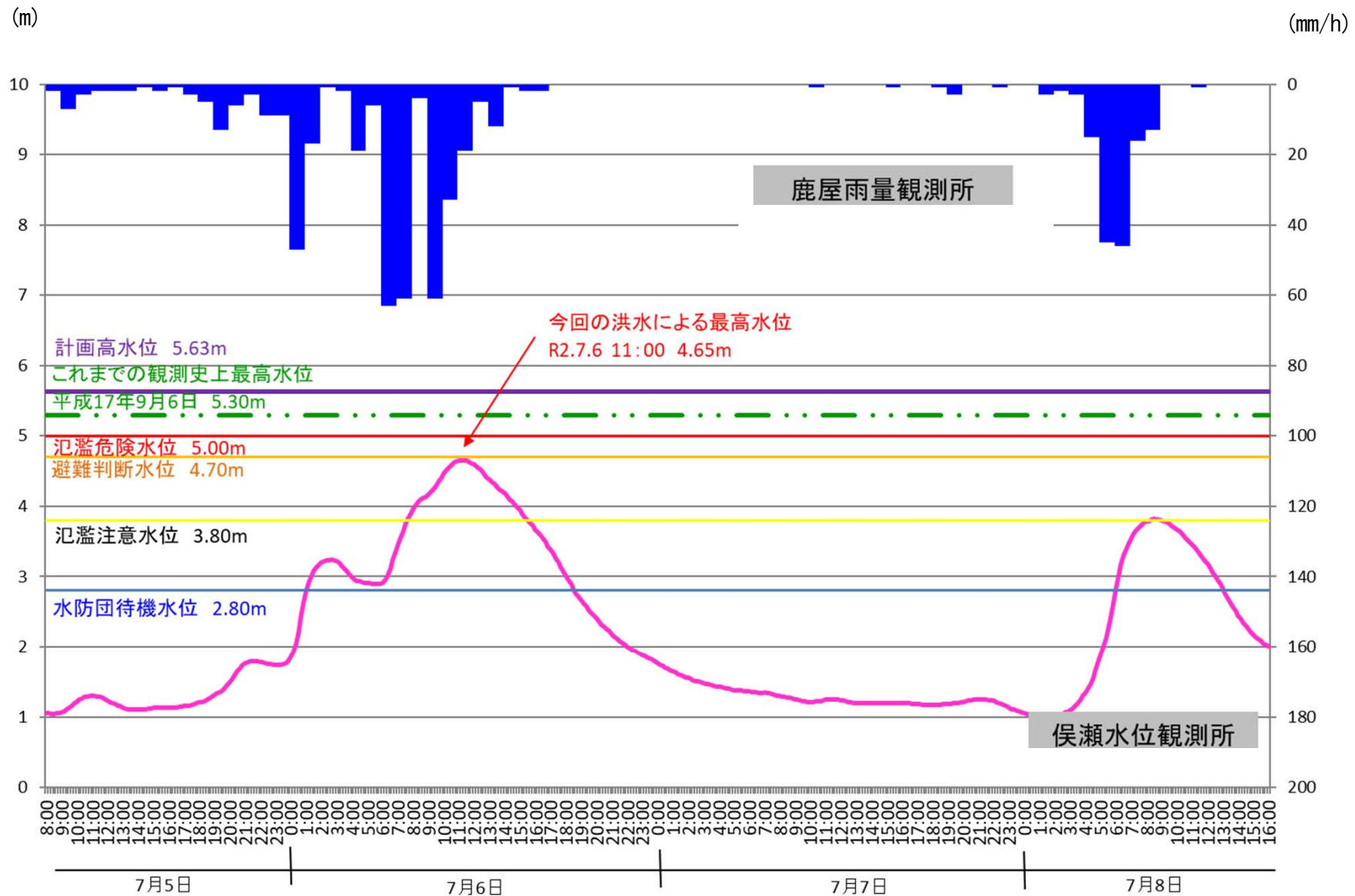
○ 梅雨前線の影響により肝属川水系肝属川俣瀬水位観測所において、ピーク水位4.65mを記録。

肝属川（俣瀬水位観測所の年最高水位比較図）



* : 水文観測データ統計処理要領より統計データでは欠測であるが、比較が可能なようにデータを補填
※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

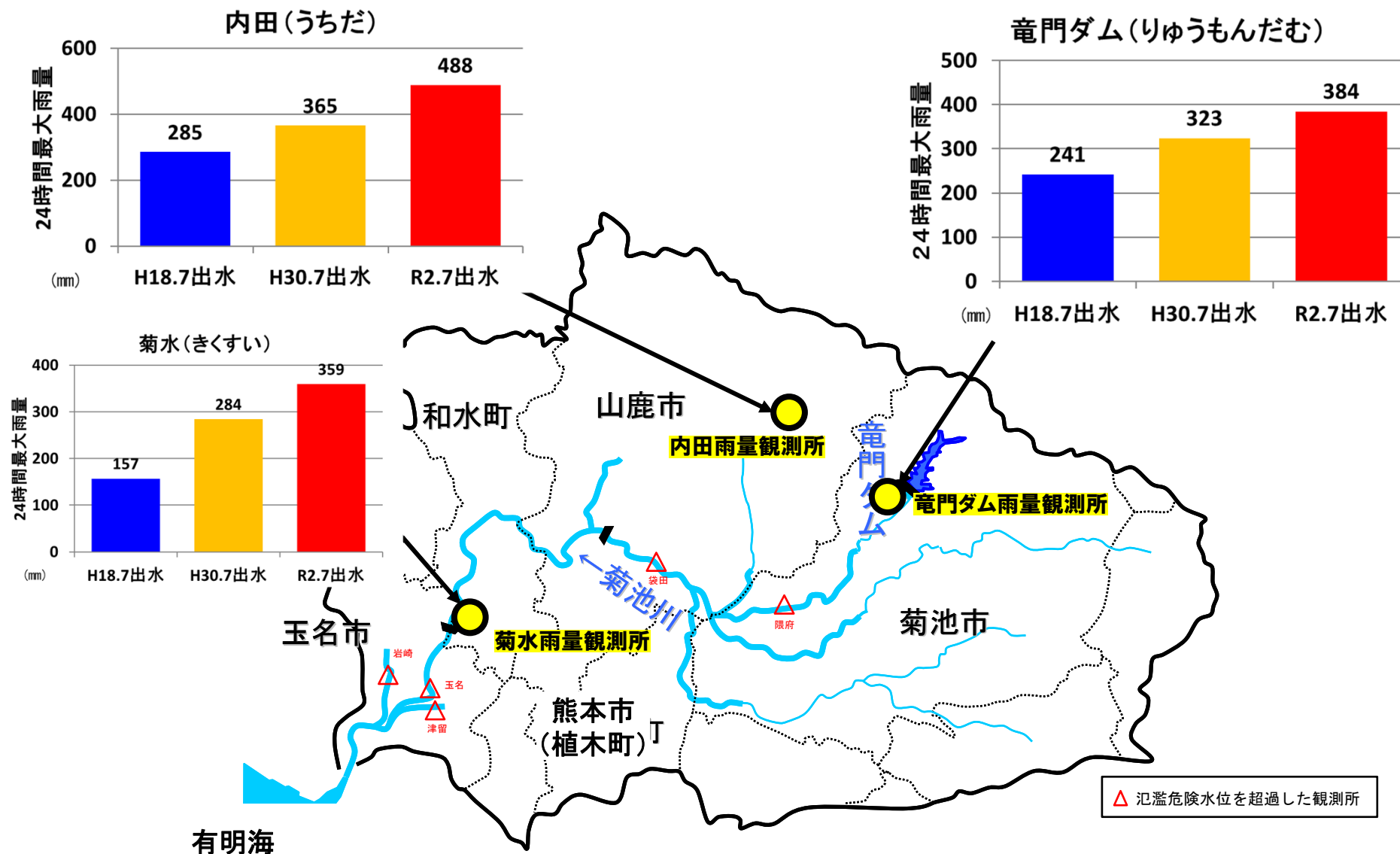
4. 水位の状況（俣瀬）



※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

4. 雨量の状況（菊池川流域）

○菊池川流域では、竜門ダム（りゅうもんだむ）、内田（うちだ）、菊水（きくすい）雨量観測所において、近年の主な出水を上回る24時間雨量を観測しました。

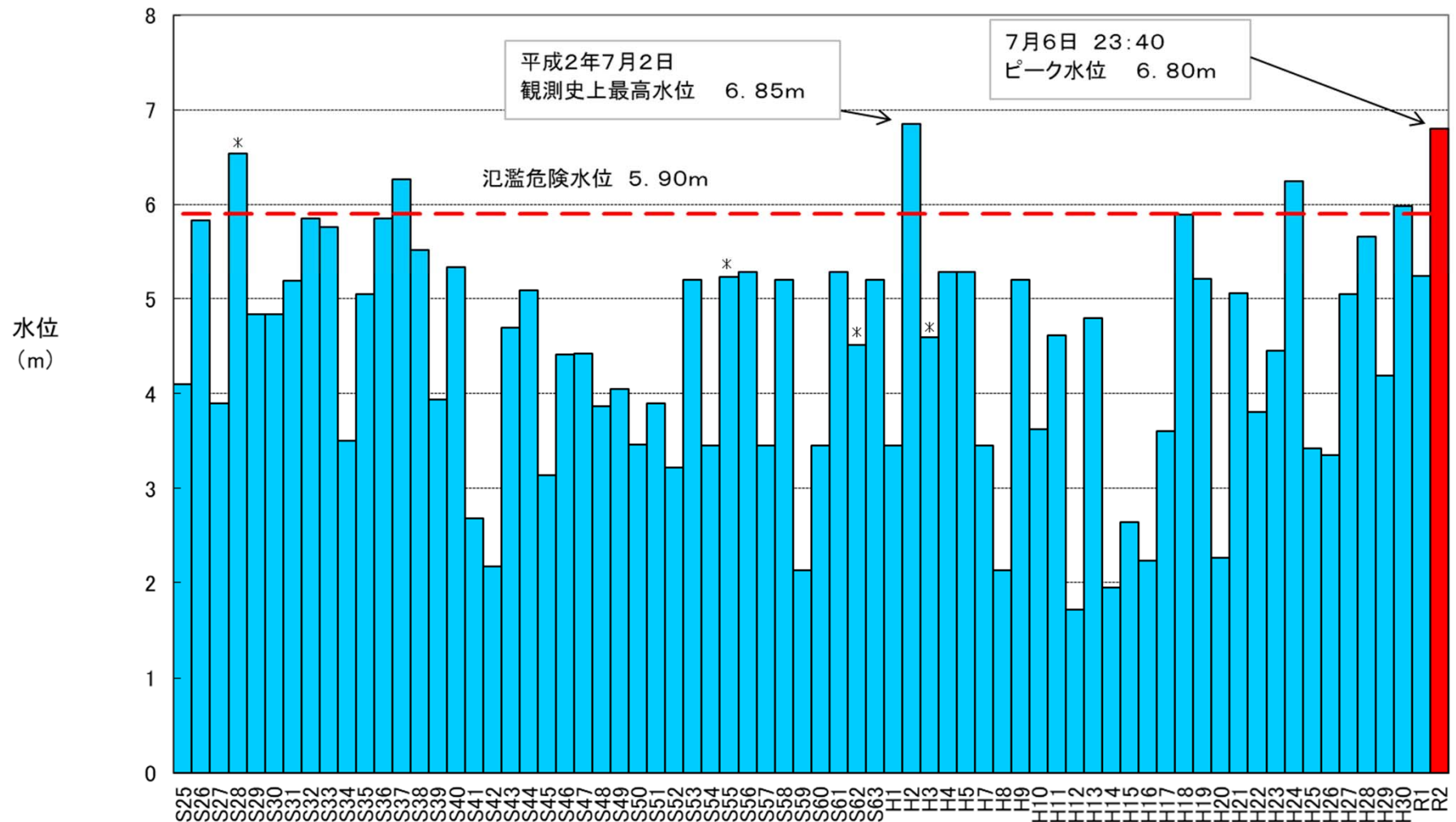


本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

4. 水位の状況（玉名）

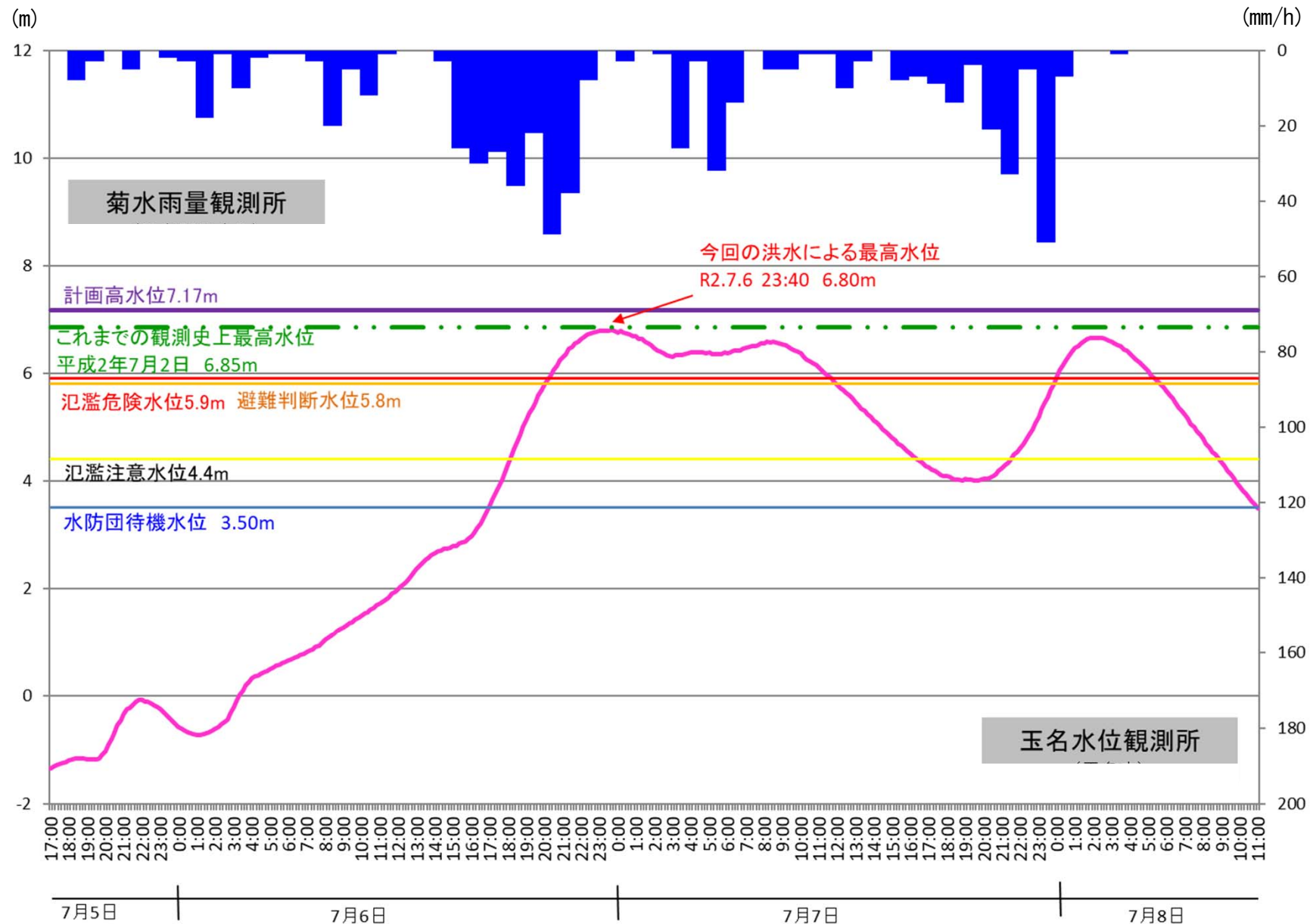
- 梅雨前線の影響により菊池川水系菊池川玉名水位観測所において、これまで観測史上最高水位を記録したH2.7出水と同等の水位6.80mを記録。

菊池川（玉名水位観測所の年最高水位比較図）



* : 水文観測データ統計処理要領より統計データでは欠測であるが、比較が可能なようにデータを補填
※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

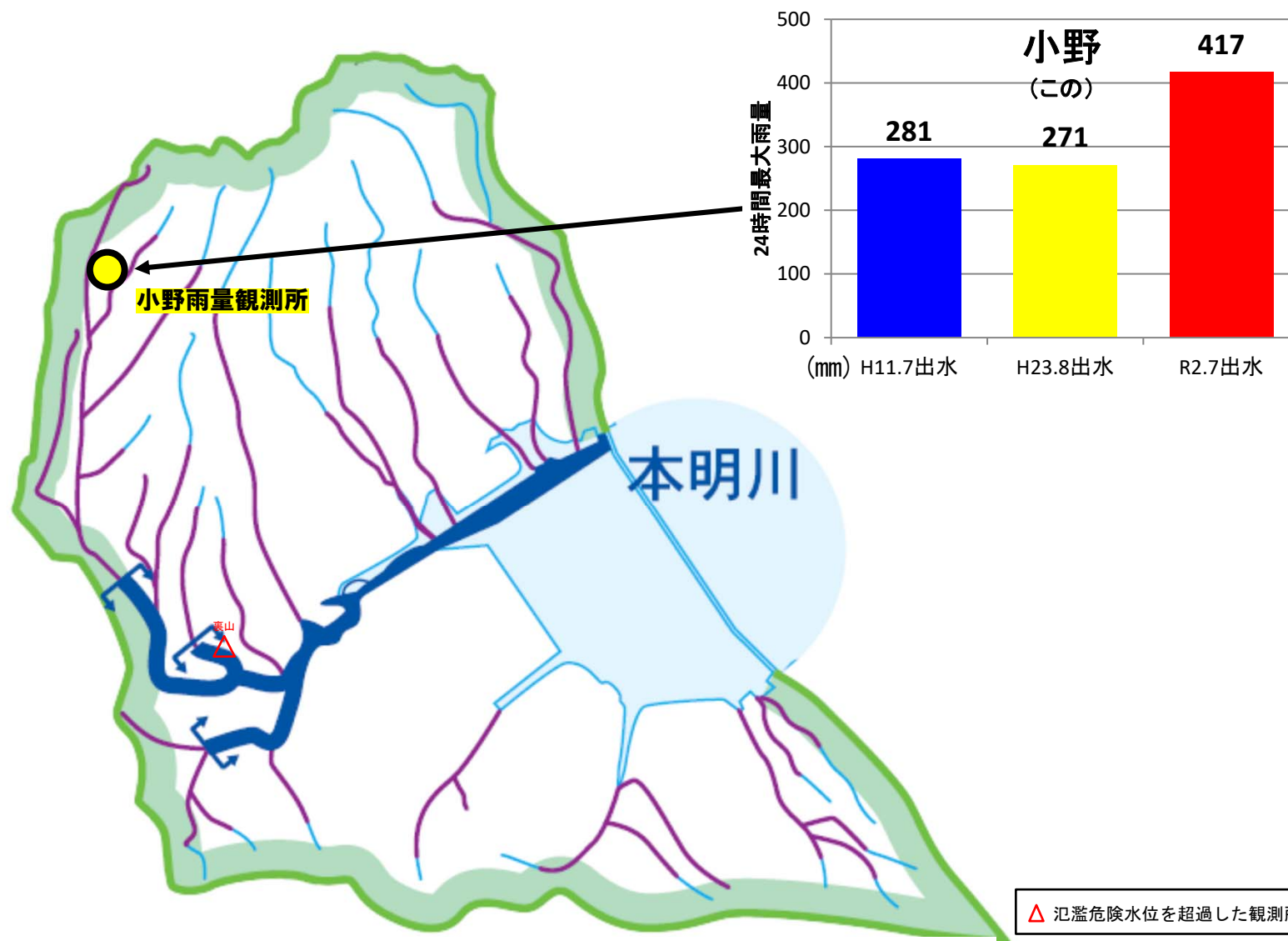
4. 水位の状況（玉名）



※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

4. 雨量の状況（本明川流域）

○本明川流域では、小野（この）雨量観測所において、近年の主な出水を上回る24時間雨量を観測しました。

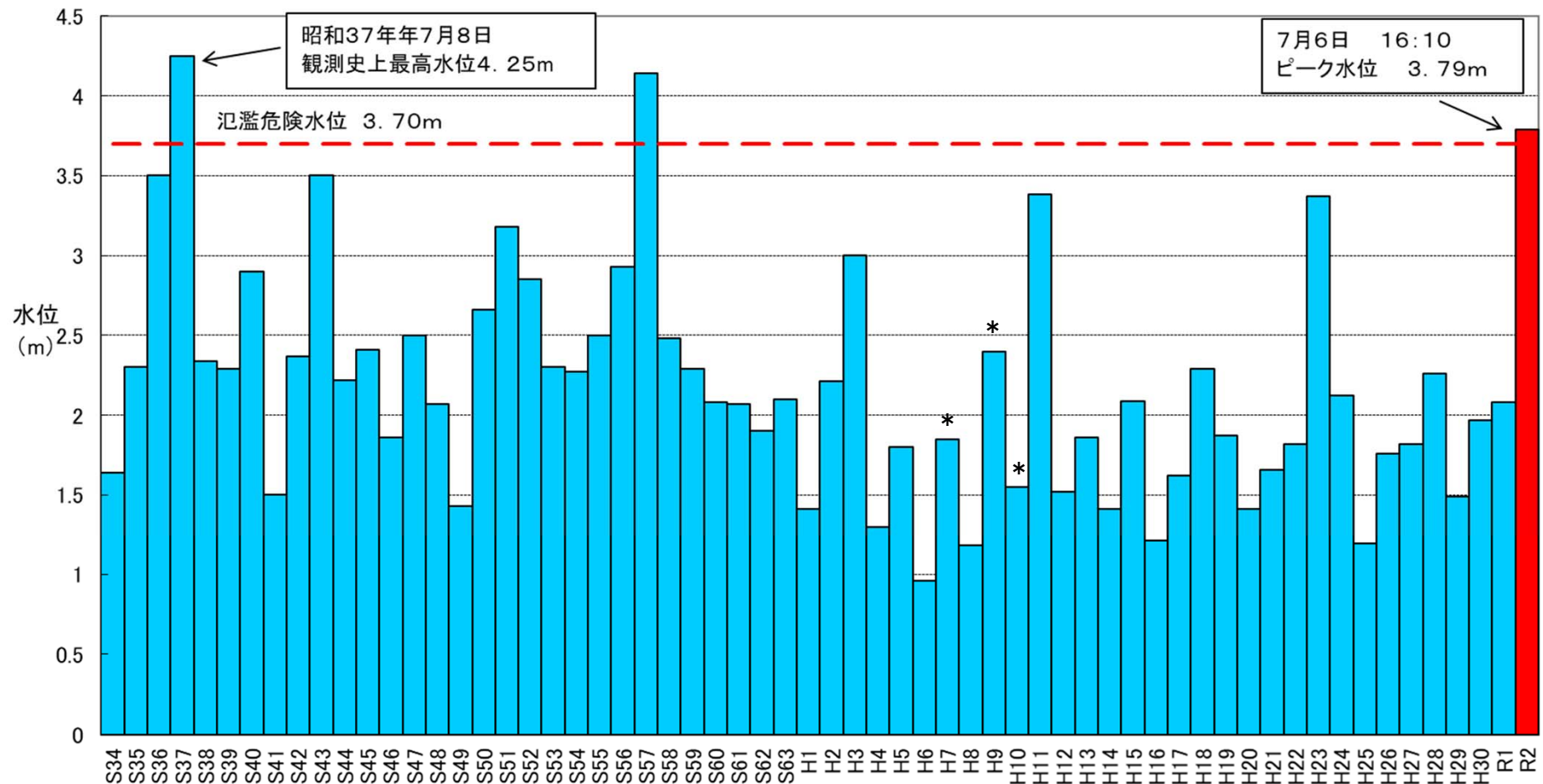


本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

4. 水位の状況（裏山）

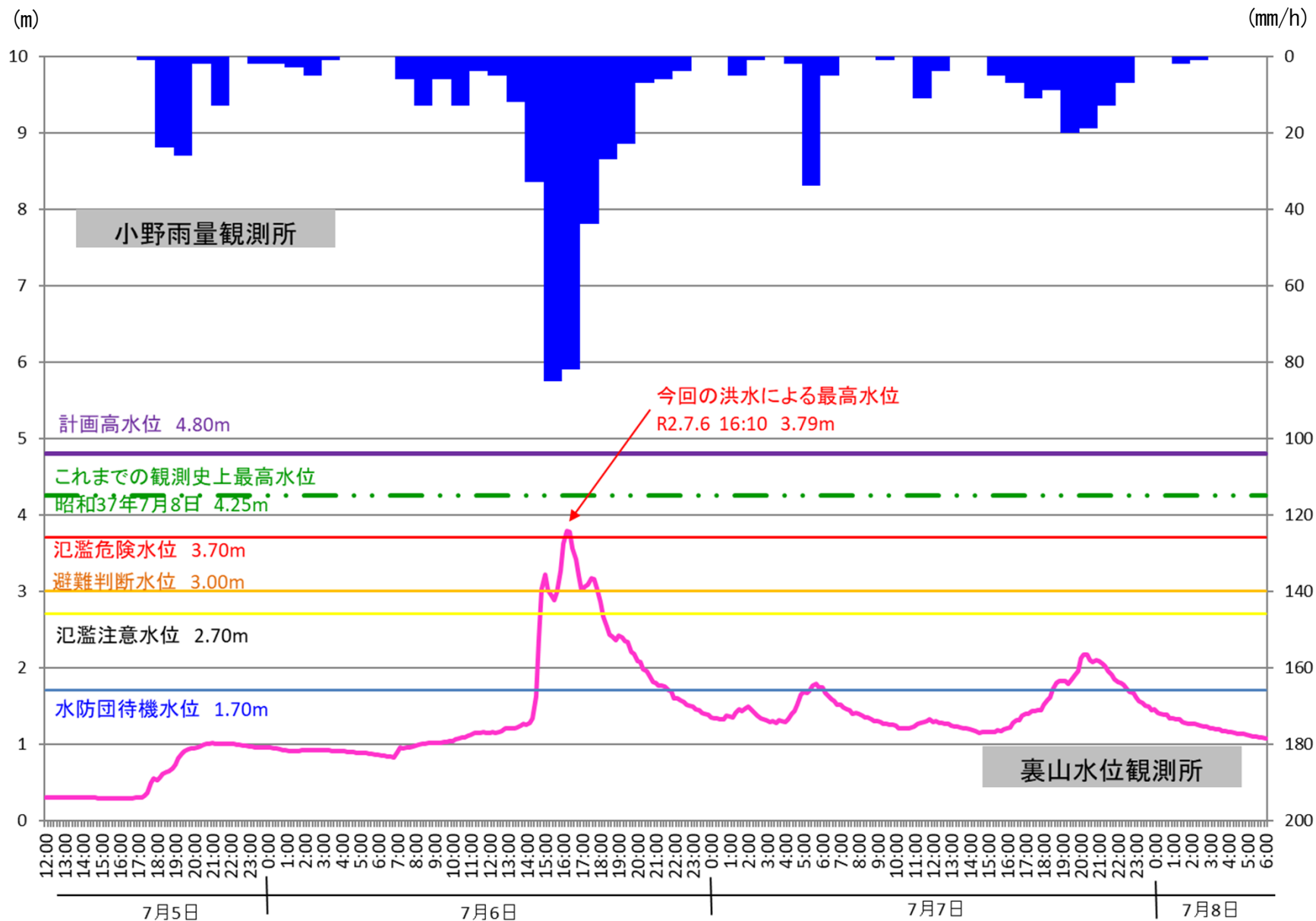
○ 梅雨前線の影響により本明川水系本明川裏山水位観測所において、ピーク水位3.79mを記録。

本明川（裏山水位観測所の年最高水位比較図）



* : 水文観測データ統計処理要領より統計データでは欠測であるが、比較が可能なようにデータを補填
※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

4. 水位の状況（裏山）

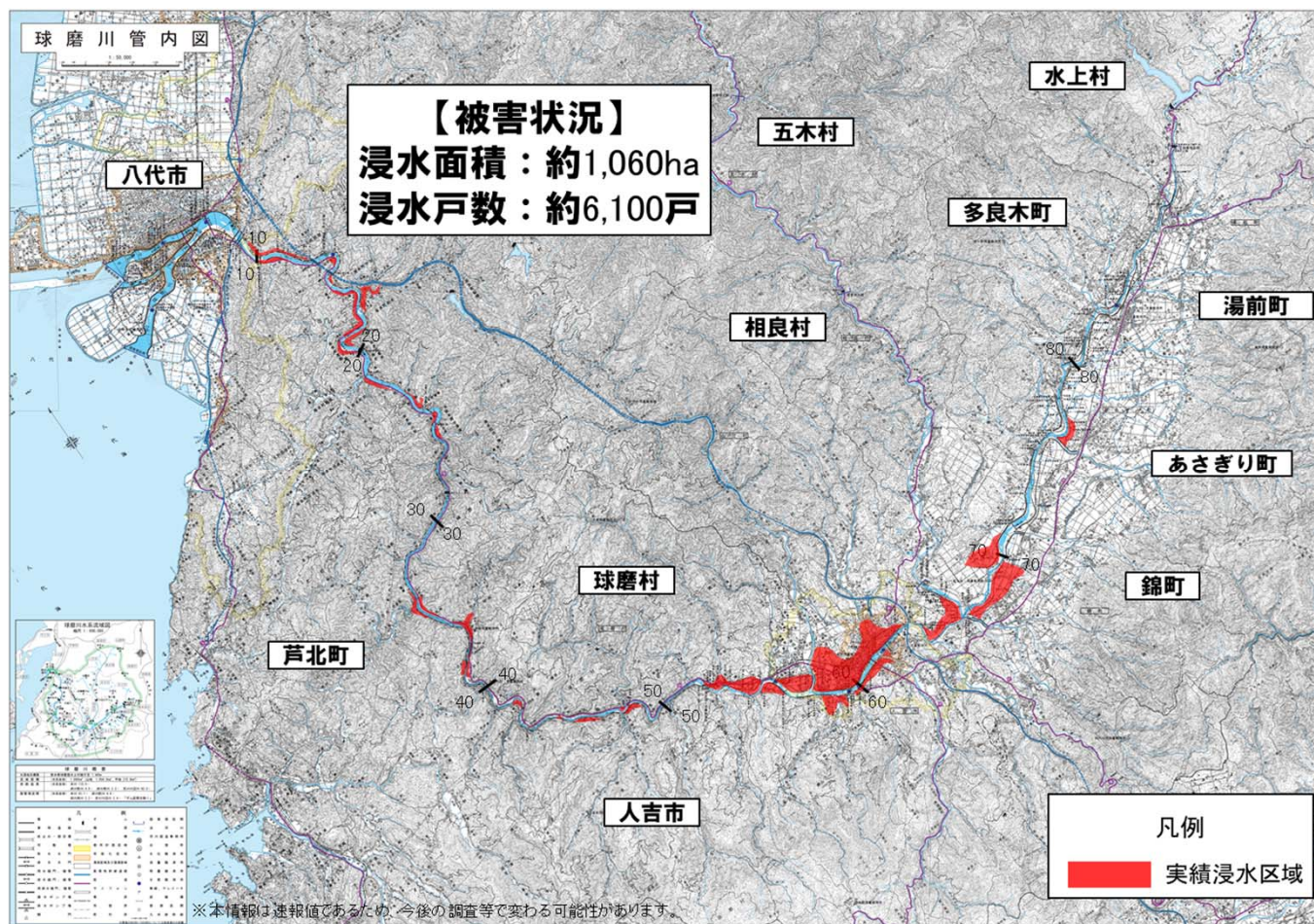


※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

5. 浸水の状況（球磨川流域）

○九州地方整備局防災ヘリ（はるかぜ）による7月4日15時時点の調査によると、球磨川沿川で約1,060haに及ぶ浸水を確認。

■球磨川水系における浸水区域



■浸水状況（7月4日午前）



人吉市青井町



人吉市街部（紺屋町）

※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

5. 浸水の状況（遠賀川流域）

○現地調査により、英彦山川左岸31k200付近において浸水被害を確認。現在浸水は解消している状況。

■位置図



■浸水状況



※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

5. 浸水の状況（大分川流域）

○現地調査により、大分川左岸16k200付近において浸水被害を確認。現在浸水は解消している状況。

■位置図



■浸水状況

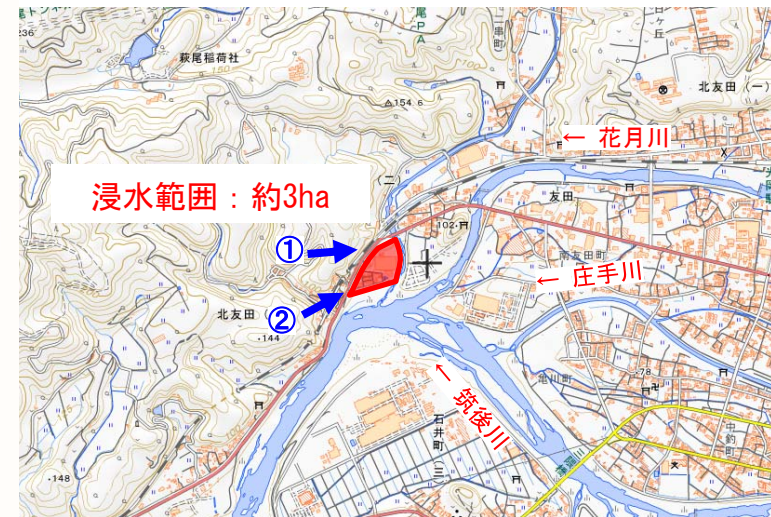


※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

5. 浸水の状況（筑後川流域）

○現地調査により、筑後川右岸72k000付近において浸水被害を確認。現在浸水は解消している状況。

■位置図



■浸水状況



※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

6. 被災の状況（球磨川流域）

7月8日17:00時点

○球磨川水系球磨川（国管理）において、2箇所にて堤防決壊、3箇所にて越水、8箇所にて溢水し、浸水被害が発生していることを確認。また、橋梁13橋が流出（ヘリ調査等で確認できたもの）。詳細は現在調査中。

球磨川水系（熊本県）における浸水状況

※球磨川本川に架かる道路橋10橋、鉄道橋3橋、
その他支川に架かる道路橋4橋の計17橋の流出が確認されている。

被災状況



堤防決壊

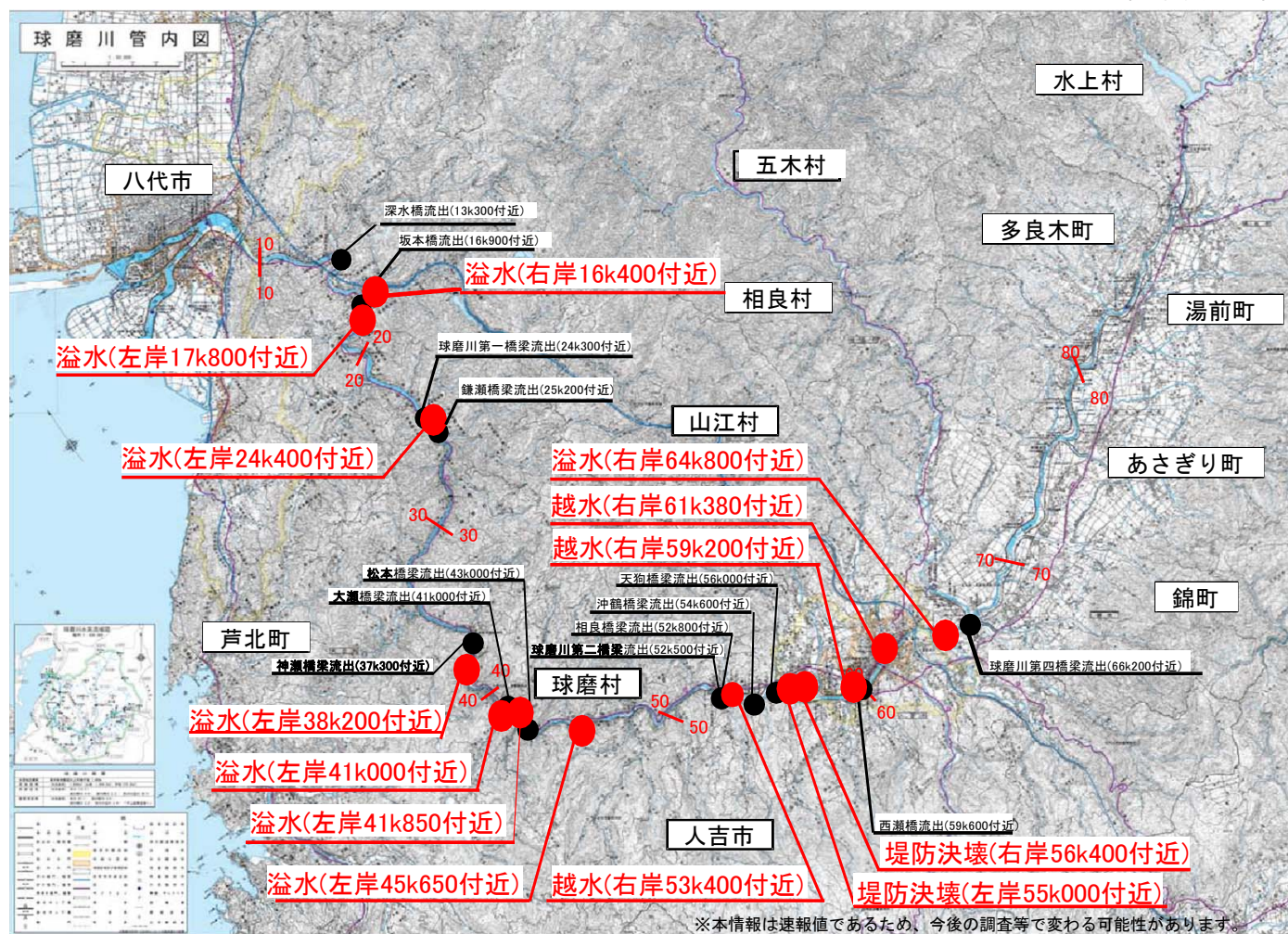


深水橋流出前

深水橋流出後



人吉市街部



※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

6. 被災の状況（土砂災害）

令和2年7月10日 14:00時点

土砂災害発生件数

127件

【被害状況】

人的被害： 死者 10名
行方不明 2名
負傷者 1名
家屋被害： 全壊 15戸
半壊 9戸
一部損壊 34戸
※被害家屋は住家のみ

がけ崩れ 長崎県佐世保市大黒町



全壊：1戸（店舗）

7月6日発生

一部損壊：1戸

土石流 福岡県大牟田市今山



7月7日発生

土石流 大分県玖珠郡九重町栗野



7月7日発生

一部損壊：3戸

がけ崩れ 熊本県葦北郡芦北町田川

7月4日発生

全壊：2戸
一部損壊：1戸



土石流 熊本県葦北郡津奈木町福浜

7月4日発生

全壊：1戸
一部損壊：2戸



がけ崩れ 佐賀県藤津郡太良町糸岐

がけ崩れ 大分県日田市天瀬赤岩

7月8日発生

全壊：1戸（空家）
半壊：2戸
一部損壊：1戸



がけ崩れ 宮崎県串間市松頭



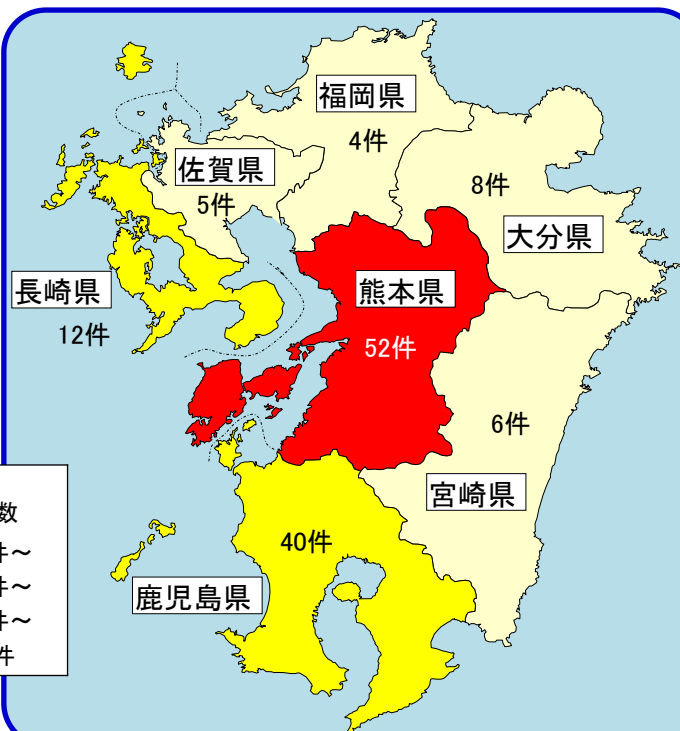
7月6日発生

一部損壊：1戸

がけ崩れ 鹿児島県鹿屋市上祓川町神園

7月6日発生

全壊：1戸（非住家）
一部損壊：1戸



凡例
発生件数



※これは速報であり、今後数値等が変わる可能性があります

7. 緊急復旧状況等

※令和2年7月6日9時時点

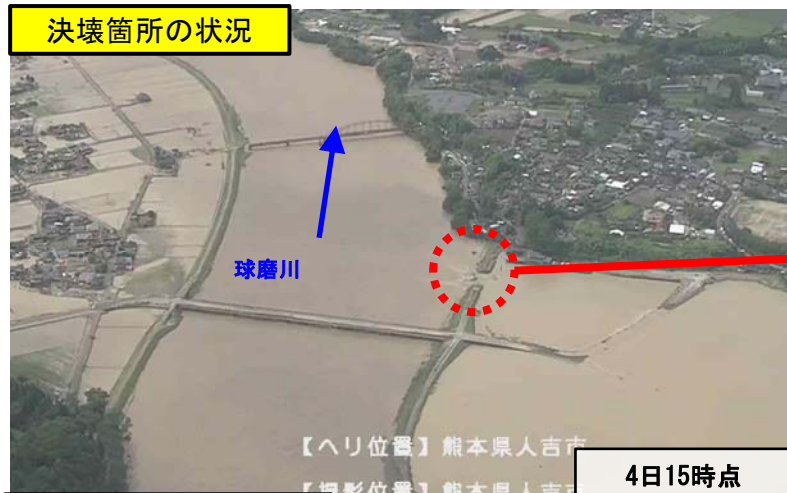
第2報にて資料追加

国管理河川(球磨川)の決壊箇所の対応

○国が管理する球磨川の堤防が1箇所、約30mにわたり決壊。

○人吉市中神地先において、7月4日23時から24時間体制で対応し、7月6日24時に緊急復旧が完了。

決壊箇所の状況



緊急復旧工事の状況



7. 緊急復旧状況等

※令和2年7月9日5時時点

第2報にて資料追加

国管理河川(球磨川)の決壊箇所への対応

- くまがわ
- 国が管理する球磨川の堤防が新たに1箇所、約10mにわたり決壊していることを確認。
 - 人吉市中神地先において、7月8日18時に緊急復旧工事に着手。24時間体制で対応し、7月9日9時30分に緊急復旧が完成。

決壊箇所の状況



8日13時時点

緊急復旧工事の状況



8日21時時点



7. 緊急復旧状況等(筑後川 右岸39K600)

被災状況



撮影日2020. 7. 7 10時50分頃

市長及び専門家による合同現地確認



2020. 7. 8 12時20分頃

応急対策状況



2020. 07. 07 20時00分頃
応急対策夜間作業中

水防団（消防団）等による現地確認



撮影日2020. 7. 7 12時30分頃

応急対策状況



2020. 07. 07 18時00分頃
応急対策作業中

応急対策状況



2020. 07. 08 14時20分頃
(07. 07 21:00応急対策工事完了)

7. 緊急復旧状況等(球磨川 右岸58k800)

※令和2年7月9日 9時時点

○国が管理する球磨川の堤防川裏（土堤と特殊堤の擦り付け区間）が法崩れ。

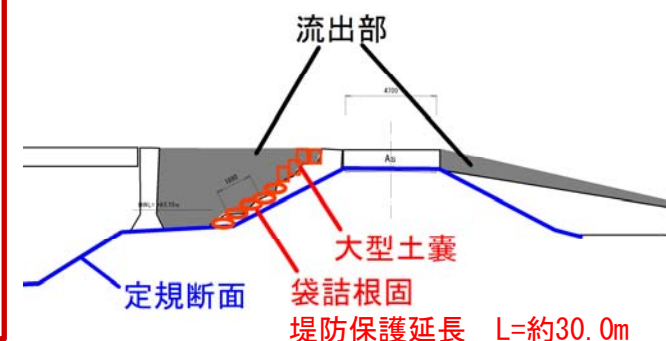
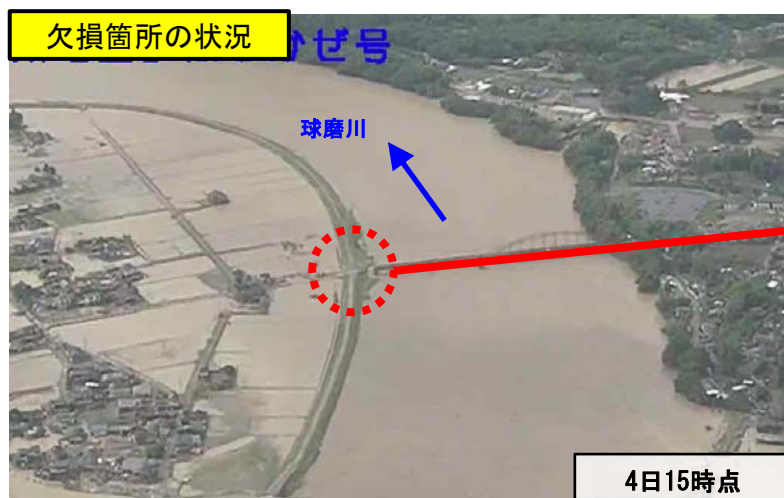
○人吉市下薩摩瀬地先において、6日19時から復旧工事に着手。8日24時に、復旧工事完了。（24時間施工）



7. 緊急復旧状況等(球磨川 左岸56k000)

○国が管理する球磨川の天狗橋取付部が一部欠損。(ただし、定規断面は満足している。)

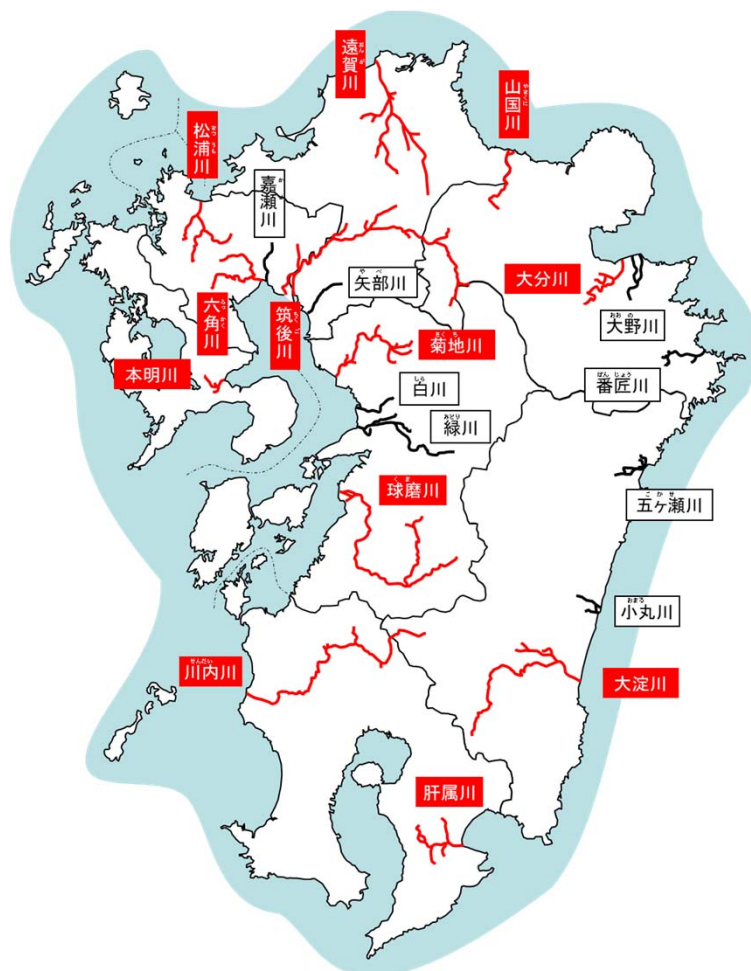
○人吉市中神地先において、6日15時から工事に着手。7日16時30分に復旧完了。(24時間施工)



8. ホットライン実施状況

自治体の防災対応に資するきめ細やかな情報を流域首長へ提供

○国が管理している九州の20水系のうち、今回の出水で特に水位上昇が大きかった12水系において河川関係事務所長等から関係市町村長等(25市16町5村)に対し、ホットラインを実施しました。



ホットライン実施市町村

水系名	市町村名				
遠賀川	嘉麻市	福智町	大任町	直方市	糸田町
	添田町	田川市			
筑後川	うきは市	大刀洗市	朝倉市	日田市	久留米市
	みやま市	柳川市			
六角川	江北町	大町町	白石町	武雄市	
松浦川	唐津市				
本明川	諫早市				
球磨川	球磨村	芦北町	八代市	人吉市	錦町
	多良木町	水上村	湯前町	あさぎり町	相良村
	五木村	山江村			
菊池川	菊池市	山鹿市	玉名市		
大分川	大分市	由布市			
山国川	上毛町	中津市	吉富町		
大淀川	都城市				
川内川	薩摩川内市	湧水町	伊佐市		
肝属川	鹿屋市	東串良町			

※これは速報であり、回数は今後変わることもあります。

9. 合同記者会見（九州地方整備局・福岡管区気象台）第2報にて資料追加

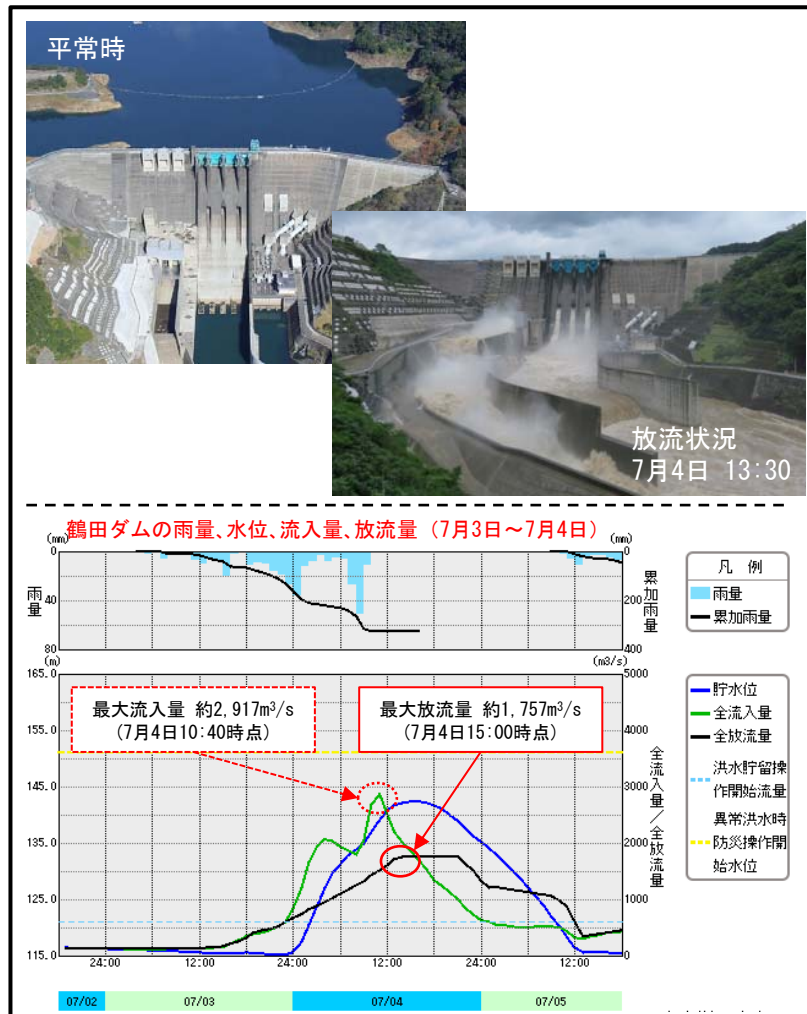
○九州地方整備局と福岡管区気象台で合同記者会見を実施。被害の状況や今後の気象状況について説明を行った。7月4日（土）から7月9日（木）までで合計8回実施している。



10. 治水事業の効果 鶴田ダム

川内川水系 鶴田ダムの防災操作により、川内川の浸水被害を低減(7月3日から7月4日)

- 梅雨前線に伴う豪雨により、ダム上流域において、327.6mm(7月3日3時～4日11時)の累加雨量を観測しました。
- 7月3日23時00分に防災操作を開始し、7月4日10時40分にはダムへの流入量が最大約2,917m³/秒に達しダムに約1,414m³/秒を貯留しました。
- 鶴田ダムが整備されていなければ、ダム下流の宮之城地点で水位が約2.03m上昇し避難判断水位を超過していたと推定されます。



◆鶴田ダムの状況

約1,414m³/秒(=①-②)
少なくなって、流れていたと推測。

②下流河川へ流した水量
約1,503m³/秒
(7月4日10時40分時点)

①鶴田ダムへ流れてきた水量
約2,917m³/秒
(7月4日10時40分時点)

洪水貯留後貯水位: 142.42m
(7月4日15時40分時点)

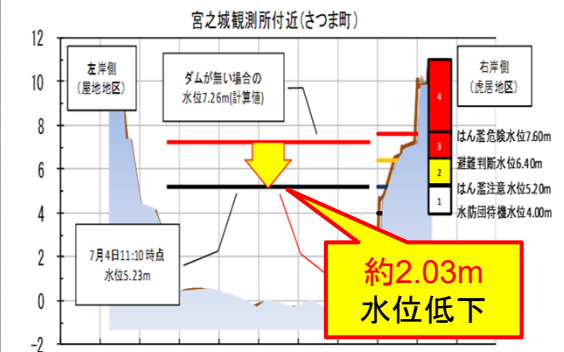
約27.2m上昇

洪水貯留前貯水位: 115.15m
(7月3日23時00分時点)

約42,761千m³の水を貯め込んだ。
これは福岡PayPayドームの約24杯分です。



◆宮之城付近での鶴田ダムの水位低減効果(7月4日11時10分)



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります

 九州地方整備局
Kyushu Regional Development Bureau

第2報にて資料追加

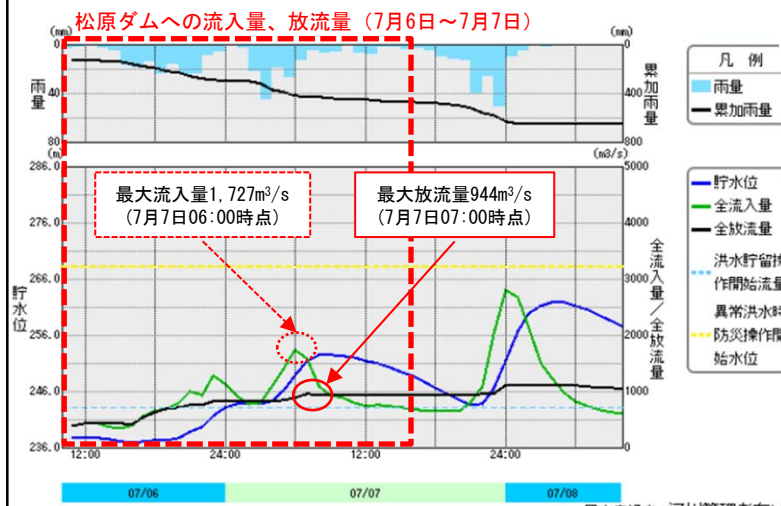
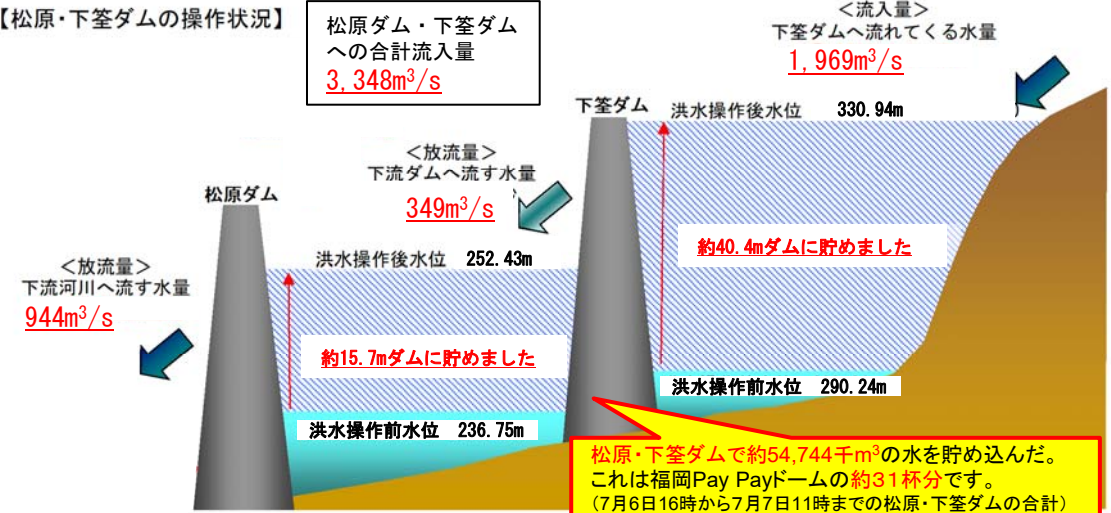
10. 治水事業の効果 松原・下笠ダム

ちくご まつばら・しもうけ ちくご
筑後川水系 松原・下笠ダムの防災操作により、筑後川の浸水被害を低減(7月6日から7月7日)

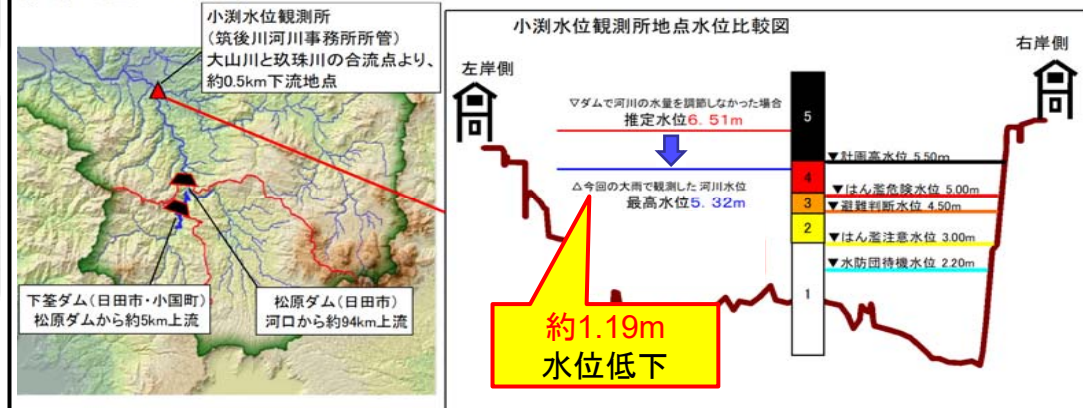
- 梅雨前線に伴う豪雨により、ダム上流域において、628.1mm(7月6日5時～8日8時)の累加雨量を観測しました。
- 松原ダムは、6日18時12分、下笠ダムは、6日16時06分に防災操作を開始し、7月6日から7月7日、及び7月7日から7月8日の2回、ダムに洪水を貯留し、下流の洪水被害を軽減しました。(※また両ダムにおいて貯水位を約1m下げる事前放流を実施しました)
- 松原・下笠ダムが整備されていなければ、7日8時頃にダム下流の小瀬地点で水位が約1.19m上昇し、計画高水位を超過していたと推定されます。



【松原・下笠ダムの操作状況】



【松原・下笠ダムの効果】

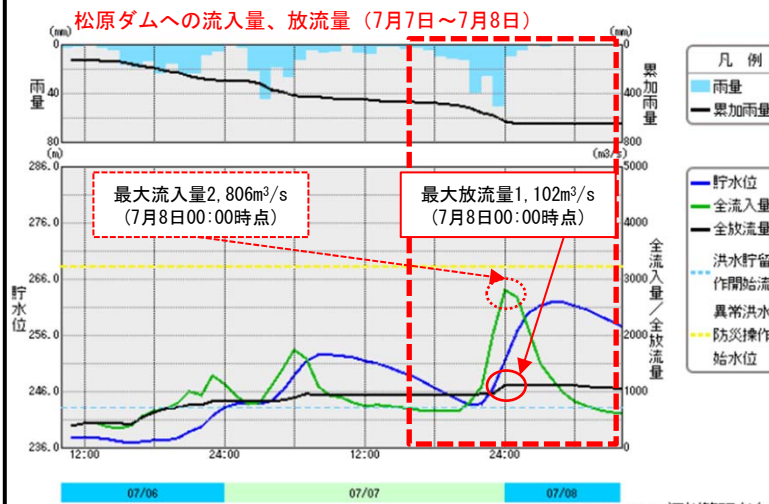


※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります

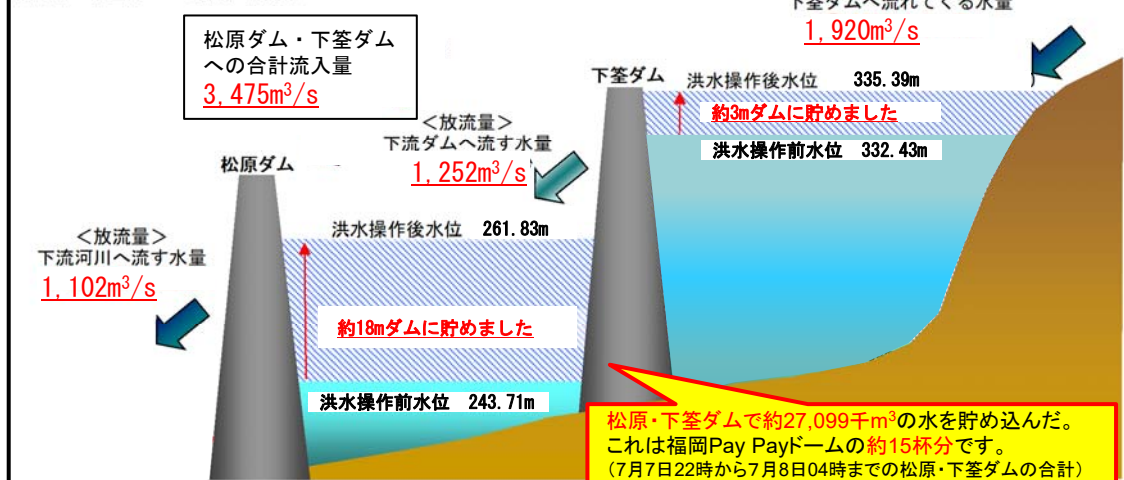
10. 治水事業の効果 松原・下笠ダム

ちくご まつばら・しもうけ ちくご
筑後川水系 松原・下笠ダムの防災操作により、筑後川の浸水被害を低減（7月7日から7月8日）

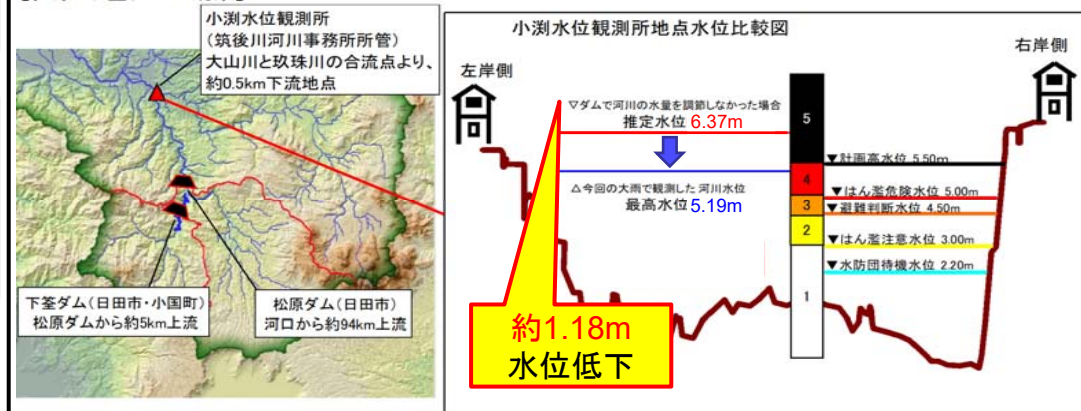
- 梅雨前線に伴う豪雨により、ダム上流域において、628.1mm（7月6日5時～8日8時）の累加雨量を観測しました。
- 松原ダムは、6日18時12分、下笠ダムは、6日16時06分に防災操作を開始し、7月6日から7月7日、及び7月7日から7月8日の2回、ダムに洪水を貯留し、下流の洪水被害を軽減しました。
- 松原・下笠ダムが整備されていなければ、8日2時頃にダム下流の小淵地点で水位が約1.18m上昇し、計画高水位を超過していたと推定されます。



【松原・下笠ダムの操作状況】



【松原・下笠ダムの効果】

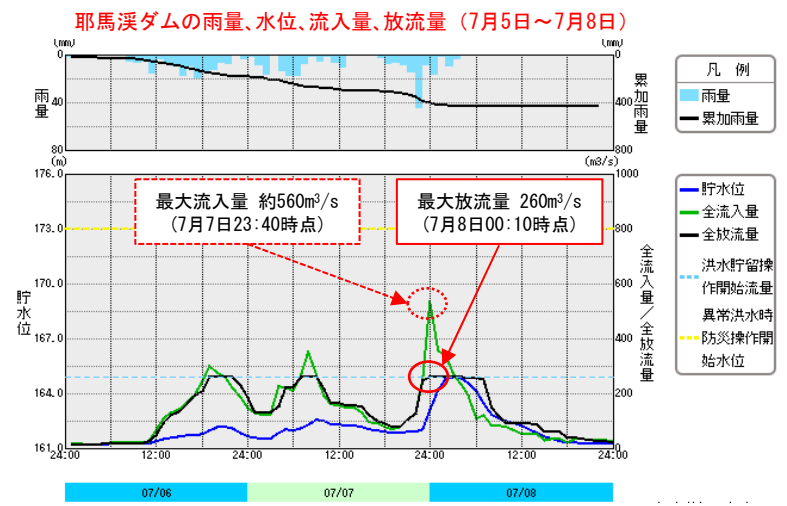


※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります

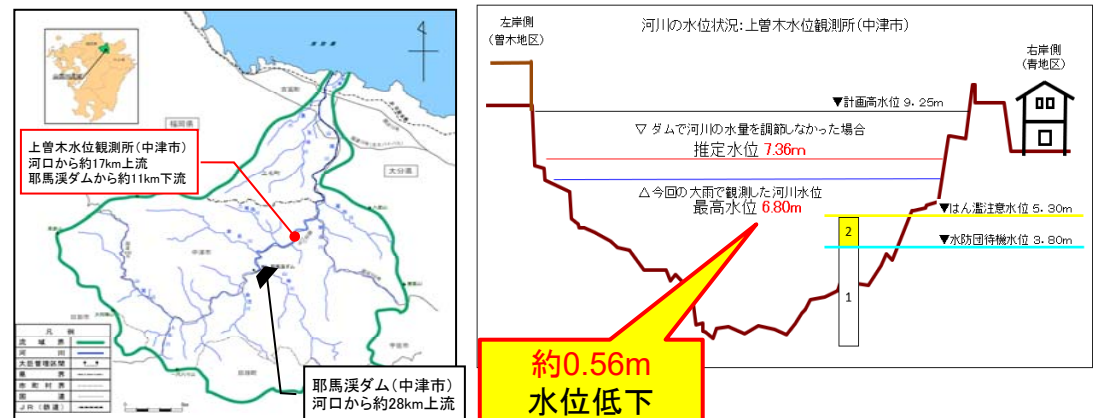
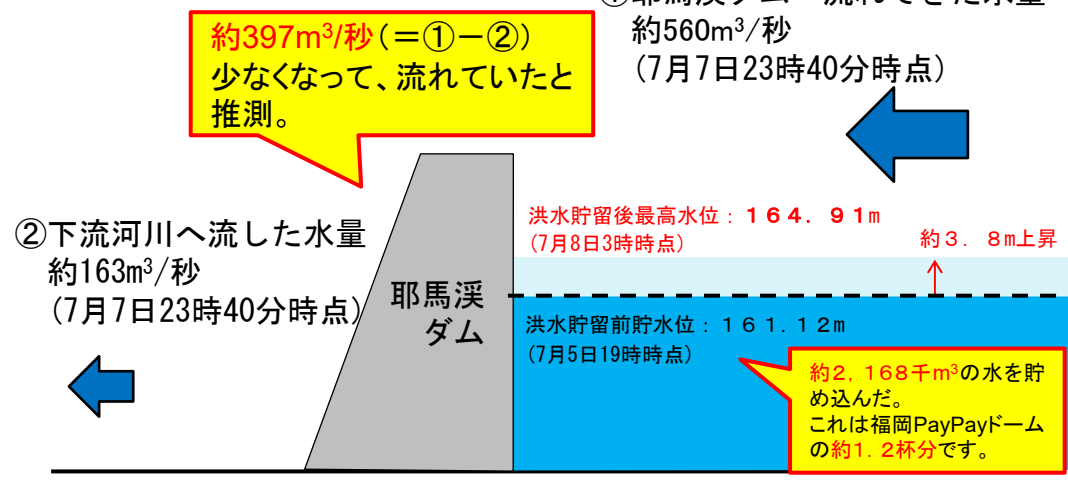
10. 治水事業の効果 耶馬溪ダム

やまくに やばけい やまくに
山国川水系 耶馬溪ダムの防災操作により、山国川の浸水被害を低減(7月6日から7月8日)

- 梅雨前線に伴う豪雨により、耶馬溪ダム上流域においては、437mm(7月5日19時～8日7時)の累加降雨を観測しました。
- 耶馬溪ダムは、5日18時20分より防災操作を開始し、8日0時00分にはダムへの流入量が最大となる約535m³/秒に達しダムに276m³/秒を貯留しました。
- 耶馬溪ダムが無かった場合、上曾木水位観測所地点の水位が約0.56m上昇し、氾濫注意水位を超過(約2.06m)したと推定され、山国川の浸水被害軽減に寄与したと推定されます。



◆耶馬溪ダムの状況



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります

10. 治水事業の効果 竜門ダム

きくち 菊池川水系 リゅうもん 竜門ダムの防災操作により、きくち 菊池川の浸水被害を低減(7月6日から7月8日)

- 梅雨前線に伴う豪雨により、ダム上流域において、905.1mm(7月3日4時～7日24時)の累加雨量を観測しました。
- 7月6日17時10分に防災操作を開始し、7月7日23時50分にはダムへの流入量が最大約296m³/秒に達し、ダムに2,663千m³を貯留しました。
- 竜門ダムが整備されていなければ、ダム下流の隈府地点で水位が約0.79m上昇していたと推定されます。



◆竜門ダムの状況

約196m³/秒(=①-②)
少なくなって、流れていたと推測。

②下流河川へ流した水量
約100m³/秒
(7月7日23時50分時点)

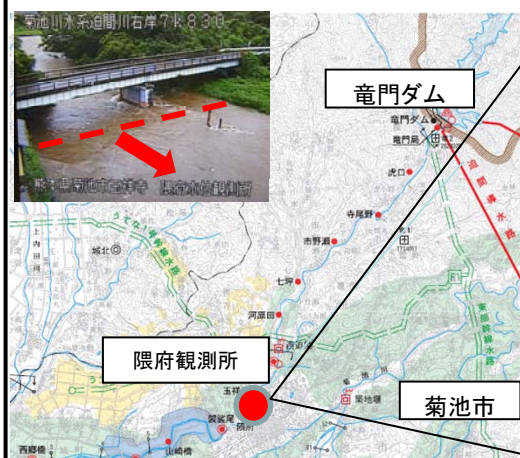
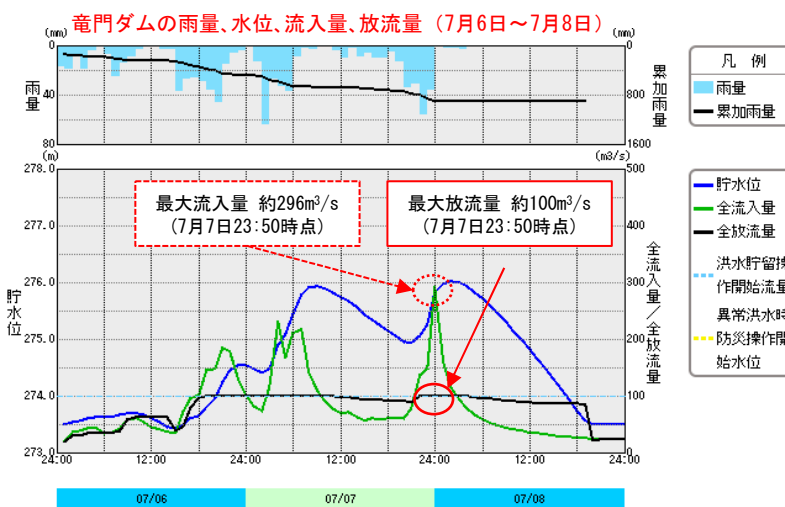
①竜門ダムへ流れてきた水量
約296m³/秒
(7月7日23時50分時点)

洪水貯留後貯水位：276.02m
(7月8日1時50分時点)

約2.4m上昇

洪水貯留前貯水位：273.63m
(7月3日17時30分時点)

約2,663千m³の水を貯め込んだ。
これは福岡PayPayドームの約1.5杯分です。



【竜門ダムにおける水位低減効果(最大)】

水防団待機水位 1.00 m
氾濫注意水位 1.50 m
避難判断水位 1.60 m
氾濫危険水位 1.90 m
計画高水位 2.02 m

ダムで調節しなかった場合の
推定水位 2.93 m

今回の大雨で観測したダム効果
最大時の河川水位 2.14 m

約0.79m
水位低下

※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります

10. 治水事業の効果 本明川ダム

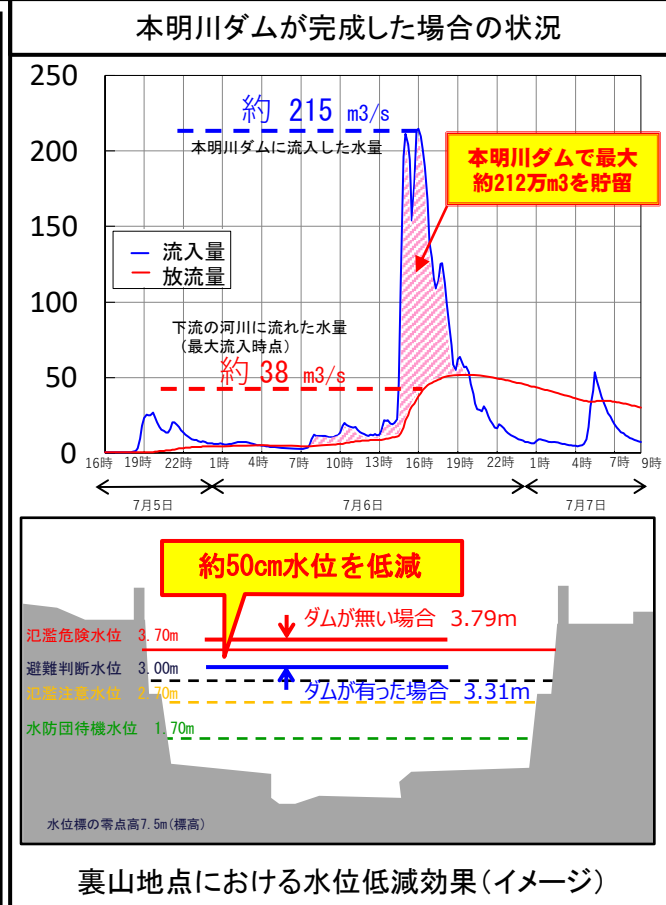
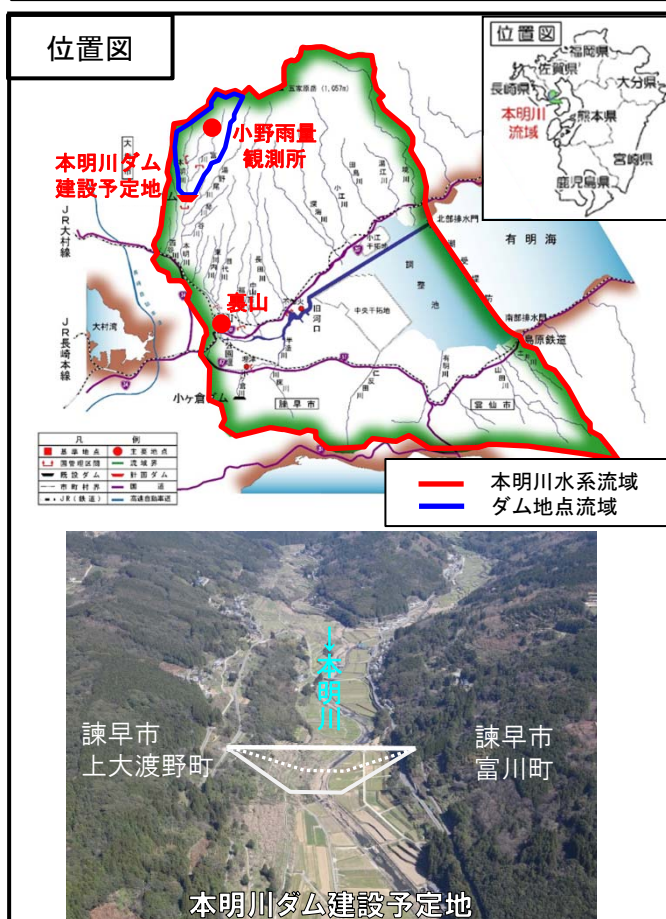
第2報にて資料追加

本明川水系 本明川ダムに期待される効果

- 梅雨前線に伴う豪雨により、本明川ダム上流域においては、降り始めからの総雨量※1が606mmを記録し、7月一ヶ月間の平均降水量※2の約1.7倍に相当する大雨となりました。
- この豪雨により、諫早市街地に位置する裏山地点では、氾濫危険水位を超過する洪水となりました。
- 現在、建設を進めている本明川ダムが完成していれば、最大約212万m³(25mプール約5,900杯分)の洪水を貯留し、裏山地点において約50cmの水位を低減し、氾濫危険水位を下回っていたと推定されます。

※1 小野雨量観測所(国)における7月5日16時～7月8日2時の累加雨量

※2 小野雨量観測所(国)における平成22年～令和元年の平均値



裏山地点(7/6 16時10分頃)



裏山地点(平常時)

※本資料の数値は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

10. 治水事業の効果 乙石川遊砂地(朝倉市杷木松末)

第2報にて資料追加

災害発生日：令和2年7月7日

降雨状況：連続雨量 614mm(7月5日18時～8日13時)
時間最大雨量 57mm(7月7日4時～5時)

※松末小学校雨量観測所

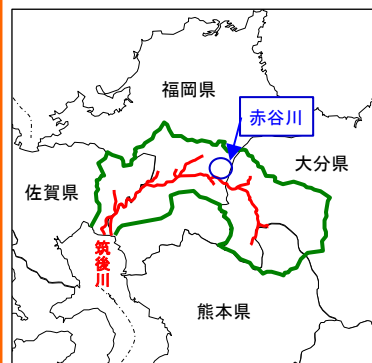
発生箇所：福岡県朝倉市杷木松末

捕捉土砂量：約16,000m³

状況：平成29年7月九州北部豪雨以降、流域内に残存する不安定土砂等の再移動による二次災害防止・軽減。ブロック堰堤や遊砂地、強靱ワイヤネット等の緊急的な応急対策を実施。

7月5日から的大雨により、大量の土砂が流出したが、遊砂地をはじめとする応急対策が、大量の土砂を捕捉。下流への被害を防止。

位置図



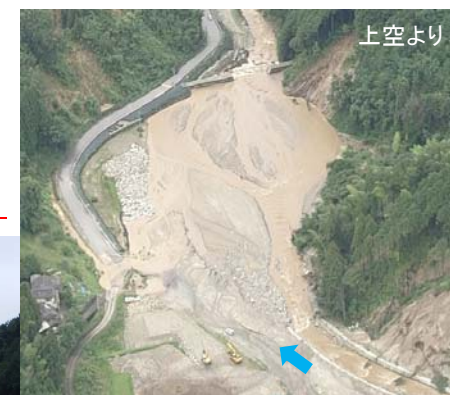
全景



土砂捕捉前 (R2.6.2撮影)



土砂捕捉後 (R2.7.8撮影)



※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

10. 治水事業の効果 赤谷13砂防堰堤(朝倉市杷木松末)

あかたに

あさくら

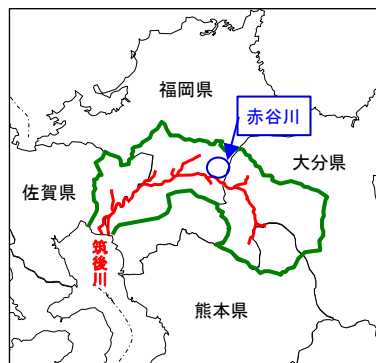
はき

ますえ

第2報にて資料追加

災害発生日 : 令和2年7月7日
 降雨状況 : 連続雨量 614mm
 (7月5日18時～8日13時)
 時間最大雨量 57mm
 (7月7日4時～5時)
 ※松末小学校雨量観測所
 発生箇所 : 福岡県朝倉市杷木松末
 捕捉土砂量 : 約1,000m³
 状況 : 7月5日からの大雨により土砂
 流出が発生したが、令和2年
 3月に完成した砂防堰堤で捕
 捉。下流地区への被害を防止。

位置図



全景



土砂捕捉前 (R2. 5. 28撮影)



土砂捕捉後 (R2. 7. 8撮影)

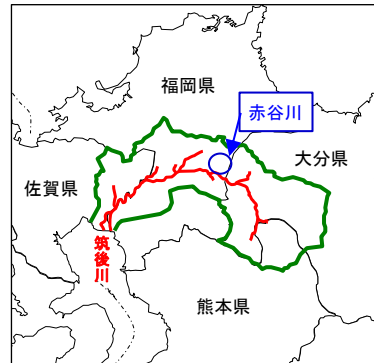


※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

10. 治水事業の効果 あかたに 赤谷07砂防堰堤(あさくら はき ますえ 朝倉市杷木松末) 第2報にて資料追加

災害発生日 : 令和2年7月7日
 降雨状況 : 連続雨量 614mm
 (7月5日18時～8日13時)
 時間最大雨量 57mm
 (7月7日4時～5時)
 ますえ
 ※松末小学校雨量観測所
 発生箇所 : 福岡県朝倉市杷木松末
 捕捉土砂量 : 約2,000m³
 状 況 : 7月5日からの大雨により土砂
 流出が発生したが、令和2年
 6月に完成した砂防堰堤で捕
 捉。下流地区への被害を防止。

位置図



全景



土砂捕捉前 (R2. 6. 2撮影)



土砂捕捉後 (R2. 7. 8撮影)



約2,000m³※の土砂を捕捉し効果を発揮
 (※10tダンプトラック約400台相当)

※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。